

工事番号														(様式-1)	
		課長		課長補佐		課長補佐		係員		検算		担当			
工 事 名		令和7年度 豊科認定こども園大規模改修工事												設計書	
施 工 箇 所		安曇野市 豊科認定こども園												金抜設計書	
設 計 大 要								施 工 方 法				請 負			
◎豊科認定こども園の大規模改修工事 (延べ面積: 1,482.58㎡) 【建築】 建具補修、遮熱フィルム張り、プール改修 ほか 【電気】 照明LED化、受変電設備、幹線動力設備改修 ほか 【機械】 空調機更新 ほか								施 工 期 間				日間			
								契約年月日				令和 年 月 日			
								竣工予定年月日				令和 8 年 3 月 13 日			
								契約保証方法				金銭的保証			
								・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
令和7年度 豊科認定こども園大規模改修工事							
I	共通仮設工事	率共通費+積上共通仮設分	1.0	式			
II	直接工事費	建築・機械設備・電気設備改修	1.0	式			
	純工事費 計						
IV	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
V	一般管理費		1.0	式			
	端数調整金額		1.0	式			
	工事価格 計						
	消 費 税		1.0	式			
	工事費 合計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
I	共通仮設工事						
I-1	(率仮設分)						
	仮設建物	現場事務所	┌				
	仮設建物	管理事務所	├				
	仮設建物	トイレユニット	├				
	工事用用水電力		├				
	機械器具損料		└ 1.0	式			
	安全管理費		├				
	各種試験費		├				
	工事管理写真費		├				
	整理清掃	全般的な物	└				
	I-1(率仮設分) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
I-2	共通仮設費(積上計上)						
	仮囲い	プラスチックフェンス 高1.2m 存置6ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	100.0	m			
	交通誘導警備員(B)		120.0	人			
	化学物質濃度測定(着手前・完成后)	ハッシュ法 6物質 測定物質:ホルムアルデヒド トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン 報告書共	4.0	ヶ所			
	敷鉄板養生		150.0	m ²			
	I-2(率仮設分) - 計						
	I - 合計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
II	直接工事費						
A	建築改修工事	園舎改修・プール改修・外構整備含	1.0	式			
E	電気設備改修工事		1.0	式			
M	機械設備改修工事		1.0	式			
	II - 合計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
A	建築改修工事						
①	園舎改修工事	テラス床補修・外部スロープ補修・間仕切建具補修等	1.0	式			
②	プール改修工事		1.0	式			
③	外構改修工事		1.0	式			
	A - 合 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
①	園舎改修工事						
1)	直接仮設工事		1.0	式			
2)	既存撤去工事		1.0	式			
3)	防水工事		1.0	式			
4)	木工事		1.0	式			
5)	屋根・外壁工事		1.0	式			
6)	金属工事		1.0	式			
7)	建具工事		1.0	式			
8)	塗装工事		1.0	式			
9)	内外装工事		1.0	式			
10)	その他工事		1.0	式			
	① - 合 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1)	直接仮設工事						
	外部昇降用 クサビ緊結式足場(手摺先行方式)	W600 存置3ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	145.0	m2			
	外部昇降用 養生シート	防災シート 存置3ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	145.0	m2			
	撤去・改修用 内部脚立足場	直列 存置1ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	123.0	m			
	養生(外部改修)	個別改修	124.0	m2			
	養生(内部改修)	個別改修	163.0	m2			
	整理清掃後片付け(外部改修)	個別改修	124.0	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	163.0	m2			
	1) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2)	既存撤去工事						
a	取り壊し撤去		1.0	式			
b	解体廃材積込費		1.0	式			
c	解体廃材運搬費		1.0	式			
d	解体廃材処分費		1.0	式			
	2) － 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
a	取り壊し撤去						
	(外 部)						
	既存下駄箱撤去	W3270xD450程度 集積共	4.0	台			
	既存下駄箱撤去	W1980xD450程度 集積共	1.0	台			
	既存単独下駄箱撤去	W600xD450程度 集積共	1.0	台			
	テラス階段・立上部 既存塗り床剥離処理	ケレン掛け程度	20.0	m2			
	テラス床 既存外部床塩ビシート撤去	集積共	110.0	m2			
	テラス階段段鼻 既存段鼻ノンスリップ撤去	集積共	40.0	m			
	テラス床 既存コンクリート土間彫込溝成形	W100xH100程度 カッター入れ・集積共	14.0	m			
	ハト小屋増設部 既存コンクリート彫込目地撤去	W20xt20程度 カッター入れ・集積共	1.7	m			
	玄関壁ポスト口増設 既存コンクリートカッター入れ	t200程度	1.3	m			
	玄関壁ポスト口増設 既存コンクリート撤去	集積共	0.02	m3			
	東側 生ゴミ処理機撤去	W1600xD700xH800 集積共 鋼板製	1.0	台			
	東側 生ゴミ処理機制御盤撤去	W600xD400xH900 集積共 鋼板製	1.0	台			
	東側 木製物置撤去	W1800xD900xH800 集積共 木製・波トタン葺	1.0	ヶ所			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	(内 部)						
	カーテン撤去	集積共	303.0	m2			
	カーテンレール撤去	シングルレール・集積共	12.4	m			
	木製パーテーション建具撤去	枠撤去無・集積共	57.4	m2			
	木製パーテーション建具ガラス撤去	集積共	57.4	m2			
	玄関壁ポスト口増設 既存仕上カッター入れ		1.3	m			
	玄関壁ポスト口増設 既存壁仕上撤去	(ビニクロ+PBGL・断熱材) 集積共	0.1	m2			
	2)-a 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
b	解体廃材積込費						
	解体廃材積込	コンクリート塊屑	0.4	t			
	解体廃材積込	木建・木材屑	0.5	t			
	解体廃材積込	ガラス屑類	0.4	t			
	解体廃材積込	塩ビシート・塩ビ屑	0.5	t			
	解体廃材積込	混合物屑	0.7	t			
	解体廃材積込	ステンレス屑	0.02	t			
	解体廃材積込	鋼板屑	0.1	t			
	2)-b 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
c	解体廃材運搬費						
	解体廃材運搬	コンクリート塊屑	0.4	t			
	解体廃材運搬	木建・木材屑	0.5	t			
	解体廃材運搬	ガラス屑類	0.4	t			
	解体廃材運搬	塩ビシート・塩ビ屑	0.5	t			
	解体廃材運搬	混合物屑	0.7	t			
	解体廃材運搬	ステンレス屑	0.02	t			
	解体廃材運搬	鋼板屑	0.1	t			
	2)-c 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
d	解体廃材処分費						
	解体廃材処分	コンクリート塊屑	0.4	t			
	解体廃材処分	木建・木材屑	0.5	t			
	解体廃材処分	ガラス屑類	0.4	t			
	解体廃材処分	塩ビシート・塩ビ屑	0.5	t			
	解体廃材処分	混合物屑	0.7	t			
	解体廃材処分(スクラップ控除)	ステンレス屑	0.02	t			
	解体廃材処分(スクラップ控除)	鋼板屑	0.1	t			
	2)-d 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3)	防水工事						
	(外 部)						
	ハト小屋 水切取合シーリング	変成シリコン(SM-2) 20x10程度	1.7	m			
	ハト小屋壁入隅部 水切取合シーリング	変成シリコン(SM-2) 15x10程度	2.2	m			
	ハト小屋壁点検口 枠取合シーリング	変成シリコン(SM-2) 20x10程度	2.4	m			
	ポスト口 周囲取合シーリング	変成シリコン(SM-2) 15x10程度	1.8	m			
	3) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
4)	木工事						
	(ハト小屋下地)						
	下地用造作木材	米梅特一等材程度 正角材 防腐処理材	0.1	m3			
	下地用造作木材	米梅特一等材程度 正角材 防腐処理材	0.1	m3			
	大工造作手間	釘・金物共	0.2	m3			
	固定用後施工アンカー打ち	M12 金属拡張型 横向き施工	8.0	本			
	4) ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
5)	屋根・外壁工事						
	(ハト小屋屋根)						
	カラーガルバリウム鋼板立ハゼ葺き	t0.4	1.3	m2			
	ゴムアスルーフィング	t1.0mm 片面接着	1.3	m2			
	野地板木毛板下地	t25mm	1.3	m2			
	軒先唐草納め	屋根同材 カラーガルバリウム鋼板 t0.4・水切共	1.2	m			
	ケラバ先唐草納め	屋根同材 カラーガルバリウム鋼板 t0.4・水切共	2.2	m			
	水上雨押え水切	屋根同材 カラーガルバリウム鋼板 t0.4・立上共	1.2	m			
	(ハト小屋外壁)						
	金属系不燃サイディング張り	材工共	3.1	m2			
	金属系不燃サイディング出隅役物	材工共	2.2	m			
	金属系不燃サイディング下端水切	カラーガルバリウム鋼板 t0.4加工	3.4	m			
	透湿防水シート張り	材工共	3.1	m2			
	壁下地合板張り	T-2 t12mm 材工共	3.1	m2			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
6)	金属工事						
	(外 部)						
	落下防止柵	W3700xH500xD236 固定アンカー・支持金物・材工共	2.0	ヶ所			
	落下防止柵	W1800xH500xD236 固定アンカー・支持金物・材工共	2.0	ヶ所			
	落下防止柵	W(2800+2800)xH500xD236 連結ポール・固定アンカー・支持金物・材工共	4.0	ヶ所			
	未満児テラス前 ステンレス手摺設置	W1200xH1100 SUS36 φ 加工 柱脚:コア抜き・無収縮モルタル充填	2.0	ヶ所			
	ハト小屋 外部用点検口	W600xH600 材工共	1.0	ヶ所			
	玄関 ステンレスポスト口	W390xH120 ステンレス化粧板:600x300 内部:メールボックスW390xH650・ステンレス板:600xH800	1.0	ヶ所			
		メールMX-102型 田島メタルワーク同等 防水材モルタル充填・固定M6ホールインアンカー4本止共					
	未満児テラス前床 ステンレスへの字金物		5.0	m			
	(内 部)						
	カーテンレール	ステンレスダブルレール	12.4	m			
	2階廊下3 手摺下部隙間	SUS ϕ 2mm W30xH95 加工 SUS皿ビス ϕ 3 @300止	6.0	m			
	6) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
7)	建具工事						
	(木製建具)						
	木製引き違い框戸	W1700xH2000 スプ°-ルス枠・見込40mm 標準金物一式共	8.0	ヶ所			
	木製引き違い窓	W1700xH1265 スプ°-ルス枠・見込40mm 標準金物一式共	12.0	ヶ所			
	木製引き違い窓	W1700xH1275 スプ°-ルス枠・見込40mm 標準金物一式共	2.0	ヶ所			
	建具金物		1.0	式			
	取付調整費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	下請諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	(ガラス)						
	スクールテンパーガラス	STPt4mm 2.0m2以下	57.4	m2			
	ガラスクリーニング*		57.4	m2			
	遊戯室 遮熱フィルム張	透過率50%以下	24.4	m2			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	(建具改修)						
	既存サッシクレセント取替		36.0	ヶ所			
	既存サッシ戸車取替		52.0	ヶ所			
	西側通用口 アルミサッシ 施錠金物取付		1.0	ヶ所			
	7) ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
8)	塗装工事						
	(内 部)						
	新規木製建具 木材保護着色塗装(WP)	木部A種 素地ごしらえ(A種)共	40.1	m2			
	既存木製パーテーション建具 木材保護着色塗装(WP)	木枠・鴨居枠・縦枠等 細巾 木部RB種下地調整 素地ごしらえ(B種)共	191.0	m			
	8) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
9)	内外装工事						
	(外 部)						
	テラス階段・立上部 ウレタン塗り床	ノンスリップ仕様(既存下地調整面)	20.0	m2			
	テラス床 床保育園テラス向き塩ビシート張	クッション付 下地調整共	124.0	m2			
	テラス床 床保育園テラス向き塩ビシート段鼻ノンスリップ		40.0	m			
	9) ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
10)	その他工事						
	(外 部)						
	家具工事	テラス新設下駄箱4台塗装改修 未満児新規1台 玄関内部:既存下駄箱改造1ヶ所共	1.0	式			別紙10)-①
	既存南東2階屋根軒樋修理	材工共	17.8	m			
	テラス床エアコンドレン排水部 土間コンクリート彫込部復旧	W100xH100	14.0	m			
	玄関1 館名板	W1200xH300 「安曇野市認定こども園」13文字 ステンレス製 ACE:装飾銘板213-967同等	1.0	ヶ所			
	ゴミストッカー設置	W1800xD800xH1200 PS型基本セット GPSN-1812-08SC同等	2.0	ヶ所			
	(内 部)						
	カーテン	防災・遮光1級 2倍ヒタ [※] 紐引き	308.0	m2			
	レースカーテン	遮熱機能 2倍ヒタ [※] 紐引き	55.8	m2			
	木製パーテーション間仕切 木ゆがみ・ささくれ修繕	隙間欠損部:埋木補修 ささくれ部分:研磨処理	89.9	見付m2			
	冷蔵庫入替工事	冷凍冷蔵庫・特注 [※] スルー冷蔵庫	1.0	式			別紙10)-②
	10) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	別紙10)‐① 家具工事						
	下駄塗装改修工事	下地処理・プライマー・2液ウレタン塗装 23m2/1台	4.0	台			
	未満児用外足入下足箱	W840xD280xH1090 リサイクルポリスチレン樹脂材	1.0	台			
	運搬・取付・下請諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	玄関 既存下駄箱改造	現状27人分⇒32人分に改造	1.0	ヶ所			
	別紙10)‐① 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	別紙10)~② 冷蔵庫入替工事						
	(冷凍冷蔵庫)						
	冷凍冷蔵庫本体	W625xD800xH1910 HRF-63B-ED	1.0	台			
	搬入据付費		1.0	式			
	既存撤去費		1.0	式			
	撤去管理費		1.0	式			
	運送費	下請諸経費・法定福利費含	1.0	式			
	(特注パースルー冷蔵庫)						
	冷蔵庫本体	W1200xD850xH1910 HR-120B-4G4G	1.0	台			
	化粧板(板金)		1.0	式			
	搬入据付費		1.0	式			
	既存撤去費		1.0	式			
	撤去管理費		1.0	式			
	運送費	下請諸経費・法定福利費含	1.0	式			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②	プール改修工事						
1)	直接仮設工事		1.0	式			
2)	既存撤去工事		1.0	式			
3)	土工・地業工事		1.0	式			
4)	鉄筋工事		1.0	式			
5)	コンクリート工事		1.0	式			
6)	型枠工事		1.0	式			
7)	防水工事		1.0	式			
8)	金属工事		1.0	式			
9)	タイル・左官工事		1.0	式			
10)	内外装工事	吹付工事含	1.0	式			
11)	その他工事	プール本体含	1.0	式			
	② - 合 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1)	直接仮設工事						
	水盛遣り方		147.0	m2			
	墨出し	躯体・仕上共	147.0	m2			
	養生費		147.0	m2			
	整理清掃片付け		147.0	m2			
	内部脚立足場	直列 存置1ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	10.8	m			
	1) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2)	既存撤去工事						
a	取り壊し撤去		1.0	式			
b	解体廃材積込費		1.0	式			
c	解体廃材運搬費		1.0	式			
d	解体廃材処分費		1.0	式			
	2) － 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
a	取り壊し撤去						
	既存コンクリート躯体撤去	土間・基礎・排水側溝・目洗台・シャワー台・洗体槽含 コンクリートブレーカー・集積共	34.1	m3			
	既存グレーチング撤去	W300 集積共	31.9	m			
	既存縦型フェンス撤去	H900 集積共	30.3	m			
	プールサイト床 既存床塩ビシート撤去	集積共	116.0	m2			
	既存FRPプール本体撤去	W4580xL10220 集積共	1.0	基			
	2)-a 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
b	解体廃材積込費						
	解体廃材積込	コンクリート塊屑	78.5	t			
	解体廃材積込	塩ビシート・塩ビ屑	0.4	t			
	解体廃材積込	FRP屑	0.9	t			
	解体廃材積込	鉄筋・鉄屑類	2.5	t			
	2)-b 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
c	解体廃材運搬費						
	解体廃材運搬	コンクリート塊屑	78.5	t			
	解体廃材運搬	塩ビシート・塩ビ屑	0.4	t			
	解体廃材運搬	FRP屑	0.9	t			
	解体廃材運搬	鉄筋・鉄屑類	2.5	t			
	2)-c 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
d	解体廃材処分費						
	解体廃材処分	コンクリート塊屑	78.5	t			
	解体廃材処分	塩ビシート・塩ビ屑	0.4	t			
	解体廃材処分	FRP屑	0.9	t			
	解体廃材処分(スクラップ控除)	鉄筋・鉄屑類	2.5	t			
	2)-d 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3)	土工・地業工事						
	根 切	機械掘削	64.6	m3			
	床 付 け	基礎・FG下端	42.7	m2			
	埋 戻 し	B種 根切良質土	40.6	m3			
	盛土	B種 根切良質土	9.8	m3			
	残土運搬費	場外適切自由処分 運搬共(DT4t積:片道10km圏内程度)	14.3	m3			
	残土処分費		14.3	m3			
	土工機械運搬費		1.0	往復			
	碎石地業	基礎下 再生切込碎石	6.4	m3			
	碎石地業	土間下 再生切込碎石	20.9	m3			
	3) ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
4)	鉄筋工事						
	異形鉄筋棒鋼	SD295A D13	2.6	t			
	鉄筋スクラップ控除	H2(特級B)程度	0.1	t			
	鉄筋加工組立費	結束線・スペーサーブロック共	2.5	t			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	2.5	t			
	後施工差し筋アンカー	D13 金属拡張型 横向き施工 材工共	80.0	本			
	4) ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
5)	コンクリート工事						
	捨てコンクリート	Fc-18N/mm2 スランプ ^o 18 Ⅰ 類(JIS適合認証コンクリート)	2.1	m3			
	基礎コンクリート	Fc-21N/mm2 スランプ ^o 18 Ⅰ 類(JIS適合認証コンクリート)	14.8	m3			
	土間コンクリート	Fc-21N/mm2 スランプ ^o 18 Ⅰ 類(JIS適合認証コンクリート)	20.9	m3			
	立上コンクリート	Fc-21N/mm2 スランプ ^o 18 立上共 Ⅰ 類(JIS適合認証コンクリート)	5.1	m3			
	コンクリート温度補正	温度補正強度 6N/mm2	40.8	m3			
	コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設	2.1	m3			
	コンクリート打設手間	基礎コンクリート 機械打設	14.8	m3			
	コンクリート打設手間	土間コンクリート 機械打設	20.9	m3			
	コンクリート打設手間	立上コンクリート 機械打設	5.1	m3			
	【ポンプ圧送費】						
	コンクリートポンプ圧送費	基礎コンクリート 30m3未満 基本料金共	1.0	回			
	コンクリートポンプ圧送費	土間コンクリート 30m3未満 基本料金共	1.0	回			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
6)	型枠工事						
	普通合板型枠	基礎部	97.6	m2			
	打放合板型枠	基礎部 B種	13.7	m2			
	打放合板型枠	地上部 B種	57.6	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	169.0	m2			
	打継目地棒	W20 片テーパ-	21.6	m			
	6) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
7)	防水工事						
	打継目地シーリング	20x10 PS-2(ポリサルファイト系)	21.6	m			
	デサインタイル取合シーリング	20x10 MS-2(変成シリコン系)	14.8	m			
	7) ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
8)	金属工事						
	排水側溝 落込みグレーチング蓋	W300タイプ° アングル枠共	20.7	m			
	プールサイド側溝 樹脂製グレーチング蓋	W250タイプ° SUSアングル枠共	36.8	m			
	タオル掛けパイプ°	W3600xD100xH900 SUS304 t1.6 36 φ	1.0	ヶ所			
	目洗台 排水目皿	ステンレス製 65 φ	2.0	ヶ所			
	シャワーコーナー 排水目皿	ステンレス製 89 φ	2.0	ヶ所			
	8) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
9)	タイル・左官工事						
	シャワ-コーナー立上壁 磁器質モザイクタイル貼り	外部対応25mmタイル(一部デサイン貼)	10.8	m2			
	基礎 コンクリート打放し補修	B種 コーン処理共	13.7	m2			
	立上 コンクリート打放し補修	B種 コーン処理共	46.3	m2			
	立上 モルタル下地塗り	タイル下地	10.8	m2			
	排水側溝 排水勾配モルタル塗り	W300	20.7	m			
	プールサイド側溝 排水勾配モルタル塗り	W250	36.8	m			
	床 モルタル金鋺押え	t30mm 張物下地	118.0	m2			
	階段踏面・蹴上 モルタル金鋺押え	t30mm 張物下地	2.6	m2			
	床 コンクリート金鋺押え	素地仕上	6.0	m2			
	目洗台 モルタル金鋺押え	槽内・立上部分共	2.4	m2			
	9) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
10)	内外装工事						
	立上壁・天端 浸透防水シリコン樹脂吹付塗装	下地調整 (コンクリート面)	48.6	m2			
	プールサイト'床 プール用長尺塩ビシート張り	遮熱t2.9mm・クッション入(タキストロンMX同等)	118.0	m2			
	プールサイト'立上部 プール用長尺塩ビシート張り	遮熱t2.9mm・クッション入(タキストロンMX同等)	2.2	m2			
	階段踏面・蹴上 プール用長尺塩ビシート張り	遮熱t2.9mm・クッション入(タキストロンMX同等)	2.6	m2			
	シャワーコーナー床 ノンスリップ床見切	プール用長尺塩ビシート対応品	5.5	m			
	階段段鼻部 段鼻ノンスリップ°	プール用長尺塩ビシート対応品	7.8	m			
	目洗台 プールコート塗装仕上	槽内・立上部分共	2.4	m2			
	10) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
11)	その他工事						
	既製日除け	W4878xD2008xH2823 1500N/m2 四国化成:サイクルポートV-R同等	1.0	基			
	既製FRP幼児用プール	W9900xD4500xH650(水深:520) 置型プール (NAC:FKC45・99底排水タイプ同等)	1.0	式			別紙11)-①
	目隠しフェンス	H1500 XW-1500-M同等	20.4	m			
	目隠しフェンス門扉	W2000xH1500 XW-1500-M同等	1.0	ヶ所			
	プールサイト 既存堅樋排水やりかえ	サントクッション VP125 L2000程度	4.0	ヶ所			
	プール南側 メッシュフェンス門扉	W900xH1500 独立基礎共	1.0	ヶ所			
	プール南側 碎石敷き	t100 防草シート共	10.9	m2			
	11) - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	別紙11)-① 既製FRP幼児用プール						
	プール本体	FKF45-99 4500x9900xH520 給水BOX含	1.0	式			
	プールカバー		1.0	枚			
	組立工事費		1.0	式			
	運搬搬入費	下請諸経費・法定福利費共	1.0	式			
	別紙11)-①小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
③	外構改修工事						
	解体撤去工事	とりこわし・集積・運搬・処分共	1.0	式			別紙 ③-1
	キュービクルコンクリート基礎	W4900xD2100xH:GL+500 土工・コンクリート・型枠・鉄筋工事共	1.0	式			別紙 ③-2
	東側 アスファルト舗装復旧	表層:As50mm 路盤:クラシヤランt150mm	120.0	m2			
	キュービクル メシュフェンス	H1500 UNフェンス 独立基礎共	4.0	m			
	キュービクル メシュフェンス門扉	W2000xH1500 UNフェンス 独立基礎共	1.0	ヶ所			
	③ - 合 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	別紙 ③-1 解体撤去工事						
	【取り壊し撤去】						
	既存アスファルト舗装カッター入れ		5.0	m			
	既存アスファルト舗装撤去	集積共	120.0	m2			
	生ゴミ処理機・木製物置撤去		1.0	式			
	【解体廃材積込】						
	解体廃材積込	アスファルト塊屑	14.0	t			
	【解体廃材運搬】						
	解体廃材運搬	アスファルト塊屑	14.0	t			
	【解体廃材処分】						
	解体廃材処分	アスファルト塊屑	14.0	t			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	別紙 ③-2 キュービクルコンクリート基礎						
	水盛遣り方		10.3	m2			
	墨出し	躯体・仕上共	10.3	m2			
	養生費		10.3	m2			
	整理清掃片付け		10.3	m2			
	根 切	機械掘削	12.9	m3			
	床 付 け	基礎下	6.1	m2			
	埋 戻 し	B種 根切良質土	7.3	m3			
	砕石地業	ピット内 再生切込砕石	0.2	m3			
	異形鉄筋棒鋼	SD295A D13	0.1	t			
	鉄筋スクラップ控除	H2(特級B)程度	0.01	t			
	鉄筋加工組立費	結束線・スペーサーブロック共	0.4	t			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	0.4	t			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	後施工アンカー	金属拡張型 D13差筋アンカー 材工共	70.0	本			
	基礎コンクリート	Fc-21N/mm2 スランプ18 I 類(JIS適合認証コンクリート)	3.5	m3			
	コンクリート打設手間	基礎コンクリート 人力打設	3.0	m3			
	普通合板型枠	基礎部	7.0	m2			
	型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	7.0	m2			
	打継目地棒	W20 片テーパ-	14.0	m			
	打継目地シーリング	20x10 PS-2(ポリサルファイト系)	14.0	m			
	床 コンクリート金鋸押え	素地仕上	10.3	m2			
	別紙 ③-2小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
E	電気設備改修工事						
①	受変電設備工事		1	式			
②	幹線・動力設備工事		1	式			
③	電灯設備工事		1	式			
④	照明器具設備工事		1	式			
⑤	コンセント設備工事		1	式			
⑥	電話設備工事		1	式			
⑦	園庭放送設備工事		1	式			
⑧	電気錠・インターホン設備工事		1	式			
⑨	弱電設備回路工事		1	式			
⑩	撤去工事		1	式			
⑪	園庭付帯工事に伴う付帯工事		1	式			
	E - 合 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
①	受変電設備工事						
	キュービクル	1φ50KVA 3φ200KVD 低圧入線口上部接地	1	式			
	同 基礎工事		建築工事				
	引込柱	12m VCT柱上取付	1	式			
	気中開閉器	SOG7.2KV200A VT・LA内蔵	1	台			
	ハントホール	1200□*1100 土工事共	1	基			
	配管	Z-G82	4	m			
	ノーマル	Z-G82	2	本			
	配管	F-FEP30	8	m			
	配管	F-FEP80	15	m			
	接地端子盤		1	面			
	埋設シート	W150高圧ダブル	23	m			
	ケーブル	6KV EM-CET38sq	20	m			
	ケーブル	PDC 38sq	8	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	ケーブル	EM-IE 8sq 管内	22	m			
	ケーブル	EM-IE 14sq 管内	22	m			
	ケーブル	EM-IE 22sq 管内	10	m			
	ケーブル	EM-IE 22sq ケーブルラック	102	m			
	ケーブル	EM-IE 60sq 管内	10	m			
	ケーブル	EM-IE 60sq ケーブルラック	102	m			
	端末処理材	CET38sq 屋内	1	個			
	端末処理材	CET38sq 屋外	1	個			
	ケーブルラック	W200*H100	2	m			
	ケーブルラック	W300*H100	56	m			
	ケーブルラック	W500*H100	9	m			
	ケーブルラック	LA W300	4	本			
	カバー	W200平型	2	m			
	カバー	W300平型	56	m			
	カバー	W500屋根型	3	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	カバー	LA W300平型	4	枚			
	ネロン	W200	2	m			
	ネロン	W300	56	m			
	ネロン	W500	3	m			
	土工事	高压管路	1	式			
	電力会社申請事務手続	低圧中止 電灯・動力	1	式			
	電力会社申請事務手続	新規 高压	1	式			
	耐压試験費		1	式			
	① - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②	幹線・動力設備工事						
	分電盤	PL-1	1	面			
	分電盤	AP-1	1	面			
	分電盤	AP-2	1	面			
	分電盤	AP-3	1	面			
	分電盤	AP-4	1	面			
	分電盤	深夜電力盤改修	1	面			
	配管	Z-G 28	68	m			
	配管	Z-G 36	18	m			
	配管	Z-G 54	3	m			
	配管	Z-G 70	9	m			
	配管	Z-G 28 ノーマル	10	本			
	配管	Z-G 36 ノーマル	6	本			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	可とう電線管	F30被覆付きL500 ブッシング コンビネーション	10	組			
	可とう電線管	F30被覆付きL700 ボックスコネクタ コンビネーション	5	組			
	可とう電線管	F30被覆付きL1000 ボックスコネクタ コンビネーション	5	組			
	可とう電線管	F38被覆付きL500 ブッシング コンビネーション	6	組			
	可とう電線管	F38被覆付きL700 ボックスコネクタ コンビネーション	17	組			
	可とう電線管	F38被覆付きL1000 ボックスコネクタ コンビネーション	3	組			
	可とう電線管	F50被覆付きL500 ブッシング コンビネーション	1	組			
	可とう電線管	F50被覆付きL700 ボックスコネクタ コンビネーション	1	組			
	可とう電線管	F50被覆付きL1000 ブッシング コンビネーション	1	組			
	可とう電線管	F63被覆付きL500 ブッシング コンビネーション	1	組			
	可とう電線管	F63被覆付きL700 ボックスコネクタ コンビネーション	1	組			
	可とう電線管	F76被覆付きL500 ブッシング コンビネーション	2	組			
	可とう電線管	F76被覆付きL700 ボックスコネクタ コンビネーション	2	組			
	可とう電線管	F76被覆付きL2000 ボックスコネクタ コンビネーション	2	組			
	可とう電線管	F101被覆付きL700 ボックスコネクタ コンビネーション	2	組			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	可とう電線管	F101被覆付きL2000 フッシング コンビネーション	2	組			
	ケーブル	EM-CE5.5-3C 管内	118	m			
	ケーブル	EM-CE5.5-3C ケーブルラック	38	m			
	ケーブル	EM-CE8-3C 管内	22	m			
	ケーブル	EM-CE8-3C ケーブルラック	37	m			
	ケーブル	EM-CE14-3C 管内	11	m			
	ケーブル	EM-CE14-3C ケーブルラック	32	m			
	ケーブル	EM-CET38 管内	7	m			
	ケーブル	EM-CET38 ケーブルラック	53	m			
	ケーブル	EM-CET60 管内	22	m			
	ケーブル	EM-CET60 ケーブルラック	173	m			
	ケーブル	EM-CET100 管内	7	m			
	ケーブル	EM-CET100 ケーブルラック	81	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	ケーブル	EM-IE3.5 管内	140	m			
	ケーブル	EM-IE3.5 ケーブルラック	75	m			
	ケーブル	EM-IE5.5 管内	11	m			
	ケーブル	EM-IE5.5 ケーブルラック	32	m			
	ケーブル	EM-IE14 管内	13	m			
	ケーブル	EM-IE14 ケーブルラック	24	m			
	ケーブル	EM-IE38 管内	12	m			
	ケーブル	EM-IE38 ケーブルラック	19	m			
	ケーブル	EM-IE60 管内	2	m			
	ケーブル	EM-IE60 ケーブルラック	55	m			
	ケーブルラック	W200H100	66	m			
	ケーブルラック	LA W200	2	本			
	ケーブルラック	T W200	1	本			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	カバー	W200 平型	66	m			
	カバー	LA W200 平型	2	本			
	カバー	T W200 平型	1	本			
	ネロン	W200	66	m			
	② - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
③	電灯設備工事						
	配管	Z-G 28	20	m			
	配管	HIVE 22	33	m			
	ボックス	HIVE 22 一方出スイッチボックス	2	個			
	ボックス	HIVE 22 一方出丸ボックス	1	個			
	可とう電線管	F30 被覆付き L500 コンビネーション+コンビネーション	1	組			
	可とう電線管	F30 被覆付き L1500 ボックスコネクタ+フッシング	1	組			
	メタルモール	MMB	3	m			
	メタルモール	MMB コーナーボックス	2	個			
	メタルモール	MMB スwitchボックス 1個用	2	個			
	プールボックス	150□*150 WP SUS	1	個			
	プールボックス	200□*200 WP SUS	1	個			
	プールボックス	500□*300 WP SUS	1	個			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 管内	20	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	40	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C ころがし	20	m			
	ケーブル	EM-CE5.5-3C 管内	23	m			
	ケーブル	EM-CE5.5-3C ケーブルラック	87	m			
	ケーブル	DV-2.0mm-3F 径間6m	1	式			
	引留め金具	壁	1	か所			
	配線器具	1P15*1 プレート共	1	組			
	配線器具	1P15A*2 防雨プレート	1	組			
	貫通部施工	壁 180mm 30φ レントゲン探査共	3	か所			
	自火報移設	2種差動式	2	か所			
	③ - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④	照明器具設備工事						
	照明器具	A41	41	台			
	照明器具	A41T	2	台			
	照明器具	A21	2	台			
	照明器具	B42	26	台			
	照明器具	B22	1	台			
	照明器具	E42	5	台			
	照明器具	F22	6	台			
	照明器具	G42	6	台			
	照明器具	K27	8	台			
	照明器具	K27B	2	台			
	照明器具	M22	22	台			
	照明器具	N21	2	台			
	照明器具	O1	4	台			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	照明器具	O2	1	台			
	照明器具	P1	5	台			
	照明器具	R	30	台			
	照明器具	S21	2	台			
	照明器具	U	12	台			
	照明器具	V	6	台			
	照明器具	W	1	台			
	照明器具	Y	1	台			
	ランプ取替		4	個			
	撤去器具 積込	混合	1	t			
	撤去器具 運搬	混合	1	t			
	撤去器具 産廃処分	混合物屑	0.9	t			
	蛍光管・水銀灯 処分		100.0	kg			
	④－ 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑤	コンセント設備工事						
	配管	HIVE 22	44	m			
	ボックス	HIVE 22 1方出スイッチボックス	4	個			
	ボックス	HIVE 22 2方出丸ボックス	1	個			
	ボックス	HIVE 22 3方出丸ボックス	3	個			
	メタルモール	MMA	4	m			
	メタルモール	MMAコーナーボックス	4	個			
	メタルモール	MMAスイッチボックス 1個用	2	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	85	m			
	配線器具	2P15A 接地極接地端子付*1 P共	2	組			
	配線器具	2P15A 接地極接地端子付*2 WP	4	組			
	貫通部施工	壁 180mm 30φ	1	か所			
	⑤ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑥	電話設備工事						
	基本キャビネットCCUA遠隔保守セットA	MXB-BCBTACCUARMTA	1	式			
	3.2AHバッテリー	MXA-3.2AHBATTB	1	式			
	8回路デジタル電話機ライン回路A	MXA-8DLINA	1	式			
	16回路単独電話機ライン回路C	MXA-16SLINC	1	式			
	8回路単独電話機ライン回路C	MXA-8SLINC	1	式			
	2回路インターフェースバンクA	MXA-2ITCA	1	式			
	マザーボードA	MXA-MOTHA	3	式			
	2回路局線バンクA	MXA-2COTA	1	式			
	ID受信バンクソフト2ライセンス	MXA-IDR-LI2A	1	式			
	ページングバンクA	MXA-PGTA	2	式			
	多機能電話機 24ボタン	HI-24G-TELSDA	2	台			
	壁掛け一般電話機	HI-W01M3	10	台			
	壁掛け一般電話機用 HI-W01ボックスシート 10枚	HI-W01WS(W)	1	式			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	コトレス一般電話機 親機+子機1台	VE-GD27DL-W	4	式			
	コトレス中継アンテナ	KX-FKD3	4	台			
	一般電話機 非常用	HI-A2 II	1	台			
	試験調整費		1	式			
	⑥ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑦	園庭放送設備工事						
	ワイト'ホ-ンスピーカー 30W	CS-303	2	台			
	壁掛け屋外アンプ	WA-120D	1	台			
	ダイバーシティーチューナーユニット	WTU-1820	2	個			
	ワイヤレスアンテナ	YW-550	2	個			
	ワイヤレスマイク	WM-1220	1	本			
	ワイヤレスミキサー	WM-1510	1	台			
	ポ-ータブルワイヤレスアンプ	WA-872CD	1	台			
	ワイヤレスチューナーユニット	DU-850A	2	個			
	ワイヤレスマイク	WM-8400	2	本			
	タイピン型ワイヤレスマイク	WM-8100A	1	個			
	ヘッドセット型マイク	HM-10E	1	個			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	収納カバー		1	個			
	試験調整費		1	式			
	⑦－計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑧	電気錠・インターホン設備工事						
	テレビドアホンセット VL-SWE710KS	モニター親機*1 カメラ玄関子機*1 ワイヤレスモニター子機*1	1	式			
	JEM-A用アダプタ	VL-JY1	1	個			
	電気錠制御機器	C-3830SA	1	個			
	デジタルテンキー	T-3830SA	2	個			
	試験調整費		1	式			
	⑧ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑨	弱電設備回路工事						
	配管	HIVE 16	30	m			
	配管	HIVE 22	3	m			
	ボックス	HIVE 16 一方出スイッチボックス	2	個			
	ボックス	HIVE 16 三方出丸ボックス	1	個			
	メタルモール	MMA	2	m			
	メタルモール	MMAコーナーボックス	1	個			
	メタルモール	MMAスイッチボックス 1個用	1	個			
	メタルモール	MMB	15	m			
	メタルモール	MMBコーナーボックス	2	個			
	メタルモール	MMBスイッチボックス 1個用	5	個			
	メタルモール	MMBスイッチボックス 2個用	1	個			
	ケーブル	EM-S-5C-FB ころがし	39	m			
	ケーブル	EM-CPEE0.9-1P ころがし	88	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	ケーブル	EM-CPEE0.9-3P ころがし	44	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-3C ころがし	45	m			
	貫通部施工	壁 180mm 30 φ	3	か所			
	⑨－計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑩	撤去工事						
	既設盤	鋼製自立型	1	面			
	エアコン盤	プラボックス 壁掛け型	1	面			
	浄化槽盤	鋼製自立型	1	面			
	引込み柱(中電柱)立上げ配管	G82	4	m			
	ケーブル	CVT38	17	m			
	ケーブル	VVR60-3C	17	m			
	電力会社申請費	深夜電力停止	1	式			
	照明器具	A41	41	台			
	照明器具	A41T	6	台			
	照明器具	A21	2	台			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	照明器具	B42	26	台			
	照明器具	B22	1	台			
	照明器具	E42	5	台			
	照明器具	F22	6	台			
	照明器具	G42	6	台			
	照明器具	K27	8	台			
	照明器具	K27B	2	台			
	照明器具	M22	22	台			
	照明器具	N21	2	台			
	照明器具	O1	4	台			
	照明器具	O2	1	台			
	照明器具	P1	5	台			
	照明器具	R	30	台			
	照明器具	S21	3	台			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	照明器具	U	12	台			
	照明器具	V	6	台			
	照明器具	W	1	台			
	ランプ取替		4	個			
	⑩－計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑪	園庭付帯工事に伴う付帯工事						
1)	〈接地工事〉						
	ケーブル	EM-IE5.5	236	m			
	ケーブル	EM-IE22	98	m			
	ケーブル	EM-IE60	78	m			
	接地極	ELA	1	か所			
	接地極	EA	1	か所			
	接地極	EB	1	か所			
	接地極	ED	1	か所			
	補助接地極		4	か所			
	接地極埋設票		8	か所			
	保護管	F-FEP65	23	m			
	保護管	HIVE70	2	m			
	異種管接続材	FEP65-VE70	1	個			
	埋設シート	W150 低圧 ダブル	23	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	土工事		1	式			
	1)-計						
2)	<外灯工事>						
	照明器具	X	2	台			
	外灯ポール		2	本			
	接続ユニット		2	個			
	外灯基礎	土工事共	2	基			
	引留め金具	端部	1	個			
	引留め金具	両端	1	個			
	ケーブル	DV-2.0mm-3F 径間22m	1	式			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C	13	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	2)-計						
	⑪－計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
M	機械設備改修工事						
①	空調設備機器工事		1.0	式			
②	空調配管工事		1.0	式			
③	換気設備工事		1.0	式			
④	衛生設備工事		1.0	式			
⑤	撤去工事		1.0	式			
	M - 合 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
①	空調設備機器工事						
	1F休憩室 AC-1 ルームエアコン	壁掛形 R32 冷房:2.8kW 暖房:3.6kW	1.0	組			
		電 源:単相100V 60Hz ワイヤレスリモコン, ブラケット架台					
	2F休憩室 AC-2 ルームエアコン	壁掛形 R32 冷房:2.8kW 暖房:3.6kW	1.0	組			
		電 源:単相100V 60Hz ワイヤレスリモコン, ブラケット架台					
	1F保育室1 ACP-1 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台, 防護ネット					
	1F保育室2 ACP-2 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台, 防護ネット					
	1F保育室3 ACP-3 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台, 防護ネット					

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1F保育室4 ACP-4 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台, 防護ネット					
	1F遊戯室 ACP-5 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	3.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台					
	1F給食室 ACP-6 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	厨房用天井吊形 R32 冷房:12.5kW 暖房:14.0kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台					
	1F未満児室1 ACP-7 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	天井カセット形4方向吹出し R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, 自動昇降パネル					
	1F未満児室2 ACP-8 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	天井カセット形4方向吹出し R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, 自動昇降パネル					

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1F未満児室3 ACP-9 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	天井カセット形4方向吹出し R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, 自動昇降パネル					
	2F会議室 ACP-10 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台					
	2F職員室 ACP-11 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台					
	2F保育室5 ACP-12 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台					
	2F保育室6 ACP-13 空冷パッケージエアコン 寒冷地仕様	壁掛形 R32 冷房:10.0kW 暖房:11.2kW	1.0	組			
		電 源:三相200V 60Hz ワイヤードリモコン, ブラケット架台					

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	耐震支持費		1.0	式			
	機器据付費		1.0	式			
	あと施工アンカー	M10	12.0	本			
	あと施工アンカー	M12	52.0	本			
	重機損料	ラフタークレーン 25t	1.0	式			
		オペレータ付					
	総合調整費		1.0	式			
	1 - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②	空調配管工事						
	冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 6.35 保温厚10mm	18.0	m			
	冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 9.52 保温厚10mm	233.0	m			
	冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 9.52 保温厚20mm	18.0	m			
	冷媒用被覆銅管	屋内一般(隠蔽) φ 15.88 保温厚20mm	233.0	m			
	冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 6.35 保温厚10mm	5.0	m			
	冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 9.52 保温厚10mm	67.0	m			
	冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 9.52 保温厚20mm	5.0	m			
	冷媒用被覆銅管	屋外架空(露出) φ 15.88 保温厚20mm	67.0	m			
	結露防止層付硬質塩化ビニル管 ACD	屋内一般(隠蔽) 20	20.0	m			
	結露防止層付硬質塩化ビニル管 ACD	屋内一般(隠蔽) 25	27.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋外架空 20A	22.0	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋外架空 25A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	地中配管 20A	14.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	地中配管 25A	5.0	m			
	耐震支持費		1.0	式			
	冷媒用銅管 断熱材被覆銅管用 保温外装	ステンレス鋼板	72.0	m			
	エアコン用計装						
	室内外渡り配線	EM-EEF2.0mm-3C 冷媒配管共巻	323.0	m			
	リモコン用計装						
	リモコン線	EM-ECTF0.75mm-2C 天井内コログシ	80.0	m			
	金属線ぴ工事	A型	26.0	m			
	金属線ぴ工事	コーナーボックス	17.0	個			
	金属線ぴ工事	2個用BOX	17.0	個			
	リモコン取付	手間のみ	17.0	箇所			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	区画貫通処理	防火区画貫通 125mm	16.0	箇所			
	機械はつり(配管用貫通口)	100～150mm 100mm	32.0	箇所			
	機械はつり(配管用貫通口)	鉄筋探査含む 100～150mm 50mm	6.0	箇所			
		鉄筋探査含む					
	2 ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
③	換気設備工事						
	標準壁換気扇	格子タイプ 電動式シャッター	3.0	台			
		風量:480m ³ /h EX-20EK9-C					
	撤去・取付費		3.0	台			
	3 - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④	衛生設備工事						
	石油給湯器 WH-1	給湯専用 定格出力46.5kW 配管カバー、リモコン	1.0	台			
		リモコン用露出ボックス(透明扉)					
	横水栓	吐水口回転、寒冷地仕様	2.0	個			
	洗眼水栓	横自在型	1.0	個			
	固定シャワー	オーバーヘッドシャワー	4.0	個			
	腰高止水栓		1.0	個			
	湯水混合不凍水栓柱	H=1.5m 接続口径13A	1.0	個			
	ミキシングバルブ 日水協認定品	流量調整用適温補給水ユニット 25A 専用ボックス	1.0	組			
	据付労務費						
	壁掛型貯湯式湯沸器	貯湯量 40L 壁掛型貯湯式	1.0	台			
	水栓類		8.0	個			
	湯水混合不凍水栓柱		1.0	個			
	ミキシングバルブ	専用ボックス取付含む	1.0	式			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	給水設備						
	硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP 20A 水道用耐衝撃性管	4.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 HIVP 25A 水道用耐衝撃性管	8.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 HIVP 30A 水道用耐衝撃性管	33.0	m			
		地中配管					
	一般配管用ステンレス鋼管(溶接接合)	20su 溶接接合	2.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼管(溶接接合)	屋外架空 25su 溶接接合	5.0	m			
		屋外架空					
	仕切弁青銅弁	10K 20A ねじ込み	1.0	個			
	玉形弁青銅弁	10K 32A ねじ込み	1.0	個			
	仕切弁ステンレス弁	10K 25A ねじ込み	2.0	個			
	不凍水栓	32A	1.0	個			
	配管切断(樹脂管類)・手間のみ	配管切断 30A 保温無	1.0	か所			
	給湯設備						
	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	HVA 20A 耐熱性給湯地中配管	3.0	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	HVA 25A 耐熱性給湯地中配管	8.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管(溶接接合)	20su 溶接接合	2.0	m			
		屋外架空					
	一般配管用ステンレス鋼鋼管(溶接接合)	25su 溶接接合	10.0	m			
	仕切弁青銅弁	屋外架空 10K 25A ねじ込み(埋設用)	1.0	個			
	仕切弁ステンレス弁	10K 25A ねじ込み	4.0	個			
	油設備						
	配管用炭素鋼鋼管	白 SGP 15A ねじ接合	8.0	m			
		屋外架空					
	玉形弁マレアップル鉄弁	20K 15A ねじ込み 内ねじ JV 4-4	1.0	個			
	配管切断(鋼管類)・手間のみ	配管切断 15A 保温無	1.0	か所			
	排水設備						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 50A排水地中配管	5.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 65A排水地中配管	4.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 75A排水地中配管	2.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 100A排水地中配管	26.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 125A排水地中配管	12.0	m			
	床上掃除口金具 非防水型	COA 125A 非防水型	1.0	個			
	排水目皿	D金具 50A	2.0	個			
	排水目皿	D金具 65A	2.0	個			
	排水目皿	D金具 100A	4.0	個			
	手はつり(配管貫通口)	無筋コンクリート 120～150mm 150mm	5.0	か所			
	土工事						
	根切り(機械)	バックホウ 0.13m3	60.0	m3			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	山砂(参考)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	28.0	m3			
	埋戻し	バックホウ 0.13m3	14.0	m3			
	建設発生土処理	排出ガス対策型 油圧式クローラ型 人 力 構内敷ならし	18.0	m3			
	4 - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑤	撤去工事						
	ルームエアコン	壁掛形 1.8馬力相当	8.0	台			
	パッケージエアコン	天井カセット形4方向 3馬力相当	3.0	台			
	室外機	床置形 1.8馬力相当	8.0	台			
	室外機	床置形 9馬力相当	1.0	台			
	冷媒ガス回収・処分		1.0	式			
	冷媒用被覆銅管 撤去	φ 6.35	16.0	m			
	冷媒用被覆銅管 撤去	φ 9.52	44.0	m			
	冷媒用被覆銅管 撤去	φ 15.88	28.0	m			
	冷媒用銅管断熱材被覆銅管用 保温外装	カラー鉄板	9.0	m			
	硬質塩化ビニル管 撤去 VP	屋外架空 20A	24.0	m			
	室内外渡り配線	2.0mm-3C	44.0	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	プール管材撤去費	SUS管, 埋設塩ビ管, 水栓類	1.0	式			
	産業廃棄物積込費	混合廃棄物	3.0	t			
	産業廃棄物運搬費	混合廃棄物	3.0	t			
	産業廃棄物処分費	混合廃棄物	3.0	t			
	5 - 計						

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和7年度 豊科認定こども園大規模改修工事

2. 工事場所： 安曇野市 豊科認定こども園

3. 工事概要：

・ 建築工事

テラス床補修、未満児室外部スロープ補修、廊下・保育室木製間仕切り及び建具補修、遊戯室・壁クロス補修、遮熱フィルム張り等

・ 電気設備改修工事

照明器具更新（LED化）、受変電設備工事、幹線動力設備工事、空調更新に伴う電気工事

・ 機械設備改修工事

空調設備新規・更新工事

・ その他改修工事

プール改修工事（プール本体取替、プールサイド床張替等）

4. 工期 契約日から令和8年3月13日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内・職員駐車場
駐車場	同上敷地

現場事務所	同上敷地
-------	------

(2) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3) 工事着手前に近隣及び関係者へ事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は危機管理課・監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員および危機管理課の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(6) 感染症対策は十分に講じること。

(7) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8) 残土関係

・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

・建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
塚原石産興業㈱	指定	5.5 k m	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(9) この工事は執務並行型の工事である。

(10) 本工事は、「週休2日工事実施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

(工事発注時は4週8休（通期）を想定した設計単価で積算している)

7. 本工事に近接・競合及び関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考
安曇野市	令和7年度 認定こども園芝生化事業 豊科認定こども園 園庭播種等工事	令和7年4月11日から 令和7年8月22	芝生種蒔き	契約済

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について

- (1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。
- (2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。
- (3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディームクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
イ. 完成写真を公表すること。
ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項にも基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

令和7年度豊科認定こども大規模改修工事

図面リスト

図面番号	通番	図面名称	図面番号	通番	図面名称	図面番号	通番	図面名称
	1	表紙 図面リスト	Aー 15	22	既存プール 平面図 断面図	Eー 12	42	電気設備 弱電機器姿図
特記01	2	改修特記仕様書（その1）	Aー 16	23	改修プール 平面図	Eー 13	43	電気設備 弱電設備 1階平面図
特記02	3	改修特記仕様書（その2）	Aー 17	24	改修プール 断面図 1	Eー 14	44	電気設備 弱電設備 2階平面図
特記03	4	改修特記仕様書（その3）	Aー 18	25	改修プール 断面図 2	Eー 15	45	電気設備 撤去工事
特記04	5	改修特記仕様書（その4）	Aー 19	26	新設プール 詳細図	Eー 16	46	電気設備 接地端子盤 参考図
特記05	6	電気設備工事 特記仕様書	Aー 20	27	日除け 詳細図			
特記06	7	機械設備工事 特記仕様書	Aー 21	28	プール 雑詳細図			
Aー 1	8	敷地概要 工事概要 案内図 配置図	Aー 22	29	給食室 厨房機器 取替え指示図	Eー 17	47	機械設備 空調設備機器表
Aー 2	9	改修 1階平面図	Aー 23	30	仮設計画参考図	Mー 1	48	機械設備 空調更新 1階平面図
Aー 3	10	改修 2階平面図				Mー 2	49	機械設備 空調更新 2階平面図
Aー 4	11	改修 屋根伏図				Mー 3	50	機械設備 空調撤去 1階平面図
Aー 5	12	遊戯室 改修指示図				Mー 4	51	機械設備 空調撤去 2階平面図
Aー 6	13	保育室関係 改修指示図	Eー 1	31	電気設備 キュービクル設備図	Mー 5	52	機械設備 改修プール 機器表・凡例
Aー 7	14	2階 会議室 職員室関係 改修指示図	Eー 2	32	電気設備 盤 図	Mー 6	53	機械設備 改修プール 平面図
Aー 8	15	改修 2階部分平面図 落下防止手すり取付図	Eー 3	33	電気設備 幹線設備 配置図			
Aー 9	16	立面図 1	Eー 4	34	電気設備 幹線設備 平面図			
Aー 10	17	立面図 2	Eー 5	35	電気設備 動力設備 1階平面図			
Aー 11	18	改修 部分詳細図 1	Eー 6	36	電気設備 動力設備 2階平面図			
Aー 12	19	改修 部分詳細図 2	Eー 7	37	電気設備 照明器具姿図 1			
Aー 13	20	改修 家具表 1	Eー 8	38	電気設備 照明器具姿図 2			
Aー 14	21	改修 1階テラス床 改修平面図	Eー 9	39	電気設備 照明設備 1階平面図			
			Eー 10	40	電気設備 照明設備 2階平面図			
			Eー 11	41	電気設備 コンセント設備 1階平面図			

令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事

改修工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

安曇野市豊科4553-15

2. 敷地面積 (㎡)

3,514.98 ㎡

3. 工事種目

建 物 別	種 別	構 造	階 数	梁間 (m)	桁行 (m)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
豊科認定こども園	改修	R C	2	—	—	1,172.43 ㎡	1,482.48 ㎡

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標準」という。）により、改修標準に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準」という。）、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説 平成25年版」（以下、「解体共仕」という。）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の(. . .)内の表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の[. . .]内の表示記号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 特記事項に記載の< . . . >内の表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項 目

特 記 事 項

1 一般共通事項

○1. 適用基準等

◎建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（最新版）
◎敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（最新版）
◎建築鉄骨設計基準 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（最新版）
◎工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
◎安曇野市建築工事の手引 安曇野市企画財政部監修
◎公共建築改修工事標準仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（最新版）
◎木造建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（最新版）
◎建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（最新版）
◎建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編） 建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
◎長野県建設リサイクル推進指針

2. 品質計画

建築基準法に基づく風圧区分を必要とする場合は次にによる [1.2.2]
※風速 (V₀)
※地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
※積雪区分 告示第1455号 別表 ()

○3. 電気保安技術者

◎適用する ・適用しない (1.3.3)

○4. 施工条件明示項目

・ (1.3.5)

○5. 発生材の処理等

◎別紙解体工事仕様書による ・横外搬出正処理 (1.3.8)
また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。
・引渡しを要するもの
・再生資源の利用を図るもの

○6. 特別な材料の工法

改修標準及び標準に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

○7. 施工数量調査

調査範囲及び調査方法 ※図示 外壁・内壁・ひび割れ調査 (1.5.2)
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 (1.5.3)

○8. 技能士

◎適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。） (1.6.2)
・適用しない

○9. 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

○10. 設計図

◎図示 ・設計図=現状図

○11. 化学物質の濃度測定

測定方法 ◎「バット」法（拡散法） ・「アテ」法（吸引法） [1.5.9]
検査機関 ◎環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承認した者
測定物質 ◎ホルムアルデヒド ◎1,3-ジクロロベンゼン ◎2,4-ジクロロベンゼン ◎ベンゼン ◎キシレン
測定箇所(室) 保育室1・5 未満児室1 給食室 計 4 箇所
◎試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会ひの下に行う。
化学物質の室内汚染濃度指針値
ホルムアルデヒド 1,3-ジクロロベンゼン 2,4-ジクロロベンゼン ベンゼン キシレン 備考
0.08ppm 0.07ppm 0.20ppm 0.88ppm 0.04ppm 0.05ppm
◎作成する (1.8.1~1.8.3) (表1.8.1)
※完成図（※設計図書で示したもの全て ・標準仕1.7.1による ・監督員の指示による）
作成方法 ※原図 用紙 (※トリプル「A」-「A1」 ・ ※ 平切 ・ 全紙
・マイクロフィルム (7インチ「A」付)
◎製本 (白焼き、A3-2つ折り製本表紙・背文字入れ (3部))
◎CADデータ (※CD-R (2部) ・)
◎安全に関する資料 (2部)
下記のものを監督職員に提出する。原稿は撮影業者の保管とする。
分類 規格 撮影面数 部数 写真のサイズ (mm)
◎ カラー写真 外部 (5) 内部 (30) ◎2 ・ ◎ 4x6 仕様 ・「A」版
・ パネル (木製枠) 外部 () 内部 () ◎2 ・ ※ 平切 ・ 全紙
・ カラースライド 外部 () 内部 () ※1 ・ 24×36以上
◎ 電子データ 外部 () 内部 () ◎2 ・ ◎ 200万画素以上
◎ 700dpi 以上
電子データは、7インチのうえRGB各8ビット (768×480)、P6形式最高画質 (100%画質) とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ◎ 建築完成写真撮影の美観のある業者で監督職員の承認する撮影業者
○13. 完成写真
○14. 建築材料等
本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の美観があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。
なお、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする。
また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承認を受けた材料とする。
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
(1) 合板、木質系フローリング、構造用木材、集成材、単板積層材、WDF、パーティクルボード、その他の木質建材、3層の樹脂板、仕上り塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びキシレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(3) 接着剤は70度以上で硬化し、2-エチルヘキサンを含有しない難燃性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、1,3-ジクロロベンゼン、2,4-ジクロロベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(4) 塗料はホルムアルデヒド、1,3-ジクロロベンゼン、2,4-ジクロロベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用し作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
規 制 対 象 外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第三種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのE規格品
④旧JISのF規格品
○1. 足場その他 (2.2.1)
内部足場 種別 ◎脚立、足場板等 (2.2.1)
外部足場 種別 ◎A種(手すり先行工法) ・B種 ・C種 ・D種 (2.2.1) (表2.2.1)
防護シートによる養生 ※行わない ○行う (2.2.1) (表2.2.1)
材料、撤去材料等の運搬 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 (2.2.1) (表2.2.1)
既存部分の養生 ◎ビニルシート等 (2.3.1)
既存家具等の養生 ◎ビニルシート等 ・ (2.3.1)
固定家具等の移動 ◎行わない ・行う (図示)
○2. 養生 (2.3.2) (表2.3.1)
3. 仮設間仕切 (2.3.2) (表2.3.1)
種 別 下 地 仕上材 (厚さ mm) 充てん材 塗 装
・A種 ※軽量鉄骨 ・合板 (※9.0 ・) ※無し
・B種 ・木下地 ※せつこうボード (※9.5 ・) 厚さ mm ・片面
※C種 単管下地 防炎シート
仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※無し
・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・有り

○4. 監督職員事務所

※ 設ける ○設けない (2.4.1) (表2.4.2)
規 模 ※10m程度 ・20m程度 ・ ()

○5. 工事用水

構内既存の施設 ○利用できる (◎ 有償 ・無償) ※利用できる

○6. 工事用電力

構内既存の施設 ○利用できる (◎ 有償 ・無償) ※利用できる

3 防水改修工事

1. アスファルト防水 (3.3.2) (3.3.3) (表3.3.1) (表3.3.3~表3.3.10)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
・P1B		・B-1 ※B-2
・P1B1	・T1B1	・B1-1 ※B1-2
・P2A1		・A1-1 ※A1-2
・P2A		・A-1 ※A-2
・M4C		・C-1 ※C-2
・M3D	・P0D	・D-1 ※D-2
・P1E	・P2E	・E-1 ※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類 ※3種 ・4種 (3.2.2) (3.3.2)
保護コンクリートのコンクリート種類 ※無筋コンクリート (3.3.2)
二重ドレン (P0D工法の場合) ※設けない ・設ける (3.3.5)
断気装置 (M3D、P0D工法の場合) ※設けない ・設ける (3.3.3)
既存露出防水層表面の仕上り塗装 (M4C工法の場合) ・除去する (3.2.6)
断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※2.5 ・
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護 れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんがが「ワタリ」型とする。
乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm (3.3.2)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上り塗料塗り	使用分歩
・M4AS工法		・AS-1 ・AS-2 ・AS-3	・カラー	※非歩行
・M3AS工法		・AS-4 ・AS-5 ・AS-6	・シルバー	・軽歩行
・P0AS工法				
・M3ASI工法		・ASI-1 ・ASI-2		
・M4ASI工法				
・P0ASI工法				

断気装置 ・設けない ・設ける (3.2.5)
目地処理 P Cコンクリートの場合 () (3.5.4)

2. 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) (3.4.3) (表3.1.1) (表3.4.1~表3.4.3)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上り塗料塗り	使用分歩
・M4AS工法		・AS-1 ・AS-2 ・AS-3	・カラー	※非歩行
・M3AS工法		・AS-4 ・AS-5 ・AS-6	・シルバー	・軽歩行
・P0AS工法				
・M3ASI工法		・ASI-1 ・ASI-2		
・M4ASI工法				
・P0ASI工法				

断気装置 ・設けない ・設ける (3.2.5)
目地処理 P Cコンクリートの場合 () (3.5.4)

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2) (3.5.3) (表3.1.1) (表3.5.1)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上り塗料塗り	使用分歩
・P0S工法		・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2 ・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1 ・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1 ・SI-F2		
・S3SI工法		・SI-M1 ・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

断気装置 ・設けない ・設ける (3.5.3)
目地処理 P Cコンクリートの場合 () (3.5.4)

4. 塗膜防水 (表3.1.1) (3.6.3) (表3.6.1)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上り塗料塗り
・P0X工法		・X-1	・シルバー
・L4X工法		・X-2	・カラー

既存塗膜防水層表面の仕上り塗装 (L4X工法の場合) ・除去する (3.2.6)
断気装置 ※設けない ・設ける (3.6.3)

(1~4)についての保証

防水工事施工者及び請負者連名の保証書（10年）を提出のこと。

5. 断気装置 (3.3.3) (3.4.3) (3.5.3)

種 類	材 質	設置数量
・平面部断気型	・ポリエチレン樹脂 ・ステンレス	・ABS樹脂 ・鋼鉄
		() ㎡当たり1箇所
・立上り部断気型	・合成ゴム ・ステンレス	・塩化ビニル樹脂 ・銅
		() ㎡当たり1箇所

シーリング改修工法の種類 (3.7.4~3.7.7) (表3.7.1)
◎シーリング充てん工法 ○シーリング再充てん工法
・拡幅シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法
シーリングの種類、施工箇所 (3.7.2) (表3.7.1)
※下表以外は改修標準表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

P C B含有シーリング調査
・1次分析 (P C B含有分析の要否判定)
工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、P C B含有分析が必要な場合は協議する。
・2次分析 (P C B含有分析)
P C Bの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。
(1)採取箇所 計 箇所
(2)採取方法 分析機関の指定する方法により採取する。
(3)分析方法 G C-E C D法による (JIS K0114)
シーリングにP C Bが含有していた場合の措置
(1)除去方法 改修標準3.7.5(a)による
(2)処置方法 関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、P C Bが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。
といの材質 (3.8.2) (表3.8.1)
※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡3層管
・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板
鋼管製といの防護 ※改修標準表3.8.5による (3.8.3) (表3.8.5)
次の面所は行わない ()
ロックウール保温板及びフェノールフォーム保温板のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外 ・第三種
掃除口 ※有り ・無し
紙とい受け金物の取付け ※図示 ・標準13.5.3(d) (2)による (3.8.3)

8. アルミニウム製笠木 (3.9.2) (表3.9.1)

種 類	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考
・100形		※A-1 又は B-1種	※固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	※隅内部及び突当り部等の役物は本体製造所の仕様による
・250形	1. 6以上			
・300形	1. 8以上	・B-2 ()		
・350形	2. 0以上			

板材折曲げ形の取付工法 ※図示 (3.9.3)
工法 既存笠木等の撤去 ・行う (範囲 ※図示 ・)
下地補修の工法 ※図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示
[13.3.2] [13.3.3] [表13.2.1]
形 式 ※重ね形 ・かん合形
形状 (mm) 山高 () 山ビッチ () 板 厚 (mm) ※0.6 ・0.8 ・
材 料 ※塗装溶融55%7kg以上亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (GSL00R-20-A150) (規格等)
軒先面戸板 ※有り ・無し
断熱材 ※有り (種別:) 厚さ: (mm) ・無し
耐火性能 ※30分耐火 ・無し
(9)についての保証
・長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。
・上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

4~1 外壁改修工事 共通事項

1. 施工数量調査 (1.5.2)

調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲
調査内容
ひび割れの幅及び長さの壁面に表示する。また、ひび割れの挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部を壁面に表示し、また欠損部の形状寸法等調査する。
コンクリートまたは、モルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数 ※2部
(4.2.2)
・既製鋼合モルタル
保水率 (％) 単位容積質量 (Kg / l) 接着強さ (N / mm2) 標準時 温冷繰り返し後 長さ変化率 (％) 曲げ強さ (N / mm2)
70.0 以上 1. 80 程度 0. 60 以上 0. 40 以上 0. 20 以上 4. 0 以上
(4.2.2)
・パテ状エポキシ樹脂
初期硬化性 (標準) 接着強さ (標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率
2.0 N / mm2 以上 6.0 N / mm2 以上 50.0 N / mm2 以上 30.0 N / mm2 以上 3.0 % 以下
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚染しないこと。
c. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。
(4.2.2)
・可とう性エポキシ樹脂
性 能 常湿物性 低湿性 加熱硬化 引張接着性
引張強さ 1.0 N / mm2 以上 1.0 N / mm2 以上 1.0 N / mm2 以上 最大引張応力 1.0 N / mm2
伸び 30.0 % 以上 30.0 % 以上 30.0 % 以上 破断時の伸び 10 % 以上
比 重 押出し性 スランプ 加熱減量
表示値±0.10 60秒以下 3mm以下 5%以下
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚染しないこと。
c. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。
(4.2.2)
・タイル部分替換用エポキシ樹脂
接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱硬化
強度 (N / mm2) 0.60 以上 0.40 以上 0.40 以上 0.40 以上 0.40 以上
凝結破壊率 (%) 75 以上 50 以上 50 以上 50 以上 50 以上
皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱硬化
引張強度 (N / mm2) 1.00 以上 1.00 以上 1.00 以上 1.00 以上 1.00 以上
伸び (%) 30 以上 30 以上 30 以上 20 以上 20 以上
貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nもりて安定していること。
a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。
c. 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6ヶ月間保存しても上記品質性能に適合していること。
e. ずれ抵抗性があること。
f. 混練後結晶の確認が容易にように色が明瞭であること。
(4.2.2)
・エポキシ樹脂モルタル
接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ
1.0 N / mm2 以上 20.0 N / mm2 以上 10.0 N / mm2 以上
a. ごり塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がり良好であること。
b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。
e. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6ヶ月間保存しても上記品質性能に適合していること。

図面名称

改修特記仕様書（その1）

年 月 日

2025. 03

工事名

令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事

図面番号

特記ー〇1

検 印 欄

4-1	外壁改修工事 共通事項	・ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等 <table><tr><td>曲げ強さ (N/mm2)</td><td>圧縮強さ (N/mm2)</td><td colspan="3">接着強さ (N/mm2)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>標準時</td><td>湿潤時</td><td>低温時</td></tr><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></table> 表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ポリマーセメントスラリー <table><tr><td>広がり速度 (cm/s)</td><td>長さ変化率 (収縮)</td><td>引張接着性 (材齢28日)</td><td>曲げ性能 (72時間)</td><td>吸水性 (72時間)</td><td>耐久性 (劣化曲げ強さ)</td></tr><tr><td>3以上</td><td>3%以下</td><td>0.5N/mm2以上</td><td>5.0N/mm2以上</td><td>15%以下</td><td>5.0N/mm2以上</td></tr></table> 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・吸水調整材 <table><tr><td>項目</td><td>全固形分(%)</td><td>吸水性(g)</td><td>接着強さ(N/mm2)</td><td>界面破壊率(%)</td></tr><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分間で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以上</td></tr></table> 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2)					標準時	湿潤時	低温時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (72時間)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上	項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強さ(N/mm2)	界面破壊率(%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上	4. 浮き部改修工法	<table><tr><th colspan="6">(4.1.4) (4.4.10～4.4.15) (表4.4.3) (表4.4.4)</th></tr><tr><th>改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th><th>ｱﾝｶｰﾋﾞﾝの本数(本/㎡)</th><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th><th>注 入 量</th></tr><tr><td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>-</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>-</td><td>※50ml</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>-</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>-</td><td>※50ml</td></tr></table> アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm	(4.1.4) (4.4.10～4.4.15) (表4.4.3) (表4.4.4)						改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	ｱﾝｶｰﾋﾞﾝの本数(本/㎡)	一般部	指定部	一般部	指定部	注 入 量	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	-	※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	-	※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	-	※50ml	・ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	-	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	-	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	-	※50ml	4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1. 既存塗膜等の除去及び下地処理 2. 下地調整材 3. 仕上げ塗材仕上げ 種類、仕上げの形状、工法 <table><tr><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th></tr><tr><td>・薄付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材S ・可とう形外装薄塗材S ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S</td><td>・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・砂壁状</td></tr><tr><td>・複層仕上塗材</td><td>・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材S ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS</td><td>・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ○水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ○つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う</td></tr><tr><td>・可とう系改修用 仕上塗材</td><td>・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE</td><td>・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td></tr></table> 防火材料の指定が必要な場合 ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。	種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S ・可とう形外装薄塗材S ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・砂壁状	・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材S ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ○水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ○つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う	・可とう系改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	〇12. 建具用金物	マスターキー ※製作する ○製作しない 建具金物の種類 錠前類は、シリンダー錠錠（レバーハンドル）とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承認を受ける。 吊金物 ・丁香（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい） ・ヒボットヒンジ	〇13. ガラス	〇建具表による ・ガラスブロック積み（※図示） ガラスブロック 品質JIS A5212によるもの	色 調 ※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー（ ）	パターン ※無し ・有り	防火認定	ガラス留め材	(5.12.2) (表5.12.1)	建 具 の 種 類 アルミニウム製 鋼製及び軽量鋼製 ステンレス製	材 質 ※シーリング材 ・ガasket（F1X部はシーリング材） ※シーリング材 ※シーリング材	防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づき防火性能認定品とする。 板ガラスをはめ込む凸の大きさ 改修仕様5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承認を受ける。	〇15. ガラス用フィルム	名 称 ※ガラス飛散防止フィルム ○ 遮断フィルム 品質JIS A5759による	種 類 第2種	張り面 ※内張り ・外張り 内張り	性能値 飛散防止率 D1	16. 重量シャッター	シャッターの種類 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防塵シャッター	耐風圧性能（ ）N/m2 耐風圧性能（ ）N/m2	17. 軽量シャッター	開閉形式 ※自動式 ・上部電動式（自動併用） スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） 耐風圧性能（ ）N/m2	（5.10.2） (表5.10.1) （5.10.4） (表5.10.2)	18. オーバーヘッドドア	セクション材 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ	開閉方式 ※バラン式 ・チェーン式 ・電動式	収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形	ガイドレールの材質 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）	耐風圧性能（ ）N/m2	19. かざ箱	市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用	6 内装改修工事	1. 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲	(6.1.3) (6.1.3) (6.1.3)	2. 既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去 下地補修 合成樹脂張り床材の除去工法 改修後の床の清掃範囲	※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（※図示の範囲 ・除去範囲全て） ・機械的除去工法 ・目荒工法 ※改修箇所の室内 ・	(6.2.2) (6.2.2) (6.2.2)	3. 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない）	(6.3.2) (4.4.9)	4. 木下地等	木材の品質 ※改修仕様6.5.2)による ・市販品 樹種 ※改修仕様表6.5.4)による ・代用樹種を適用しない箇所（ ）	(6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3) (6.5.2) (表6.5.4)	5. 集成材等	品 名 ※集成材 ・構造用集成材 ・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材	規格・品質 ※一般材 ※1級 ・2級 ※1級 ・2級 ※1級 ・2級	芯 材 の 樹 種 ・たも ・なら ・しおじ ・ ・ ・	化粧板の樹種 ・ ・ ・ ・	6. 接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ※木工事に使用する接着剤 2)77樹脂、4527樹脂、2017樹脂、U77樹脂、4527樹脂又は4527樹脂と4527樹脂系防腐剤（以下「2)77樹脂等」という。）を用いた接着剤の4527樹脂放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 ※壁紙、ビニル床シート、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 壁紙施工用でん粉系接着剤、2)77樹脂等を用いた接着剤の4527樹脂放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	(6.5.2) (6.8.2) (6.14.2)	〇11. 木製建具	かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤の4527樹脂放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	(16.6.2) (表16.6.3) (16.6.2)	改修特記仕様書（その2）	年月日 2025.03	検 印 欄	工事名 令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号 特記－〇2
		曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2)																																																																																																																																																																														
		標準時	湿潤時	低温時																																																																																																																																																																														
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																																																																																														
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (72時間)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																													
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上																																																																																																																																																																													
項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強さ(N/mm2)	界面破壊率(%)																																																																																																																																																																														
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上																																																																																																																																																																														
(4.1.4) (4.4.10～4.4.15) (表4.4.3) (表4.4.4)																																																																																																																																																																																		
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	ｱﾝｶｰﾋﾞﾝの本数(本/㎡)	一般部	指定部	一般部	指定部	注 入 量																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	-	※25ml																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	-	※25ml																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	-	※50ml																																																																																																																																																																												
・ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	-	※25ml																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	-	※25ml																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	-	※50ml																																																																																																																																																																												
種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状																																																																																																																																																																																
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S ・可とう形外装薄塗材S ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・砂壁状																																																																																																																																																																																
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材S ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ○水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ○つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う																																																																																																																																																																																
・可とう系改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																

耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事	8-1	1. 鉄筋の種類	(8. 2. 1) (表8. 2. 1)	22. 耐火被覆材	(8. 17. 2～8. 17. 7)	4. 連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの (8. 2. 11)	10	工事現場の環境改善・建設副産物及びISO 14001関係	O1. 工事現場の環境改善について O2. 産業廃棄物の取扱いについて O3. 再生資源利用促進計画書等について O4. ISO 14001関係 O5. 過積載の禁止	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 ・ 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 ・ 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 ・ 住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 (1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。 (2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。 (3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一貫並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。 (4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、マテリアル票、B票並びにC票の写しを監督員に提出すること。 （B票及びD票はマテリアル交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期限内に提出できない場合は、監督員と協議すること。） 「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。 対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事 (1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。 (2)夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。 (4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。 「参考資料」：平成13年2月24日付、建設省技調発第49号、同管建発第10号（改正平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良の再利利用に関する当面の措置について」 (5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。 資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。		
	2. 溶接金網	(8. 2. 2)	23. 既存コンクリート面の目直し	(8. 19. 3) (8. 20. 3)	5. スリットの施工	スリット部の配管等の探査 ※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・ はつり出し (8. 21. 7)							
	3. 鉄筋の継手	(8. 3. 4) (表8. 3. 3)	24. もみれ及びがけ材材	[7. 10. 3] [表7. 10. 2] (8. 2. 10)	9. 環境配慮（グリーン）改修工事	1. アスベスト含有分析調査 (9. 1. 1)							
	4. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	(8. 3. 5) (表8. 3. 6)				2. アスベスト粉じん濃度測定 (9. 1. 1)							
	5. 各部の配筋	(8. 3. 4)				3. 7x16スチ含有吹付け材の除去（レベル1） (9. 1. 3)							
	6. ガス圧接	(8. 3. 9)				4. 7x16スチ含有保温材等の除去（レベル2） (9. 1. 4)							
	7. コンクリートの種類及び強度	(8. 1. 3) (表8. 1. 1)				5. 7x16スチ含有成形板の除去（レベル3） (9. 1. 5)							
	8. コンクリートの品質	(8. 1. 4)				6. 外断熱改修工事 (9. 3. 2)							
	9. 普通コンクリート	(8. 2. 5) (表8. 2. 3)				7. ガラス改修工事 (9. 4. 2)							
	10. 無筋コンクリート	[6. 14. 3]											
	11. 高い強度のコンクリート	(8. 9. 1) (8. 9. 2) (8. 9. 4)											
	13. 鉄骨製作工場	(8. 1. 5)											
	14. 入熱、バスの間温度の溶接条件	(8. 9. 3)											
	15. 施工管理技術者	[7. 1. 4]											
	16. 鋼材	(8. 2. 7) (表8. 2. 5)											
	17. スカラップ	(8. 2. 8)											
	18. 高力ボルト	(8. 12. 9)											
	19. 鉄骨工作仮組	(8. 14. 11) (8. 14. 12)											
	20. 溶接部の試験	(8. 16. 3)											
	21. 鎮止め塗装	(8. 16. 3)											
耐震改修工事	8-2	1. 鉄筋の種類	(8. 2. 1) (表8. 2. 1)	22. 耐火被覆材	(8. 17. 2～8. 17. 7)	4. 連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの (8. 2. 11)	10	工事現場の環境改善・建設副産物及びISO 14001関係	O1. 工事現場の環境改善について O2. 産業廃棄物の取扱いについて O3. 再生資源利用促進計画書等について O4. ISO 14001関係 O5. 過積載の禁止	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 ・ 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 ・ 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 ・ 住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 (1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。 (2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。 (3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一貫並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。 (4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、マテリアル票、B票並びにC票の写しを監督員に提出すること。 （B票及びD票はマテリアル交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期限内に提出できない場合は、監督員と協議すること。） 「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。 対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事 (1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。 (2)夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。 (4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。 「参考資料」：平成13年2月24日付、建設省技調発第49号、同管建発第10号（改正平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良の再利利用に関する当面の措置について」 (5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。 資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。		
	2. 溶接金網	(8. 2. 2)	23. 既存コンクリート面の目直し	(8. 19. 3) (8. 20. 3)	5. スリットの施工	スリット部の配管等の探査 ※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・ はつり出し (8. 21. 7)							
	3. 鉄筋の継手	(8. 3. 4) (表8. 3. 3)	24. もみれ及びがけ材材	[7. 10. 3] [表7. 10. 2] (8. 2. 10)	9. 環境配慮（グリーン）改修工事	1. アスベスト含有分析調査 (9. 1. 1)							
	4. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	(8. 3. 5) (表8. 3. 6)				2. アスベスト粉じん濃度測定 (9. 1. 1)							
	5. 各部の配筋	(8. 3. 4)				3. 7x16スチ含有吹付け材の除去（レベル1） (9. 1. 3)							
	6. ガス圧接	(8. 3. 9)				4. 7x16スチ含有保温材等の除去（レベル2） (9. 1. 4)							
	7. コンクリートの種類及び強度	(8. 1. 3) (表8. 1. 1)				5. 7x16スチ含有成形板の除去（レベル3） (9. 1. 5)							
	8. コンクリートの品質	(8. 1. 4)				6. 外断熱改修工事 (9. 3. 2)							
	9. 普通コンクリート	(8. 2. 5) (表8. 2. 3)				7. ガラス改修工事 (9. 4. 2)							
	10. 無筋コンクリート	[6. 14. 3]											
	11. 高い強度のコンクリート	(8. 9. 1) (8. 9. 2) (8. 9. 4)											
	13. 鉄骨製作工場	(8. 1. 5)											
	14. 入熱、バスの間温度の溶接条件	(8. 9. 3)											
	15. 施工管理技術者	[7. 1. 4]											
	16. 鋼材	(8. 2. 7) (表8. 2. 5)											
	17. スカラップ	(8. 2. 8)											
	18. 高力ボルト	(8. 12. 9)											
	19. 鉄骨工作仮組	(8. 14. 11) (8. 14. 12)											
	20. 溶接部の試験	(8. 16. 3)											
	21. 鎮止め塗装	(8. 16. 3)											
耐震改修工事	8-2	1. 鉄筋の種類	(8. 2. 1) (表8. 2. 1)	22. 耐火被覆材	(8. 17. 2～8. 17. 7)	4. 連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの (8. 2. 11)	10	工事現場の環境改善・建設副産物及びISO 14001関係	O1. 工事現場の環境改善について O2. 産業廃棄物の取扱いについて O3. 再生資源利用促進計画書等について O4. ISO 14001関係 O5. 過積載の禁止	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 ・ 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 ・ 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 ・ 住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 (1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。 (2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。 (3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一貫並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。 (4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、マテリアル票、B票並びにC票の写しを監督員に提出すること。 （B票及びD票はマテリアル交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期限内に提出できない場合は、監督員と協議すること。） 「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。 対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事 (1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。 (2)夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。 (4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。 「参考資料」：平成13年2月24日付、建設省技調発第49号、同管建発第10号（改正平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良の再利利用に関する当面の措置について」 (5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。 資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。		
	2. 溶接金網	(8. 2. 2)	23. 既存コンクリート面の目直し	(8. 19. 3) (8. 20. 3)	5. スリットの施工	スリット部の配管等の探査 ※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・ はつり出し (8. 21. 7)							
	3. 鉄筋の継手	(8. 3. 4) (表8. 3. 3)	24. もみれ及びがけ材材	[7. 10. 3] [表7. 10. 2] (8. 2. 10)	9. 環境配慮（グリーン）改修工事	1. アスベスト含有分析調査 (9. 1. 1)							
	4. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	(8. 3. 5) (表8. 3. 6)				2. アスベスト粉じん濃度測定 (9. 1. 1)							
	5. 各部の配筋	(8. 3. 4)				3. 7x16スチ含有吹付け材の除去（レベル1） (9. 1. 3)							
	6. ガス圧接	(8. 3. 9)				4. 7x16スチ含有保温材等の除去（レベル2） (9. 1. 4)							
	7. コンクリートの種類及び強度	(8. 1. 3) (表8. 1. 1)				5. 7x16スチ含有成形板の除去（レベル3） (9. 1. 5)							
	8. コンクリートの品質	(8. 1. 4)				6. 外断熱改修工事 (9. 3. 2)							
	9. 普通コンクリート	(8. 2. 5) (表8. 2. 3)				7. ガラス改修工事 (9. 4. 2)							
	10. 無筋コンクリート	[6. 14. 3]											
	11. 高い強度のコンクリート	(8. 9. 1) (8. 9. 2) (8. 9. 4)											
	13. 鉄骨製作工場	(8. 1. 5)											
	14. 入熱、バスの間温度の溶接条件	(8. 9. 3)											
	15. 施工管理技術者	[7. 1. 4]											
	16. 鋼材	(8. 2. 7) (表8. 2. 5)											
	17. スカラップ	(8. 2. 8)											
	18. 高力ボルト	(8. 12. 9)											
	19. 鉄骨工作仮組	(8. 14. 11) (8. 14. 12)											
	20. 溶接部の試験	(8. 16. 3)											
	21. 鎮止め塗装	(8. 16. 3)											
耐震改修工事	8-2	1. 鉄筋の種類	(8. 2. 1) (表8. 2. 1)	22. 耐火被覆材	(8. 17. 2～8. 17. 7)	4. 連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの (8. 2. 11)	10	工事現場の環境改善・建設副産物及びISO 14001関係	O1. 工事現場の環境改善について O2. 産業廃棄物の取扱いについて O3. 再生資源利用促進計画書等について O4. ISO 14001関係 O5. 過積載の禁止	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 ・ 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 ・ 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 ・ 住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 (1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。 (2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。 (3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一貫並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。 (4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、マテリアル票、B票並びにC票の写しを監督員に提出すること。 （B票及びD票はマテリアル交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期限内に提出できない場合は、監督員と協議すること。） 「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。 対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事 (1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。 (2)夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。 (4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。 「参考資料」：平成13年2月24日付、建設省技調発第49号、同管建発第10号（改正平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良の再利利用に関する当面の措置について」 (5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。 資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。		
	2. 溶接金網	(8. 2. 2)	23. 既存コンクリート面の目直し	(8. 19. 3) (8. 20. 3)	5. スリットの施工	スリット部の配管等の探査 ※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・ はつり出し (8. 21. 7)							
	3. 鉄筋の継手	(8. 3. 4) (表8. 3. 3)	24. もみれ及びがけ材材	[7. 10. 3] [表7. 10. 2] (8. 2. 10)	9. 環境配慮（グリーン）改修工事	1. アスベスト含有分析調査 (9. 1. 1)							
	4. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	(8. 3. 5) (表8. 3. 6)				2. アスベスト粉じん濃度測定 (9. 1. 1)							
	5. 各部の配筋	(8. 3. 4)				3. 7x16スチ含有吹付け材の除去（レベル1） (9. 1. 3)							
	6. ガス圧接	(8. 3. 9)				4. 7x16スチ含有保温材等の除去（レベル2） (9. 1. 4)							
	7. コンクリートの種類及び強度	(8. 1. 3) (表8. 1. 1)				5. 7x16スチ含有成形板の除去（レベル3） (9. 1. 5)							
	8. コンクリートの品質	(8. 1. 4)											

電 氣 設 備 工 事

1 工事概要

1 工事場所

建築物名稱	構造	階數	延面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考

3 工事種目

(○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外			
		第一種	第二種	第三種	第四種
電 灯 設 備		○	・	・	
動 力 設 備	幹線、分枝	○	・	・	
電 熱 設 備	幹線、分枝	・	・	・	
雷 保 護 設 備		・	・	・	
受 変 電 設 備		○	・	・	
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置	・	・	・	
発 電 設 備		・	・	・	
		・	・	・	
構内情報通信網設備	LAN用配管	・	・	・	
構内交換設備	電話設備	○	・	・	
情報表示設備	時計設備	・	・	・	
映像・音響設備		・	・	・	
拡声設備		○	・	・	
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	・	・	・	
テレビ共同受信設備		・	・	・	
監視カメラ設備		・	・	・	
駐車場管制設備		・	・	・	
防犯・入退室管理設備	予備配管	・	・	・	
自動火災報知設備		・	・	・	
自動閉鎖設備		・	・	・	
非常警報設備	非常放送装置	・	・	・	
ガス漏れ警報設備		・	・	・	
中央監視制御設備		・	・	・	
		・	・	・	
構内配電線路		・	・	・	・
構内通信線路					・
					・
昇降機設備					・
					・

4 図 面 目 録 別紙

番 号	図 面 名 称
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

番 号	図 面 名 称
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

II 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁事務部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)、及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項						
1 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。						
2 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。						
3 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びシレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) 上記（１）、（３）及び（４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のをいい、原則として規制対象外のをを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該当する建築材料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規 制 対 象 外</td><td> ①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 </td></tr> <tr> <td>第 三 種</td><td> ①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の 5 第 3 項による国土交通大臣認定品 ③旧JISの E O 規格品 ④旧JASの F O 規格品 </td></tr> </tbody> </table>	ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料	規 制 対 象 外	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	第 三 種	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の 5 第 3 項による国土交通大臣認定品 ③旧JISの E O 規格品 ④旧JASの F O 規格品
ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料						
規 制 対 象 外	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用						
第 三 種	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第 20 条の 5 第 3 項による国土交通大臣認定品 ③旧JISの E O 規格品 ④旧JASの F O 規格品						
4 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。						
5 電気工事士	契約電力 500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。						
6 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合設計計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工程別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。						
7 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。						
8 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ・ 無 ・ 有 () (2)引渡しを要するもの以外 ・ 構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ・ 無 ・ 有 () (4)再利用又は再資源化を図るもの ・ 無 ・ 有 (・ コングリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類) ・ 設けない ・ 設ける (規模 :) ・ 備品 () すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ・ できる ・ できない ・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ・ 内部仮設足場等 (・ 架台足場 ・ 移動式足場 ・ 移動式室内足場) ・ 外部仮設足場等 (・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種) ・ 防護シート ()						
12 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への請手続等に要する費用は請負者の負担とする。						
13 工 事 写 真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。						
14 しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。						
15 再 使 用 機 器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。						
16 耐 震 施 工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005 版（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量 [kg f] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。						

項 目	特 記 事 項																																																										
	設計用標準水平地震強度																																																										
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="2">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td rowspan="4">中 間 階</td><td>水槽類（※1）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table>	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中 間 階	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
中 間 階	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。																																																										
	◎重要機器の定義は次による。																																																										
	・変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・																																																										
	◎上層階の定義は次による。																																																										
	2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、 10～21階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。																																																										
	(2)設計用鉛直地震力																																																										
	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。																																																										
17 あと施工アンカー	(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び10節による。 (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書5章による。 （引抜き試験を ・ 実施する ・ 実施しない）																																																										
18 防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。																																																										
19 電線・ケーブル	(1)EM-EFFは紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タフバ」付 EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																																																										
20 予 備 配 管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配管用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																										
21 呼 び 線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。																																																										
22 金属製電線管の塗装	下配の露出配管は塗装を行う。 ・ 屋 外 ・ 屋 内 ()																																																										
23 埋 め 戻 し 土	・種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める																																																										
24 建設発生土の処理	・ 場外搬出処理 ・ 構内の指定場所に敷き均し																																																										
25 ケーブル埋設票	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・ 鉄製 ・ コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線理設標識シートを敷設する。																																																										
26 ブルボックス	(3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。 (1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。																																																										
27 フラッシュプレート	露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																																										
28 プレートの用途表示	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ・ 金属製 ・ 樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。																																																										
29 配 線 器 具	タンブラススイッチは通形とする。 壁付付コンセント(2P15A)は原則として通形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。																																																										
30 フロアコンセント	・ 直付（ビス止め）型上下式（ ・ 銅合金製 ・ アルミ製）とする ・ 直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする																																																										
31 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。																																																										
32 照 度 測 定	(1) 学校施設における室内照度測定（測定教室： 個所、測定黒板面： 個所） ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板面直下9か所で測定する																																																										
33 盤 類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。																																																										
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ () <建設機器> ・ 排ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器																																																										
35 他工事又は他工程との取り合い	工事区分表（平成 年 版）による。ただしこれより難しい場合は監督官署と協議する。																																																										
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書（共通事項）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）																																																										

(別表) しゅん工事提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ・ 原図（A2版 ケース入り） ☐ 縮図（A2 2つ折り製本 1部） ・ マイクロフィルム （アーキテュアカード貼付 台紙は青色） ☐ CADデータ	☒ 機器完成図 ☒ 工事写真 ☒ 完成写真 ☒ 工事記録（打合せ簿、工事日誌、協議書） ☒ 機材の試験成績書 ☒ 施工の試験成績書 ☒ 社内試験成績書 ☒ 発生材処理報告書 （廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・ manifests の写し、フロー図）
2 設計図 ・ マイクロフィルム （アーキテュアカード貼付 台紙は青色）	☒ 納入品一覧表
4 納入品 ☐ 予備品 ・ ハンドホールフック、ジャッキ ☐ 整列の鍵 ・	☒ 官公署手帳、検査書（管理用正本、写し） ☒ 保全に関する資料（取扱説明書も含む）

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)

ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)

- ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
- ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

・	ハンドホール No.ー	1、500×1、500×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	450× 450× 680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽等帯等車の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接 地 極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A 種 接 地	銅板 1.5t×900×900 リード端子付 堀削埋戻中心深さ	補助接地棒 (連結 10φ×1、500) 2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	B 種 接 地	銅板 1.5t×600×600 リード端子付 堀削埋戻中心深さ	補助接地棒 (連結 10φ×1、500) 2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	C 種 接 地	銅板 1.5t×300×300 リード端子付 堀削埋戻中心深さ	補助接地棒 (連結 10φ×1、500) 1.5m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	D 種 接 地	接地棒 (10φ×1、500)	リード端子付 打ち込み 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)

5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)	
共 通	取引用計器 引込閉器 警報盤	地上～上端 床上～上端 床上～中心	2,000 1,800 1,500	時 計・ 子 時 計 拡 声	壁掛け時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
					子 時 計	〃	〃	800～1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.9
					壁掛けスピーカ アツチネータ	〃	〃	1,300
電 灯	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	表 表示 ペ ブ ボ ザ ン 押 ボ タ ン 示	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9 1,300	
	タンブラスイッチ 〃 (身障者用)	〃	1,300 1,100		壁付発信器	〃	〃	(天井高)×0.9 (天井高)×0.9
	コンセント(一般)	〃	300		ブザン	〃	〃	(天井高)×0.9
	〃 (和室)	〃	150		押ボタン	〃	〃	1,300
	〃 (便所等)	〃	500		〃 (身障者用押)	〃	〃	800
	〃 (台所)	台上～中心	150		身障者用表示灯	〃	〃	2,000
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100		復操ボタン	〃	〃	1,800
	〃 (鏡場)	〃	2,500					
	〃 (鏡上)	鏡端～中心	150					
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以下		イン ン タ	壁付インターホン 〃 (身障者用)	床上～中心	1,500 1,100
動 力	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス (壁付インターホンを兼ねく)	〃	〃	〃	
	壁掛け制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)		〃 (一般)	〃	〃	300
	手元開閉器	〃	1,500		〃 (和室)	〃	〃	150
	操作スイッチ・ 押ボタン	〃	1,300					
電 話	室内端子盤 (廊下・室内)	床上～下端	300	テ ビ 共 同 受 信	機器収容箱 アウトレット	床上～中心	(天井高)×0.9	
	中継端子盤 (EPS・電気室)	床上～中心	1,500		〃 (一般)	〃	〃	300
	集合保安箱 壁付アウトレット	〃	(天井高)×0.9		〃 (和室)	〃	〃	150
	ボックス(一般)	〃	300					
	〃 (和室)	〃	150					
火 災 報 知				火 災 報 知	受信値機 器収容箱	床上～操作部	800～1,500 800～1,500	
					受信値機 器収容箱	床上～中心	800～1,500 800～1,500	
					ベル	〃	800～1,500 (天井高)×0.9	
					消火栓表示灯	〃	〃	(天井高)×0.8

その他

工事名称 令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事			
図面名称	電気設備工事 特記仕様書	検印欄	検印欄
		年月日	2025
		図面番号	特記ー

敷地概要	住 所	安曇野市豊科4553-15			
	地名地番	同上			
	敷地面積	3,514.98 m ²			
	用途地域	第1種中高層住居専用地域			
	防火地域	22条			
	建 蔽 率	60 %	許容建築面積	2,108.99 m ²	
	容 積 率	200 %	許容延床面積	7,029.96 m ²	

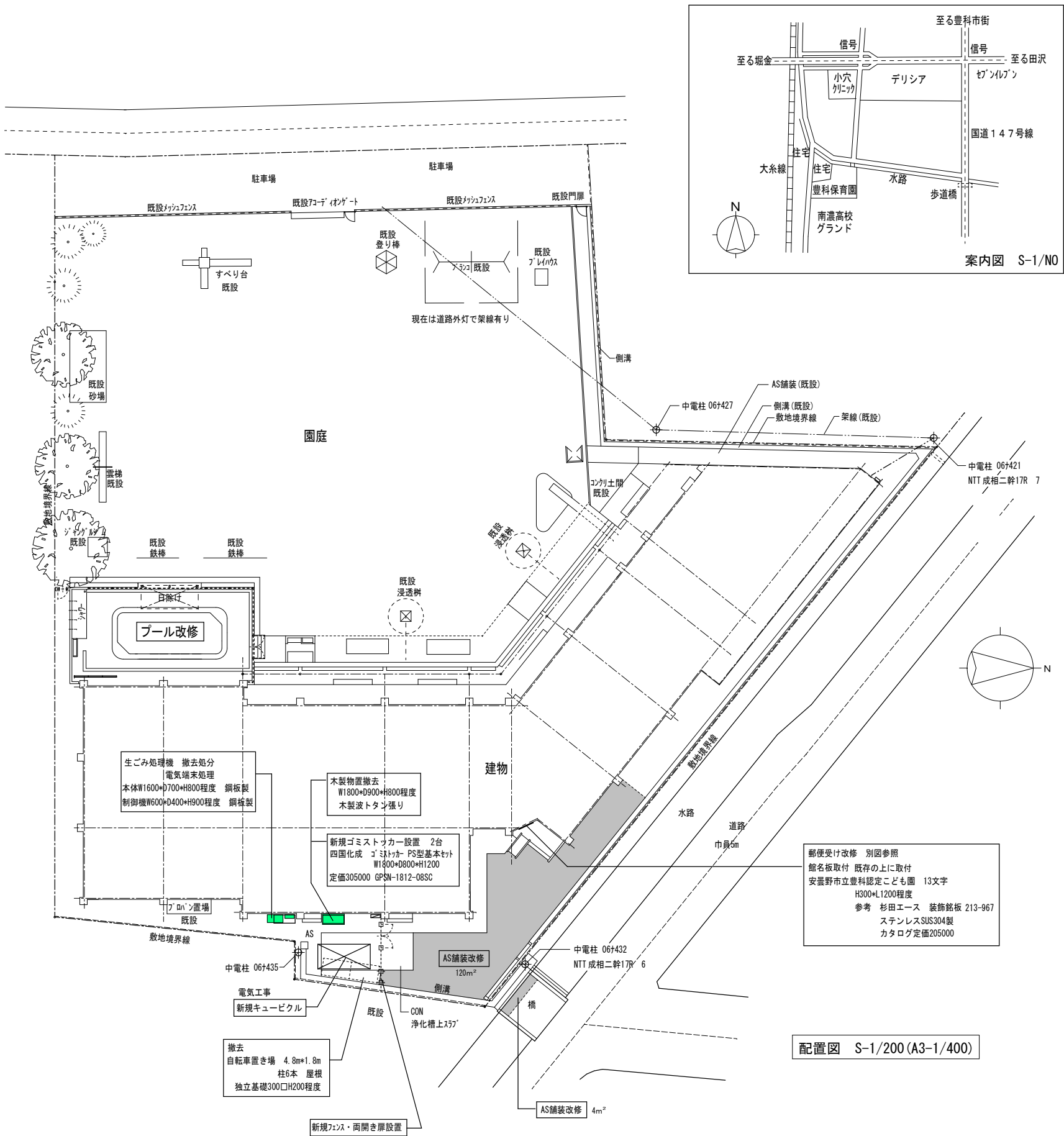
建築面積	1,172.43 m ²	1 階床面積	1,061.48 m ²	
		2 階床面積	421.00 m ²	
		延床面積	1,482.48 m ²	

工事概要	改修工事	執務並行工事となるので、施工エリア、期間については施設側との十分な協議を行い施工計画に反映させること。
------	------	---

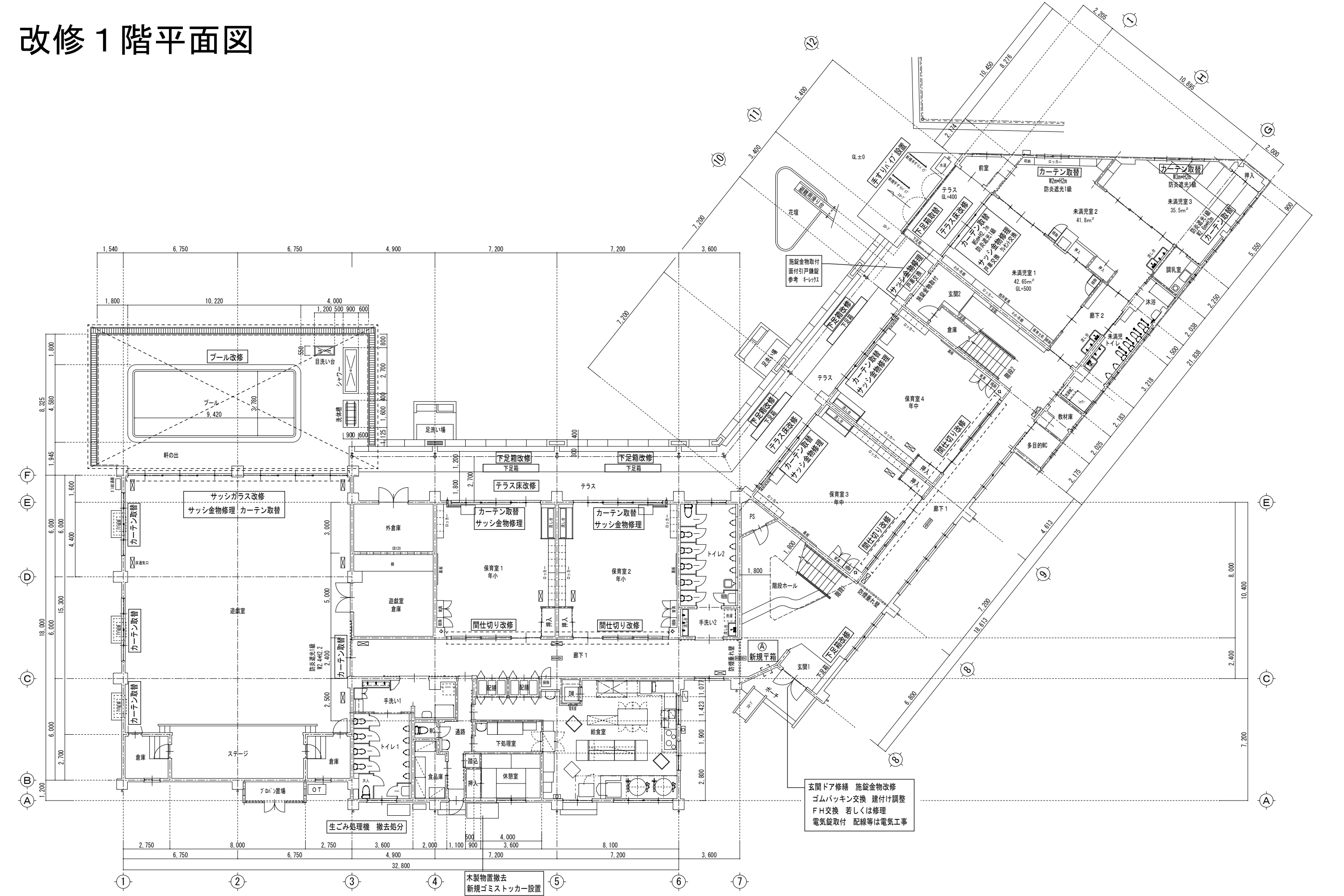
工事内容	建築改修	プールの改築 目隠しフェンス設置 及び 日よけ設置 園児用下足箱の改修→塗装改修 一部取替 内部建具及び枠関係の改修 保育室一廊下の出入口他取替え 遊戯室 西面サッシへの遮熱フィルム張り テラス床材のはがれの対応補修張り替え 未満児テラススロープ部分が雪等で滑るので手すり設置対策 カーテン 防災マークがないので取替え 全て 2階窓 保育室・廊下に転落防止の柵設置 サッシの修理 クレセント・戸車の取替え 玄関 館名板取付 郵便受け改修 玄関ドアの修繕
		外部東側 不要生ごみ処理機・物置 撤去処分 新規ゴミストッカー設置2台 既設自転車置き場撤去 アスファルト舗装不陸補修 表面に重ねて舗装 キュービクル基礎
		給食室 冷蔵庫関係2台入替え 電気・機械設備改修に伴う建築工事

設備改修	電気	エアコン増設に伴いキュービクルの設置及び幹線工事 テラス部分にコンセント設置 照明のLED器具交換 外灯の設置 正面玄関ドア 電気錠の取付 職員室で解錠施錠 放送設備 外部 の改修 園庭での使用を使いやすく 保育室 年長クラス 扇風機取付 電話 主装置取替え

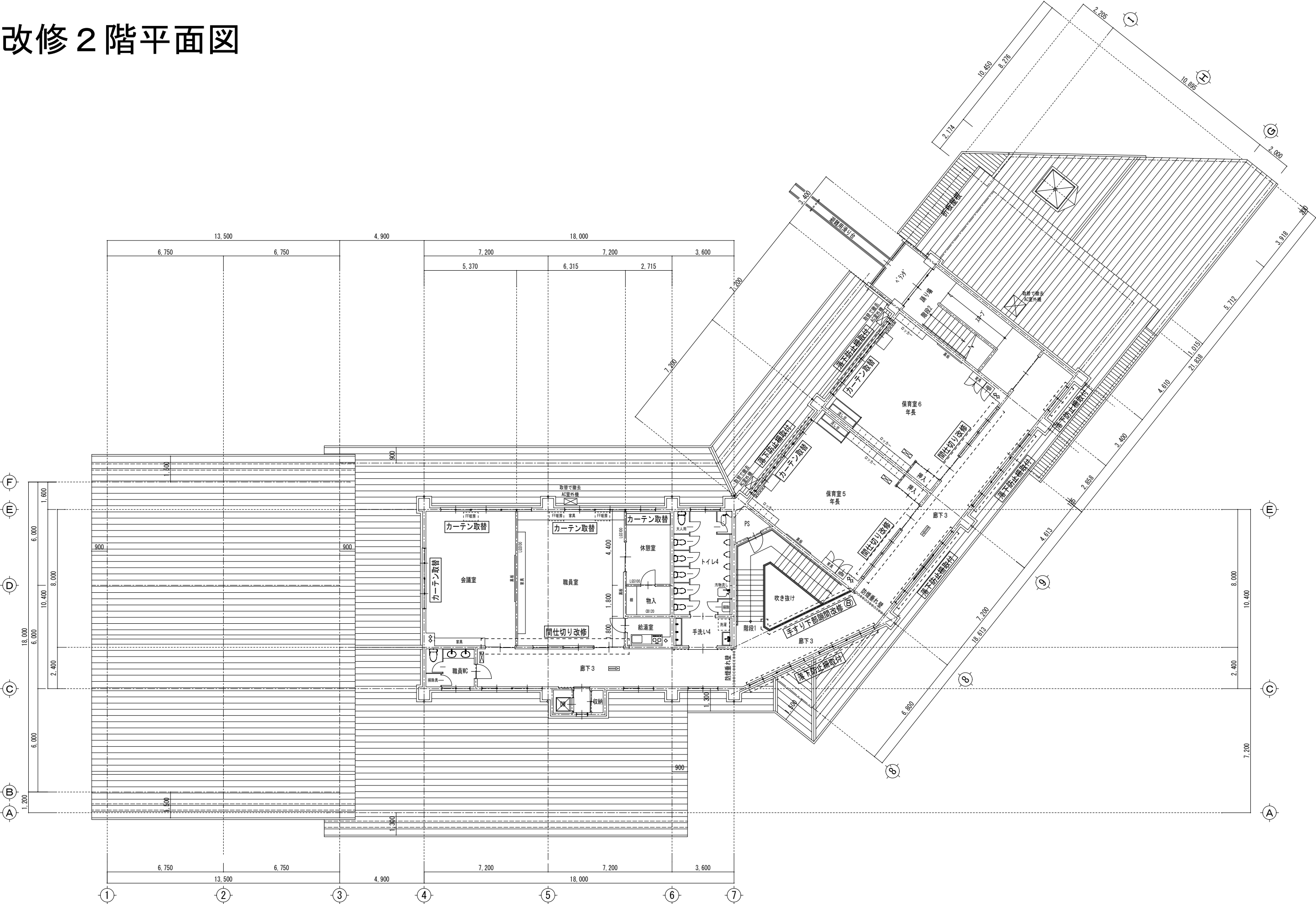
機械	エアコン設備の取替え 基本全部対応 プール改修に伴う給排水給湯設備 トイレ換気扇の不具合有り 取替え



改修 1 階平面図



改修 2 階平面図



訂正	月・日

設計	
製図	

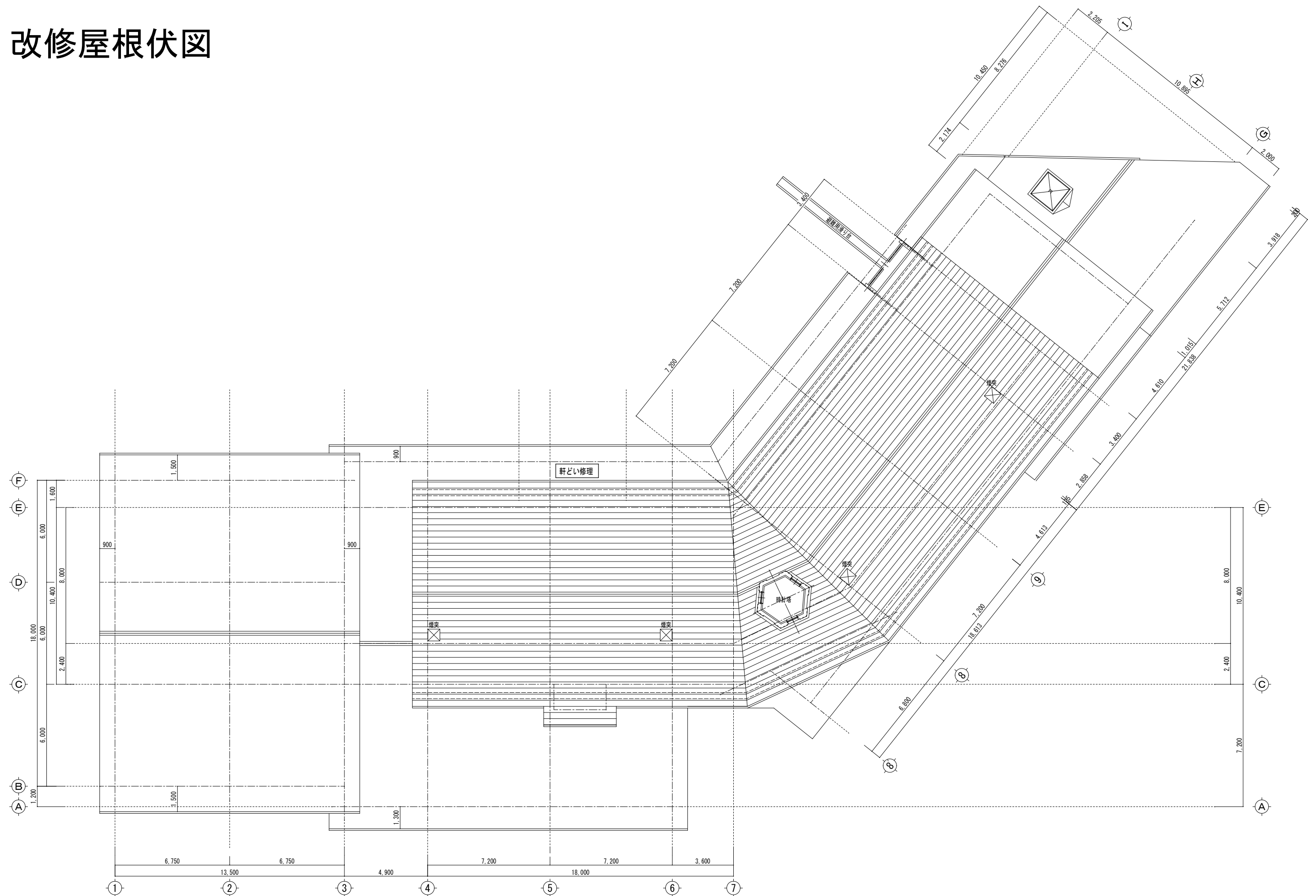
検図	
担当	

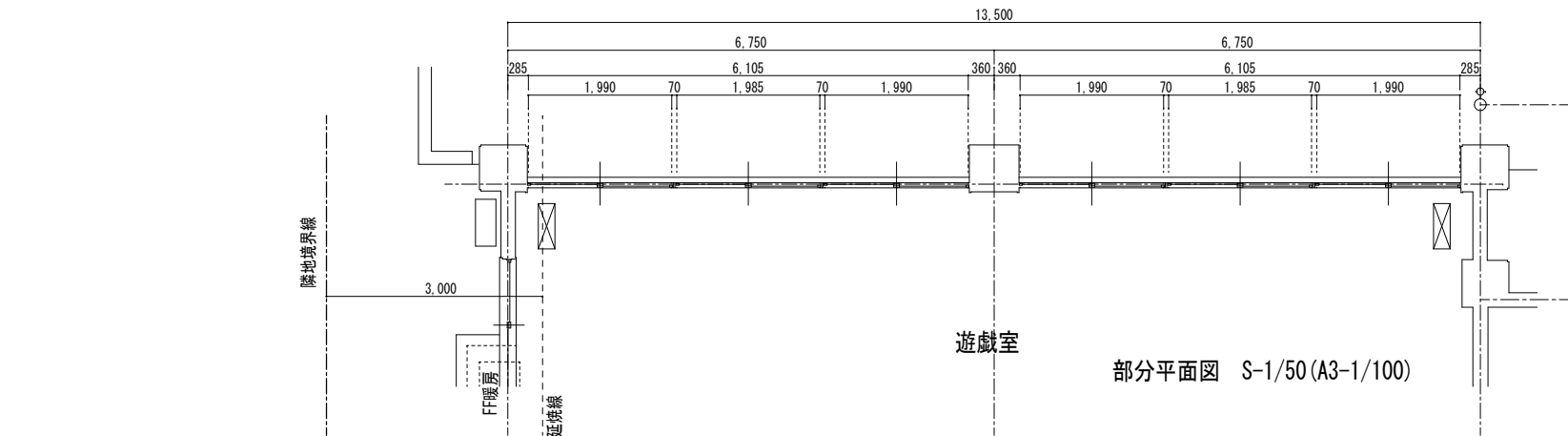
年月日	2025. 03
縮 尺	A-1 - 1/100 A-3 - 1/200

工事名称	令和 7 年度 豊科認定こども園 大規模改修工事
図面名称	改修 2 階平面図

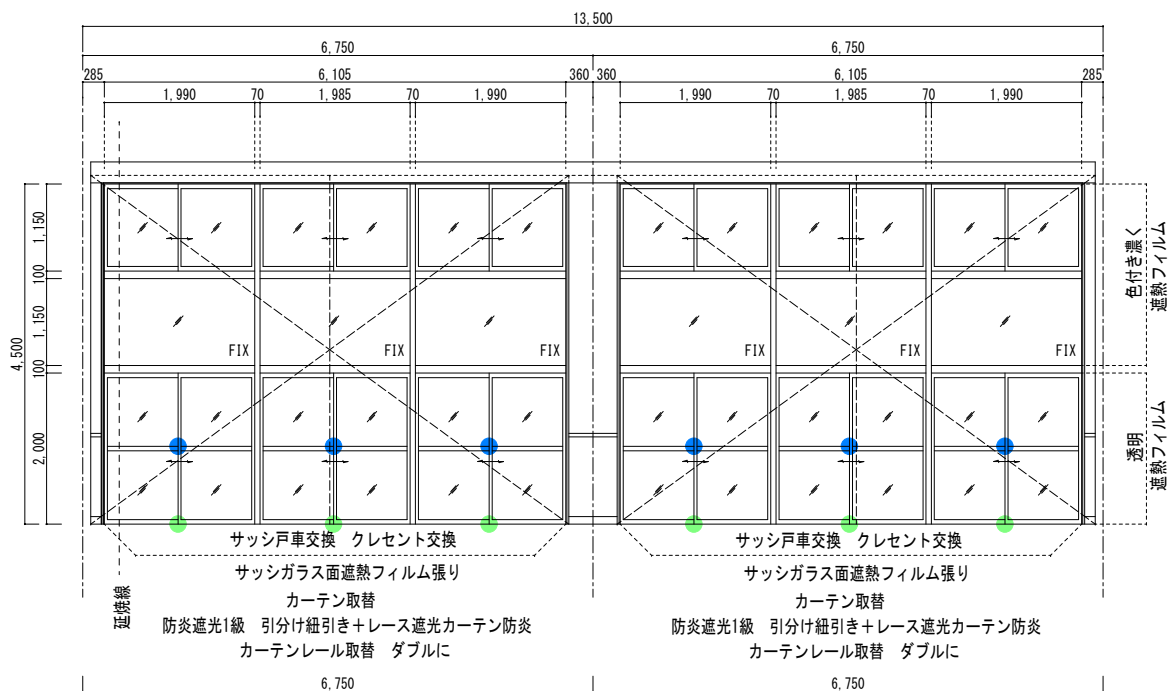
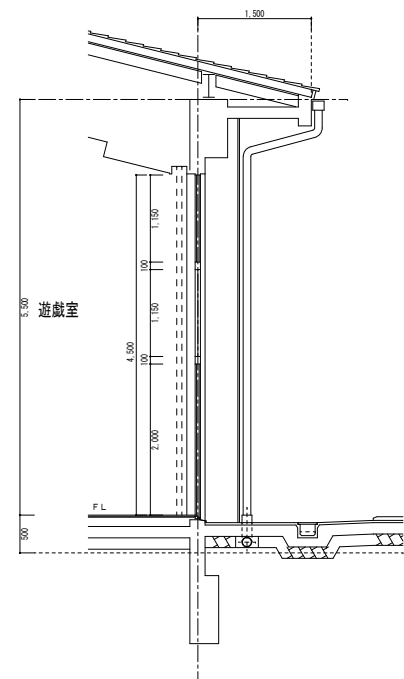
図面番号 : DW NO.	
---------------	--

改修屋根伏図

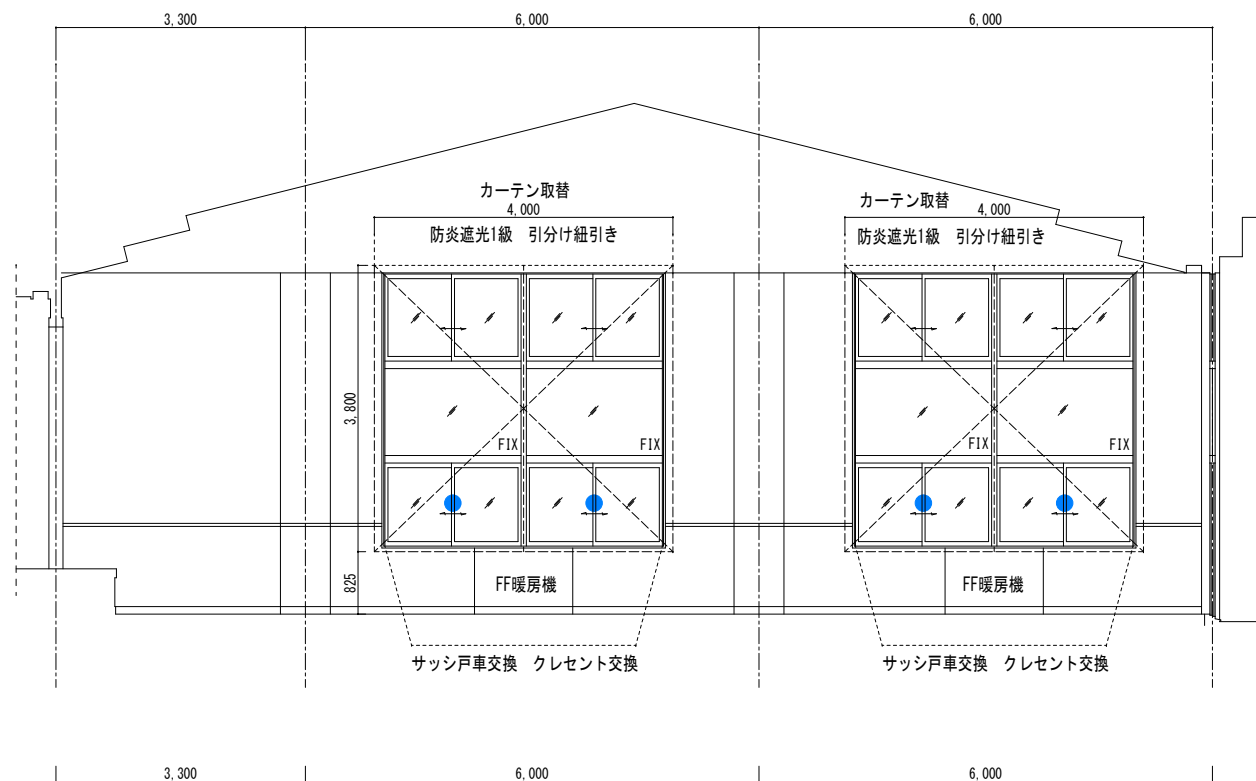
[illegible]



部分平面図 S-1/50 (A3-1/100)



西面展開図 S-1/50 (A3-1/100)



南面展開図 S-1/50 (A3-1/100)

遊戯室 改修指示内容

1. カーテン類の取替え 増設

南面	窓	取替	防炎・遮光1級		紐引き	引分け		W4.0m*H3.8m	2か所	
西面	窓	取替	防炎・遮光1級	増設	遮熱機能レース	紐引き	片引き	カーテンレールダブルに取替	W6.2m*H4.5m	2か所
北面	廊下出入口	取替	防炎・遮光1級		紐引き	片引き		W2.5m*H2.2m	1か所	

2. 西面 窓ガラスに遮熱フィルム張り下部掃出し戸部分 窓ガラスに遮熱フィルム張り濃い色 上部FIX及び引違い窓 透過率50%以下協議

3. サッシクレセント取替え 10か所 ● 部分

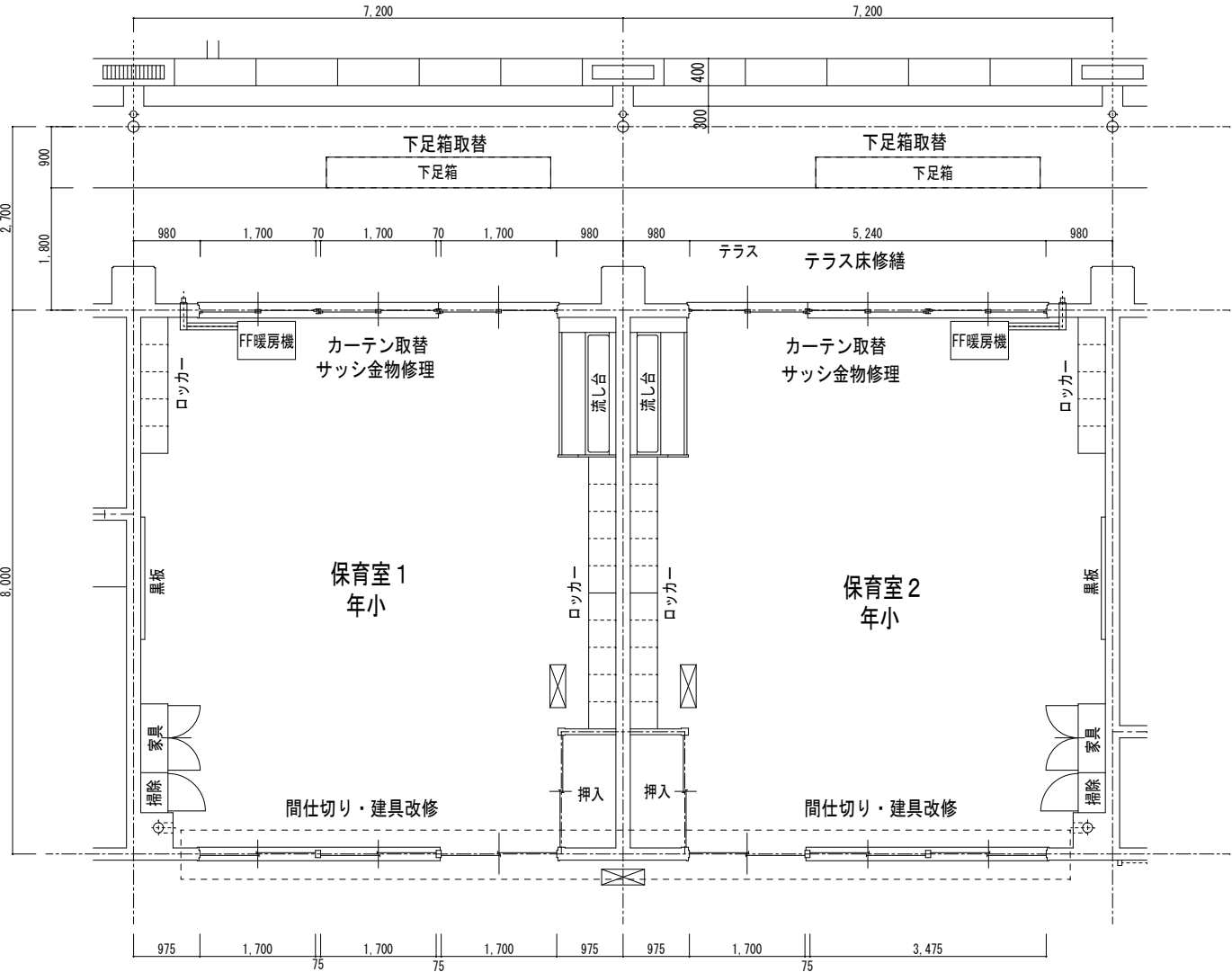
戸車交換 建具 6か所×4個 24コ ● 部分

訂正	月・日

設計	検図	年月日
		2025.03
製図	担当	縮尺
		A-1 1/30
		A-3 1/60

工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事
図面名称	遊戯室 改修指示図

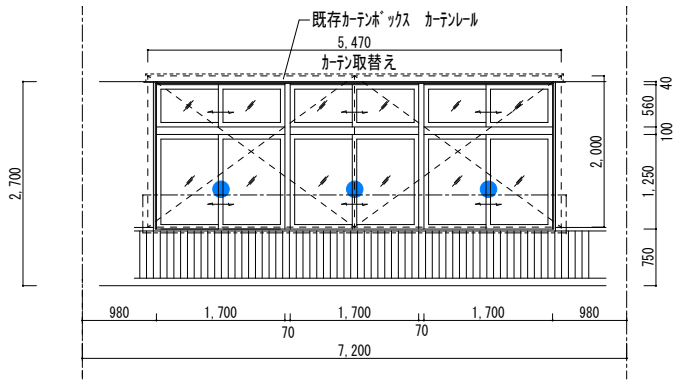
図面番号：DW NO.



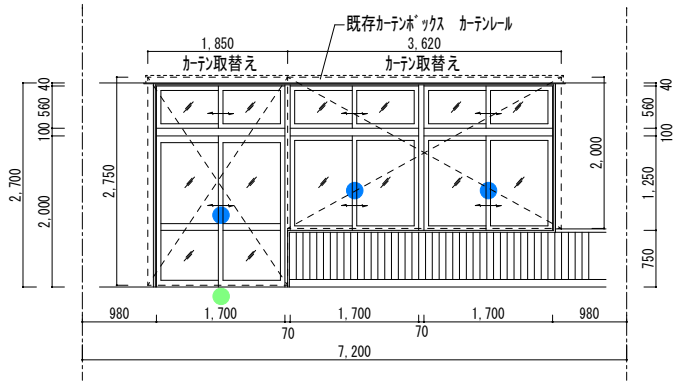
保育室 平面図 S-1/50(A3-1/100)
保育室全て共通 6室

保育室 改修指示内容

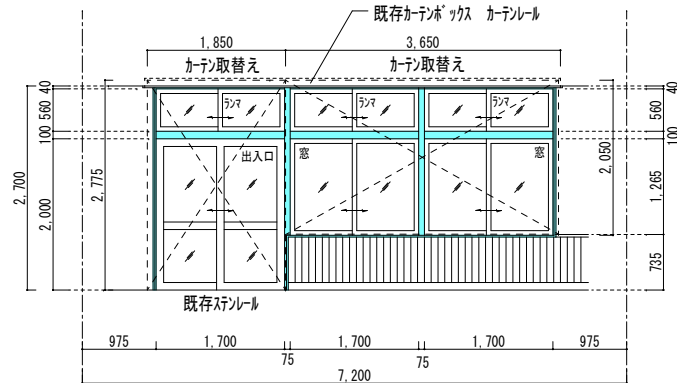
- 廊下ー保育室 木製間仕切り建具枠 修繕 取替え
- カーテン類の取替え
- 外部サッシ クレセント取替え 3か所
戸車交換 出入口建具 1か所×4個
-



2階園庭側展開図 S-1/50(A3-1/100)
保育室全て共通 3室



1階園庭側展開図 S-1/50(A3-1/100)
保育室全て共通 3室



廊下側展開図 S-1/50(A3-1/100)
保育室全て共通 6室

2階 園庭側 改修指示

- サッシクレセント取替え 3か所 ●部分
- カーテン取替え 防炎遮光1級 W5.47m×H2.0m程度 引分け
- 落下防止アルミ既製柵取付 R C壁外側に取付
2階保育室 園庭側 H0.5m×W5.6m 2教室

1階 園庭側 改修指示

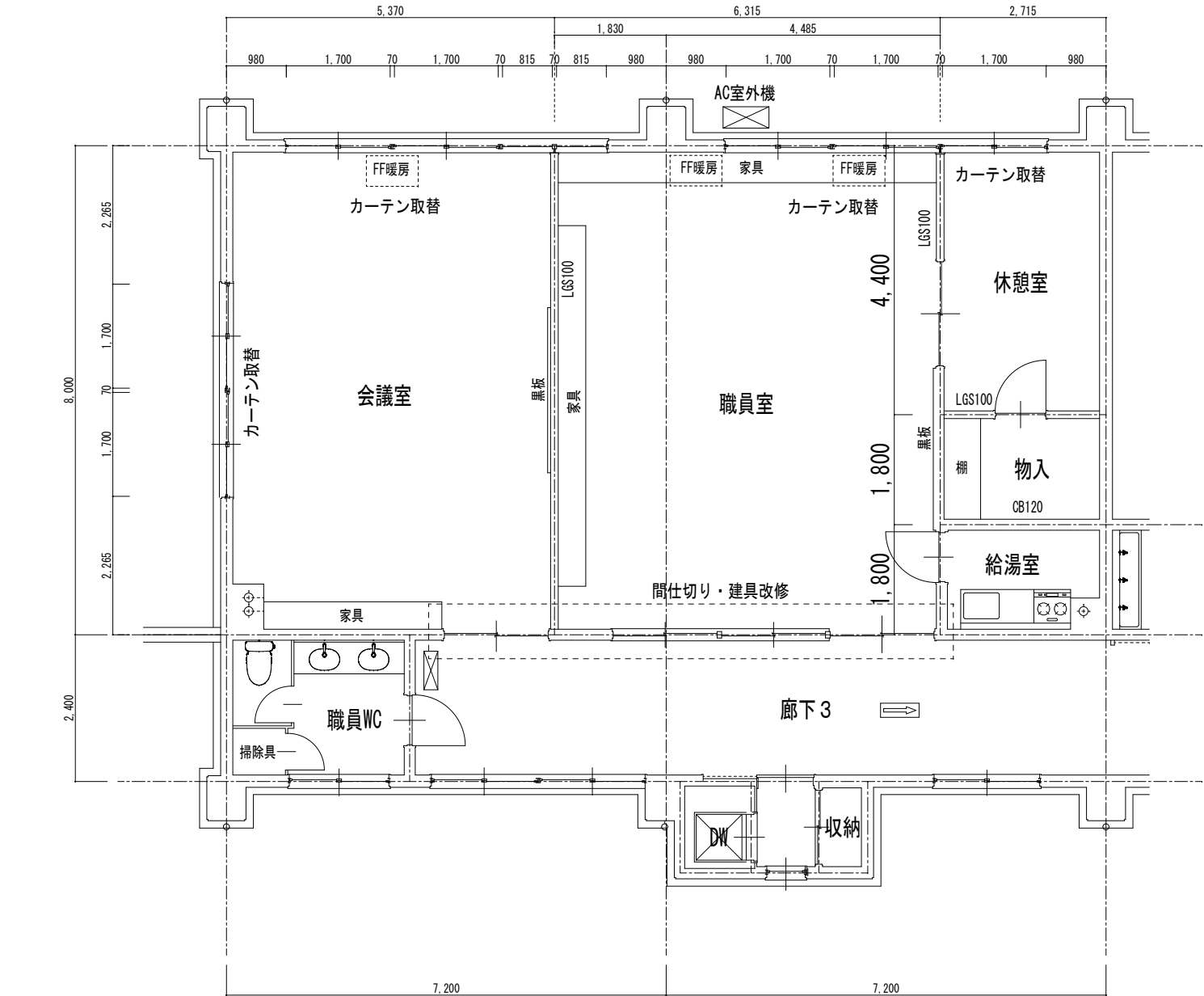
- サッシクレセント取替え 3か所 ●部分
出入口及び窓
- 戸車交換 出入口 1か所×4個 4コ ●部分
- カーテン取替え 防炎遮光1級 W1.85m×H2.8m程度 片引き
W3.65m×H2.0m程度 引分け

廊下側 改修指示 1・2階共通

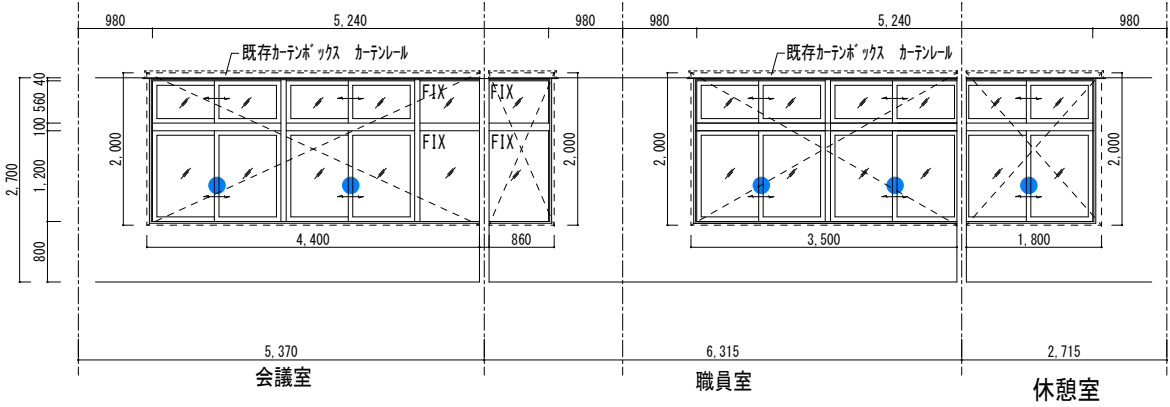
- 木枠関係(水色部分)ー 隙間欠損部分は埋め木 ゆがみ修正
ささくれ部分研磨
パテ処理 SOP塗装塗り替え
- 出入口・窓建具取替え
出入口建具仕様 ス7ルース枠引違い戸 中棧付
見込 40mm
木材保護塗料塗り
大型戸車 彫込スリ引手 施錠金物
指詰め防止戸当たりゴム
スカーテンパナーガラス4mm
- 窓建具仕様 ス7ルース枠引違い窓
見込 40mm
木材保護塗料塗り
戸車
指詰め防止戸当たりゴム
スカーテンパナーガラス4mm
- スリ木枠 OP塗装 塗り替え
- カーテン取替え 防炎遮光1級 W1.85m×H2.8m程度 片引き
W3.65m×H2.05m程度 引分け

訂正	月・日

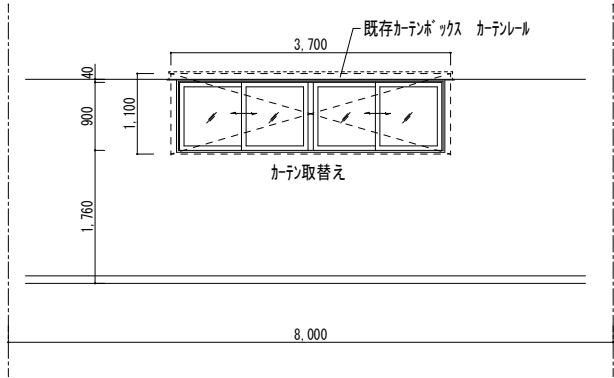
設計	校図	年月日	工事名称	図面番号：DW NO.
		2025.03	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	
製図	担当	縮尺 A-1 ー 1/50 A-3 ー 1/100	図面名称 保育室関係 改修指示図	



2階 会議室 職員室 平面図 S-1/50 (A3-1/100)



2階園庭側展開図 S-1/50 (A3-1/100)



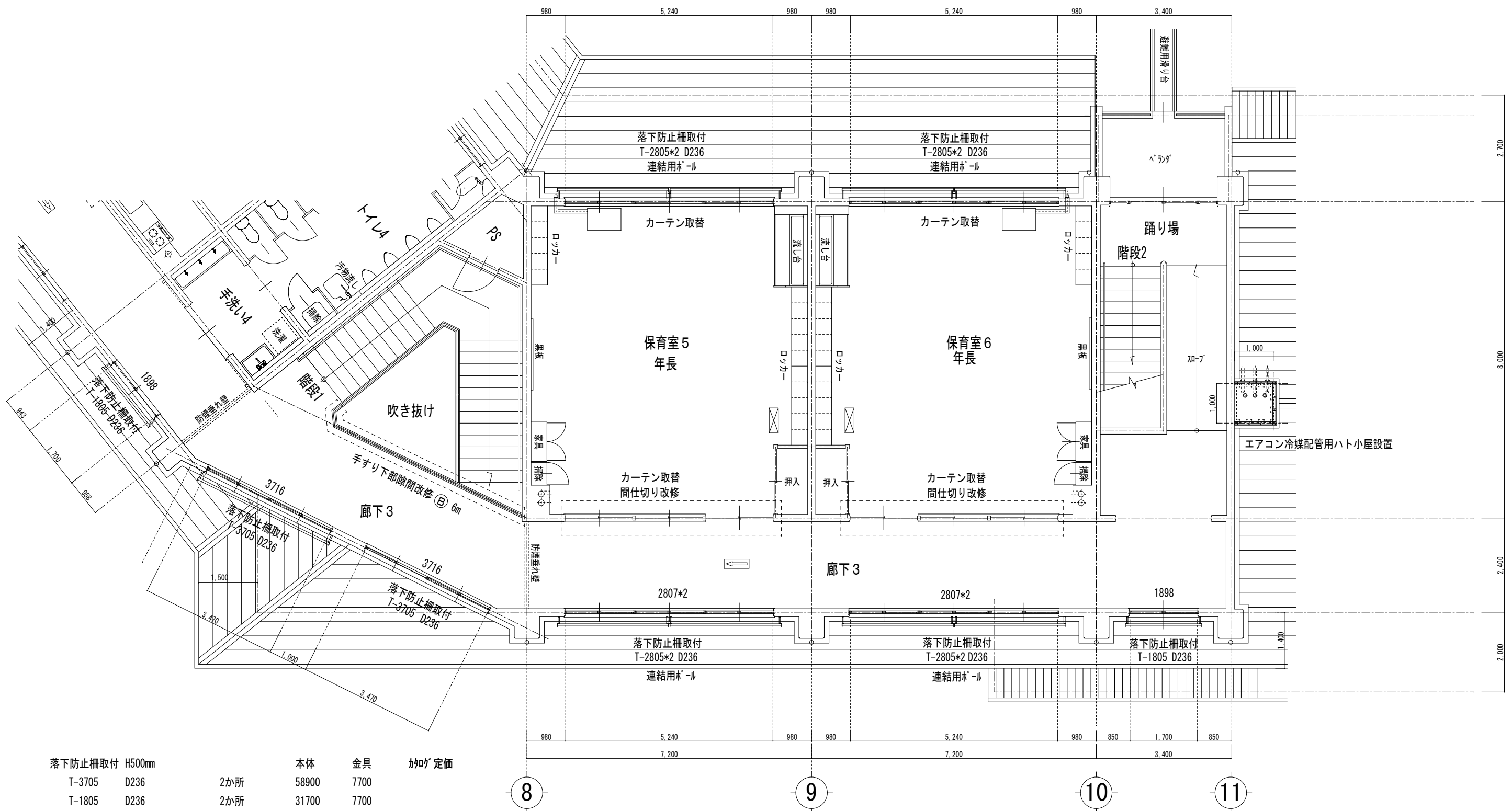
会議室東側展開図 S-1/50 (A3-1/100)

2階 園庭側 改修指示

- サッシクレセント取替え 5か所 ●部分
- カーテン取替え 防炎遮光1級 W4.4m*H2.0m程度 引分け 会議室
W0.9m*H2.0m程度 片引き 職員室
W3.5m*H2.0m程度 引分け 職員室
W1.8m*H2.0m程度 引分け 休憩室

廊下側 改修指示 職員室 会議室

- 木枠関係(水色部分) 隙間欠損部分は埋め木 ゆがみ修正
ささくれ部分研磨
パテ処理 SOP塗装塗り替え
- 出入口・窓建具取替え
出入口建具仕様 スプルース枠引違い戸 中棧付
見込 40mm
木材保護塗料塗り
大型戸車 影込スリ引手 施錠金物
指詰め防止戸当たりゴム
スクリーンパネガラス4mm
- 窓建具仕様 スプルース枠引違い窓
見込 40mm
木材保護塗料塗り
戸車
指詰め防止戸当たりゴム
スクリーンパネガラス4mm
- 引手建具木枠 OP塗装 塗り替え
- カーテン取替え 防炎遮光1級 W1.75m*H2.78m程度 片引き 2か所
W3.6m*H2.05m程度 引分け 1か所



落下防止柵取付 H500mm			本体	金具	加付 定価
T-3705	D236	2か所	58900	7700	
T-1805	D236	2か所	31700	7700	
T-2805*2	D236	連結用ボール 4か所	44900*2	7700*2	
			10300+2600		

R C躯体にM6ホールインアンカーにて固定
若しくは接着系アンカー 協議

2階保育室部分平面図 S-1/50 (A3-1/100)



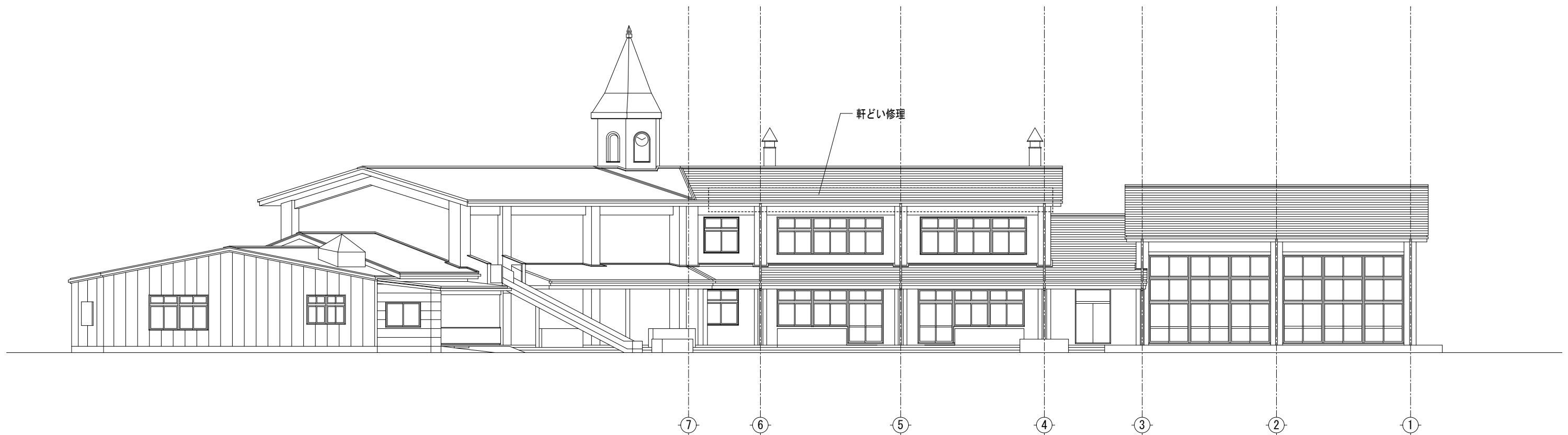
北側立面図 S-1/100



北西側立面図 S-1/100

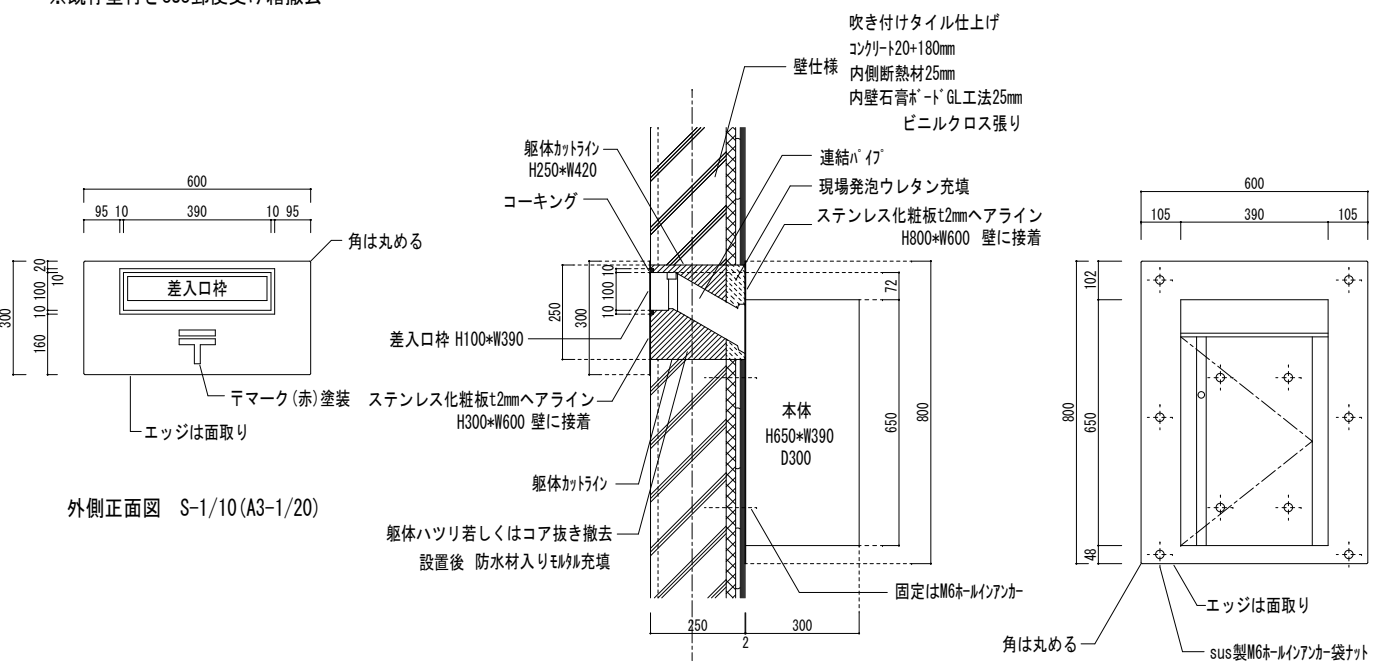
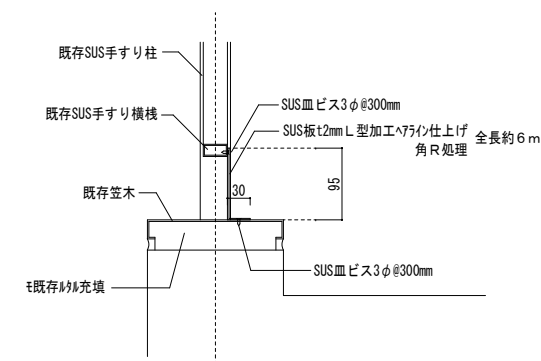
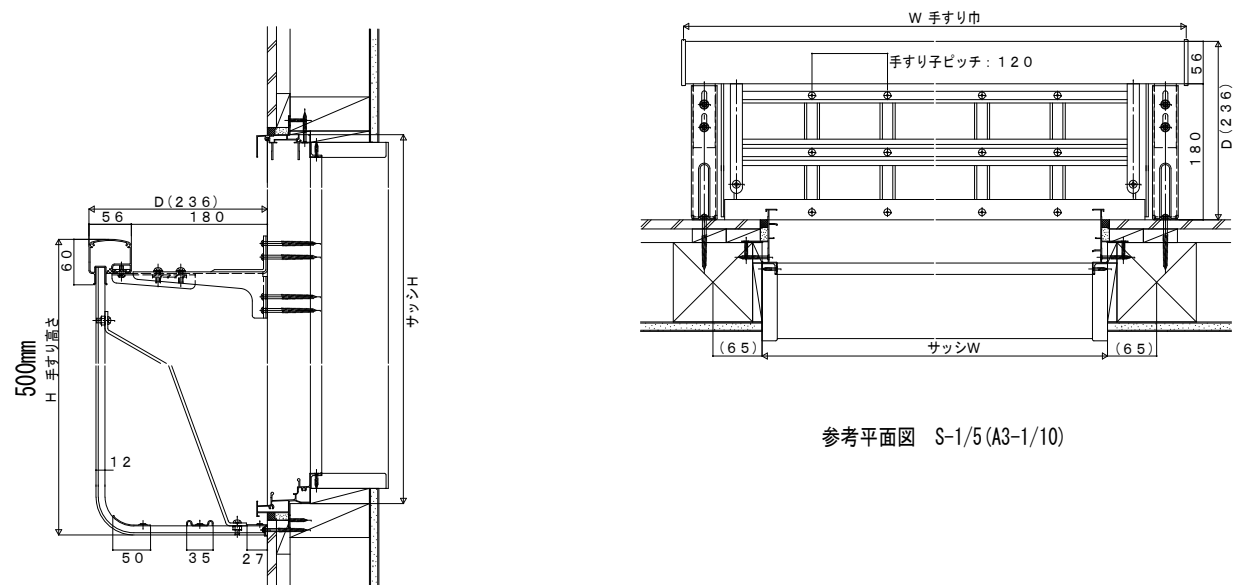


南側立面図 S-1/100



南東側立面図 S-1/100

訂正 月・日												設計	校図	年月日	2025. 03	工事名称	令和 7 年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号 : DW NO.
												製図	担当	縮 尺	A-1 — 1/100 A-3 — 1/200	図面名称	立 面 図 2	A — 10

① 新規 郵便受け詳細図 ※既存壁付きSUS郵便受け箱撤去  吹き付けタイル仕上げ コンクリート20×180mm 内側断熱材25mm 内壁石膏ボードGL工法25mm ビニルクロス張り 壁仕様 躯体カッター H250×W420 コーキング 差入口枠 H100×W390 躯体カッター H250×W420 躯体ハツリ若しくはコア抜き撤去 設置後 防水材入りモルタル充填 固定はM6ボルトアンカー 角は丸める 角は丸める エッジは面取り SUS製M6ボルトアンカー袋ナット 本体 H650×W390 D300 ステンレス化粧板t2mmヘアライン H800×W600 壁に接着 現場発泡ウレタン充填 連結パイプ 差入口枠 600 95 10 390 10 95 300 160 10 100 20 10 差入口枠 エッジは面取り 下マーク (赤) 塗装 ステンレス化粧板t2mmヘアライン H300×W600 壁に接着 外側正面図 S-1/10 (A3-1/20) 断面図 S-1/10 (A3-1/20) 室内側正面図 S-1/10 (A3-1/20) マイルックスMX-102型 田島メタルワーク 本体 132000 ポスト口 34000	② 手すり下部隙間改修  既存SUS手すり柱 既存SUS手すり横桟 既存笠木 モルタル充填 SUS皿ビス3φ@300mm SUS板t2mm L型加工ヘアライン仕上げ 全長約6m 角R処理 30 95 手すり下部隙間改修図 S-1/5 (A-3-1/10)
③ 落下防止柵 製品詳細図  W 手すり巾 手すり子ピッチ: 120 D (236) 56 180 60 500mm H 手すり高さ 12 50 35 27 サッシH サッシW (65) (65) 参考平面図 S-1/5 (A3-1/10) 製品取付参考図 (木造の場合) S-1/5 (A3-1/10) 固定ビスは接着系もしくはカールプラグ協議 参考断面図 S-1/5 (A3-1/10)	保育室関連 エアコン冷媒配管 建築取り合い図

新規 エアコン冷媒管用ハト小屋詳細図

既存屋根ーカラー鉄板t0.4mm横葺き
アスファルト・フィング 22kg品下張り
木毛板t25mm野地板
母屋-C-100*50*2.3#600
2*C-100*50*2.3#1800

金属系不燃サイディング張り
透湿防水シート張り
構造用合板t12mm張り
内側ー現場発泡ウレタン断熱材t50mm

止水処理
75口柱防露処理材
コンクリート壁にアンカー止め

階段室

鉄骨梁H200*100
プレス

取り合いコーキング

既存コンクリート壁

冷媒配管

75口柱防露処理材

間柱45*75防露処理材

既存屋根棟位置

1,000

土台-45*75加工防露処理材
既存屋根の上に7#系接着テープ張り
既存野地板貫通で取付 裏あて材で挟み込み

点検口600口
外側用

1,000

平面図 S-1/20 (A3-1/40)

断面図 S-1/20 (A3-1/40)

屋根ーガルバリウム鋼板0.4mmタテハ葺き
片面接着ゴムシート下張り
木毛板t25mm野地板

躯体カット コーキング
鋼板立ち上げ

垂木45*54防露処理材

納めー木下地防露処理材
鋼板巻き

梁材75口防露処理材

4方コーキング

点検口外部用600口
内側断熱材貼り付け

冷媒配管

水切りー木下地防露処理材
鋼板巻き

既存屋根の上
両面接着7#材+鋼板張り

10 2.5

鉄骨梁H200*100

母屋-C-100*50*2.3#600

既存屋根ーカラー鉄板t0.4mm横葺き
アスファルト・フィング 22kg品下張り
木毛板t25mm野地板

1,000

断面図 S-1/20 (A3-1/40)

断面図 S-1/20 (A3-1/40)

1,000

躯体カット コーキング

鋼板立ち上げ

垂木45*54防露処理材

納めー木下地防露処理材
鋼板巻き

梁材75口防露処理材

水切りー木下地防露処理材
鋼板巻き

既存屋根の上
両面接着7#材+鋼板張り

母屋-C-100*50*2.3#600

土台-45*75加工防露処理材
既存屋根の上に7#系接着テープ張り
既存野地板貫通で取付 裏あて材で挟み込み

既存鉄骨 C-205*50

階段室

既存RC躯体へアンカー止め

梁材75口防露処理材

1,000

断面図 S-1/20 (A3-1/40)

新規ゴミストッカー 詳細図

Top view diagram of the PS-type basic set. It shows a rectangular unit with horizontal slats. The overall width is labeled as 本体幅:1800. The effective opening width is labeled as 有効開口幅:1660. There are small dimension lines indicating 70 units on either side of the opening.

Front view diagram of the PS-type basic set. It shows the front panel with a large opening at the bottom. The total height is 1204, and the height from the top of the front panel to the top of the opening is 1150. The opening width is 1660. The distance between the legs is 1730. The depth of the unit is 70.

Side view diagram of the PS-type basic set. It shows the side profile of the unit. The total height is 1204, and the height from the top of the front panel to the top of the opening is 1150. The opening width is 1660. The distance between the legs is 1730. The depth of the unit is 70. The side view also shows the internal structure and the height of the opening mechanism.

四国化成 ゴミストッカー PS型基本セット

W1800*D800*H1200

GPSN-1812-O8SC 定価305000

主要部材

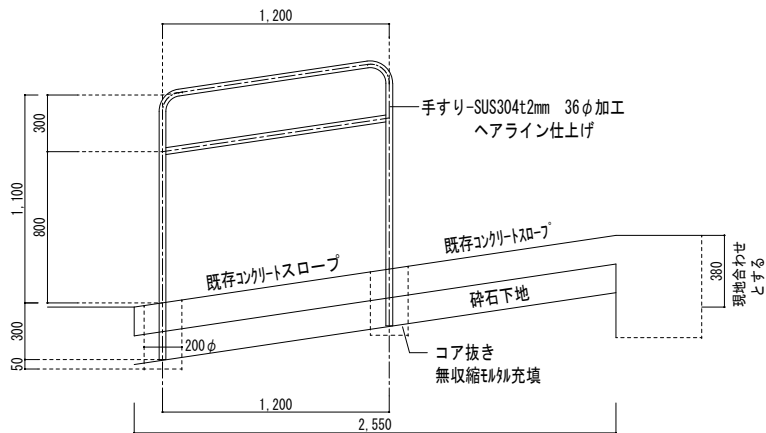
仕様(材質・塗装)

ボルト・ナット・座金	ステンレス(SUS)
組立金具類	ステンレス鋼板(SUS)
⑨ 前パネル板	アルミ・樹脂複合板(3t)
⑧ パネルG、H	アルミ押出形材(A6063S-T5) 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦ パネルB、C、D、E、F	アルミ押出形材(A6063S-T5) 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ パネルA	アルミ押出形材(A6063S-T5) 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 旋受電	アルミ押出形材(A6063S-T5) 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ 旋受電	陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 後面パネル上横桟	陽極酸化・塗装複合皮膜
② 支柱後	陽極酸化・塗装複合皮膜
① 支柱前	陽極酸化・塗装複合皮膜
○	

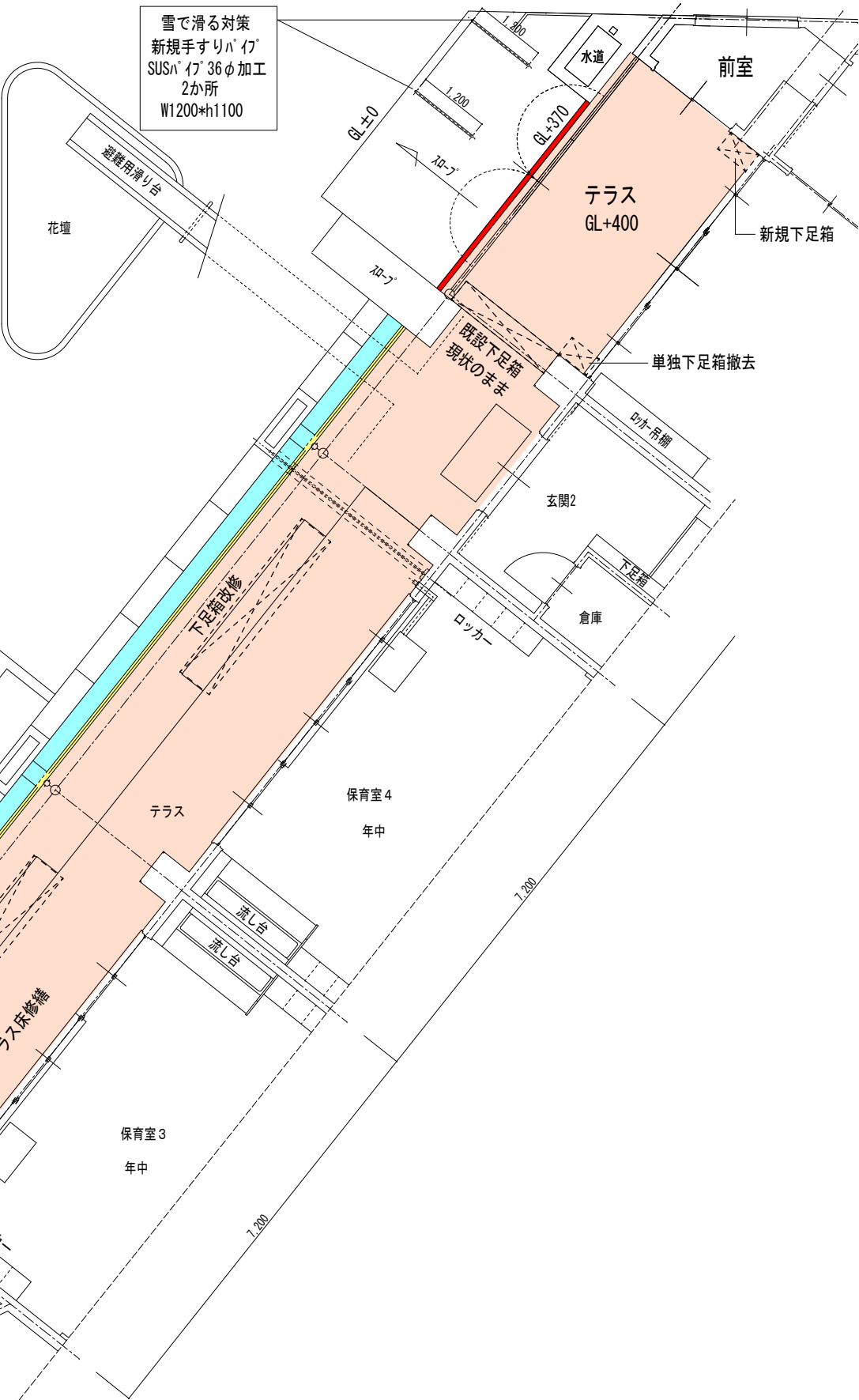
[illegible]

家具表						
記号・位置	新規 未満児用外下足箱	未満児テラス	1か所	改造 玄関下足箱	玄関	1か所
形状・寸法						
形式	下足箱					
材質	リサイクル樹脂加工ボード					
仕上	天板 カ-GL鋼板t0.35mm張り					
ガラス						
金物	固定金物					
備考						
記号・位置	塗装改修 園児用外下足箱	テラス	4か所			
形状・寸法						
形式	下足箱					
材質	リサイクル樹脂加工ボード					
仕上	天板 カ-GL鋼板t0.35mm張り					
ガラス						
金物	固定金物					
備考						

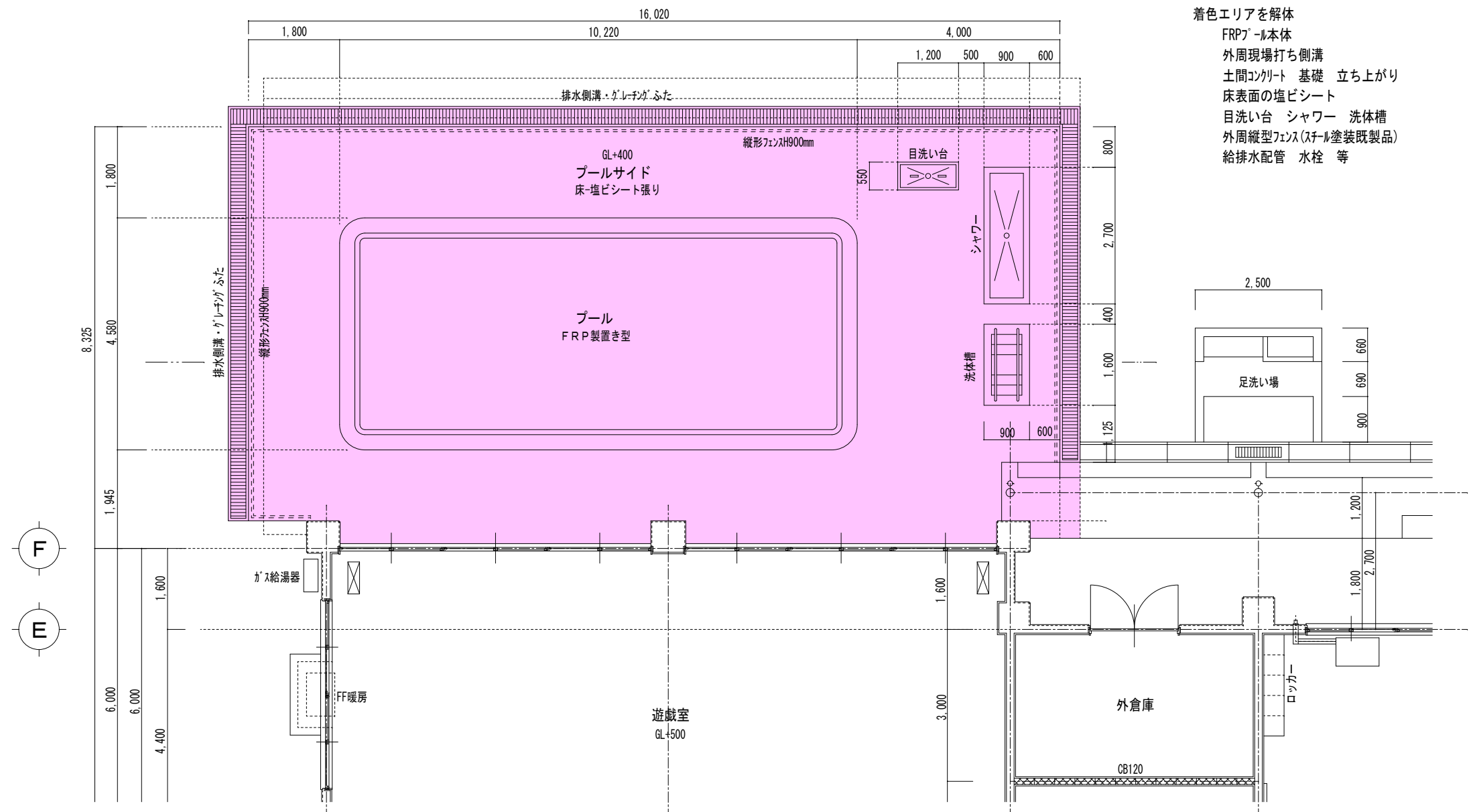
現状仕上げ			改修仕上げ		
水色部分	塗り床仕上げ	撤去	下地処理	ウレタン塗り床ノンスリップ	20m2
ベージュ部分	保育園テラス向き塩ビシート (クッション入り)	撤去	下地処理	保育園テラス向き塩ビシート (クッション入り)	124m2
黄色部分	上記専用段鼻床材	撤去	下地処理	上記専用段鼻床材	40m
赤部分	ステンレス への字床材押え	5m			
エアコンドレーン用排水管理め込み設置		4か所	14m		
部分未満児室スロープ部分		ステンレスパイプ手すり設置			



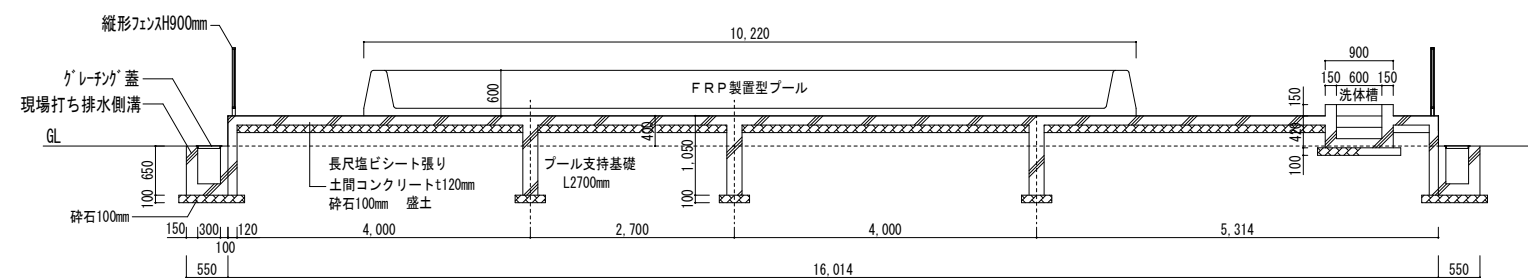
未満児テラス前手すり設置詳細図
S-1/20 (A3-1/40)



プール改修

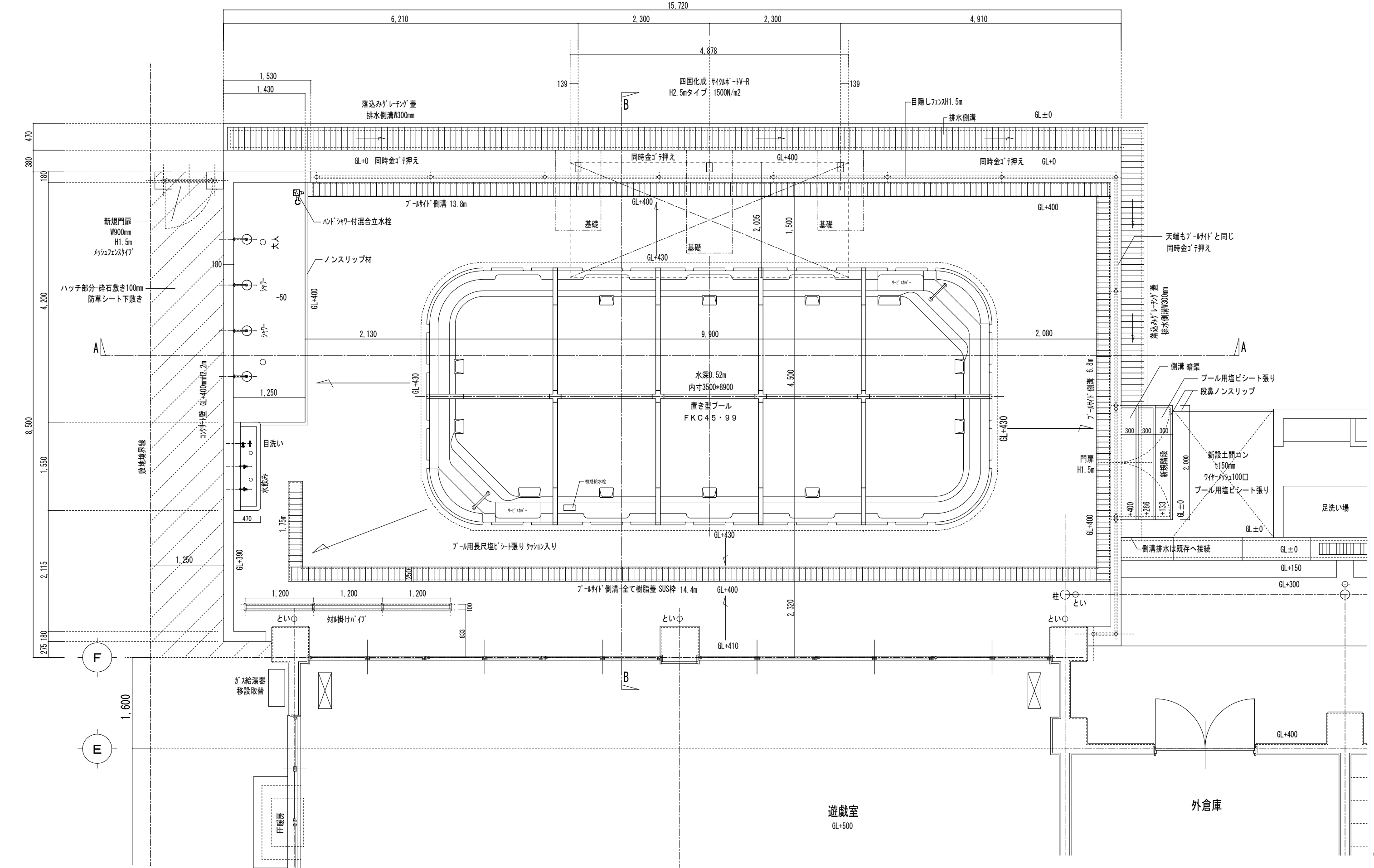


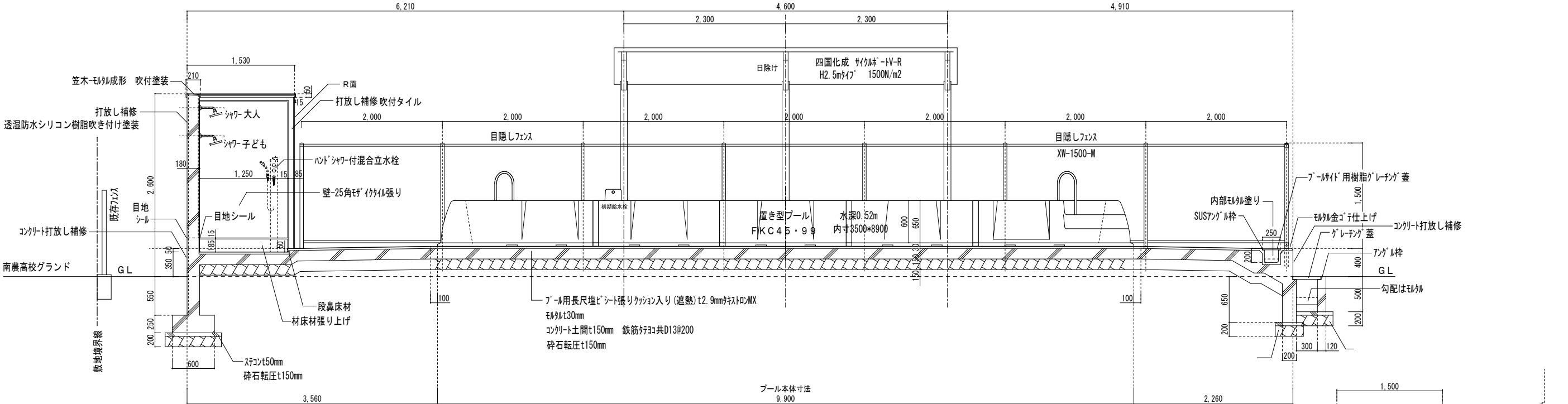
既存プール 部分平面図 S-1/50 (A3-1/100)



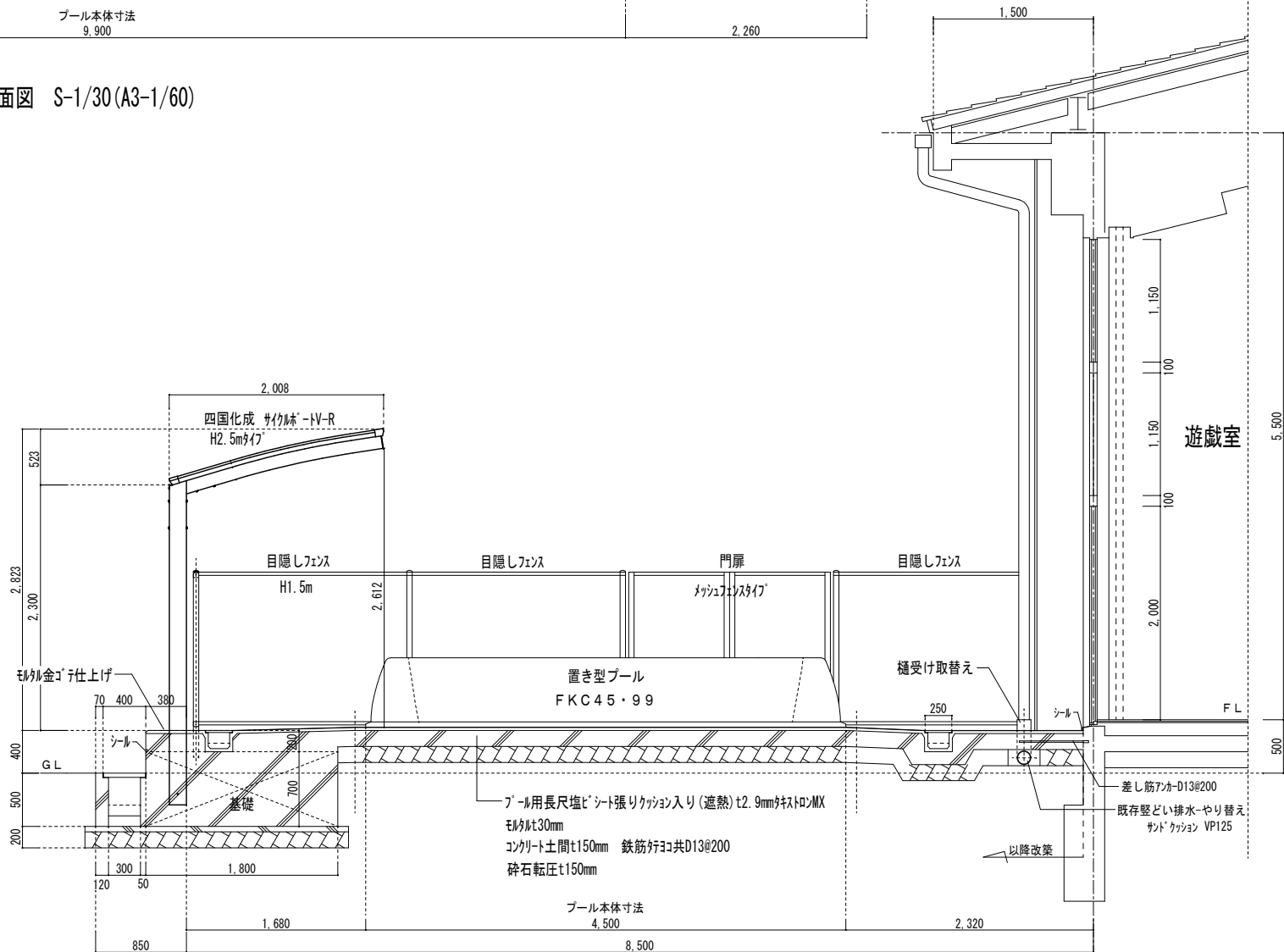
既存プール 南北方向断面図 S-1/50 (A3-1/100)

[illegible]





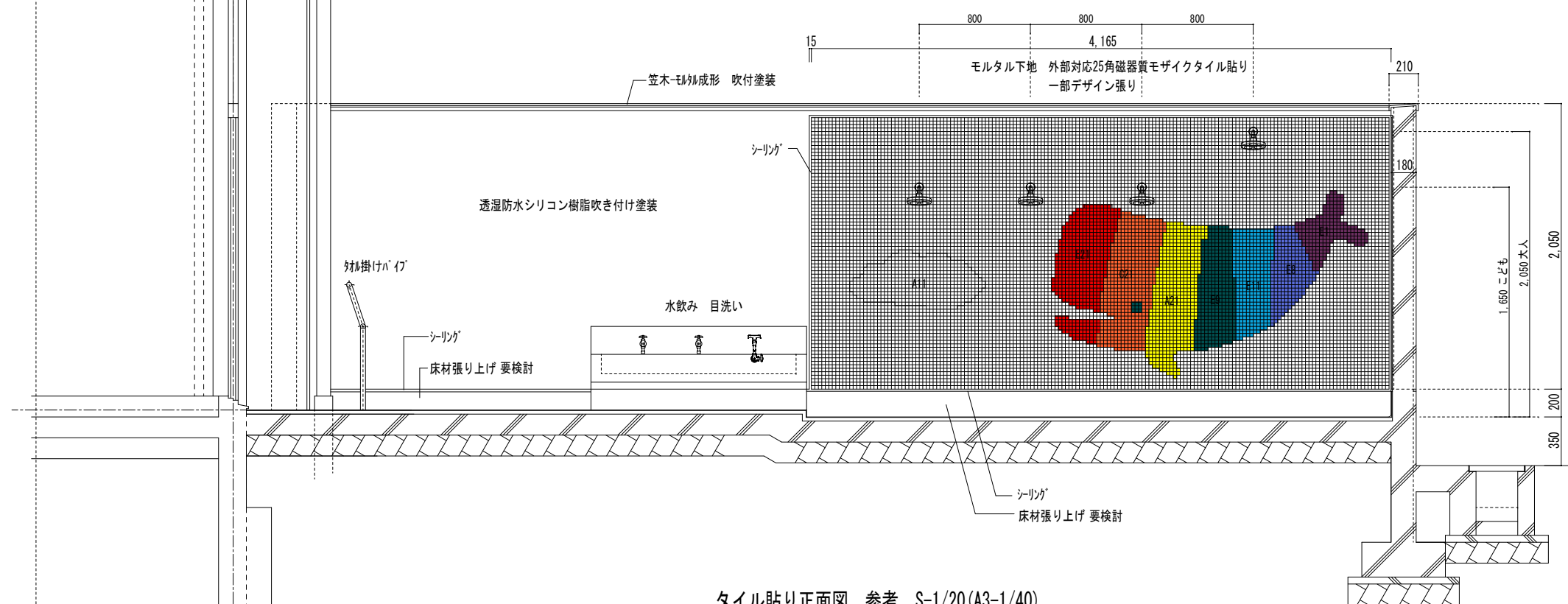
A-A断面図 S-1/30(A3-1/60)



B-B断面図 S-1/30(A3-1/60)

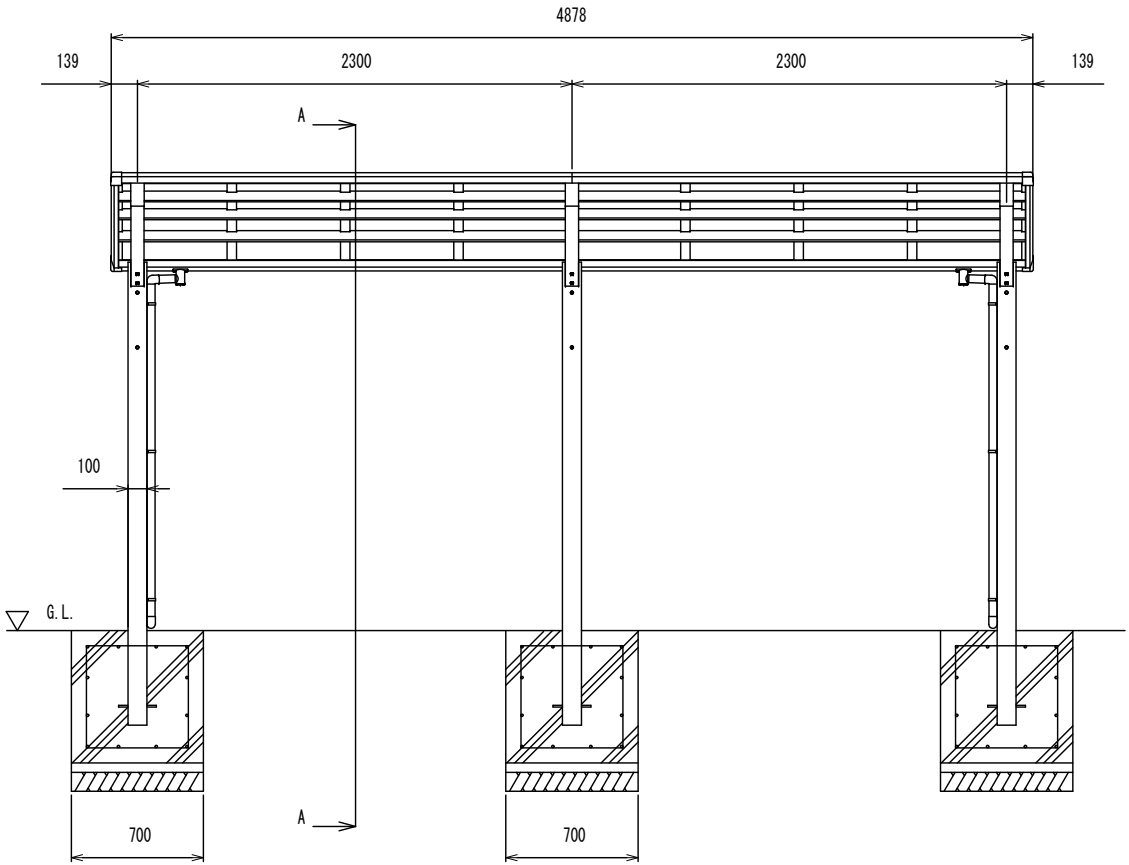
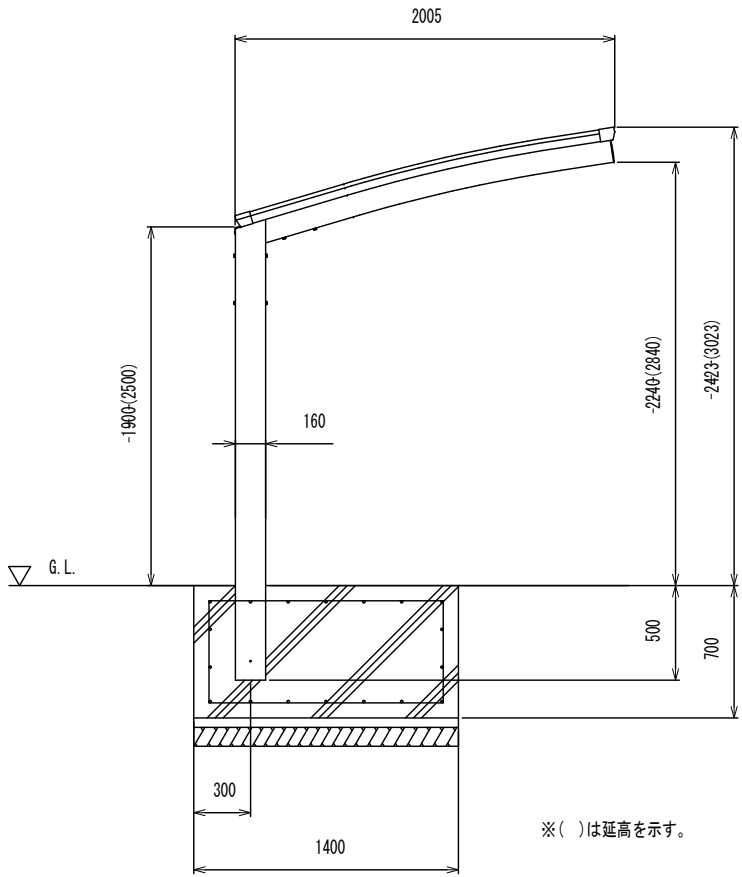
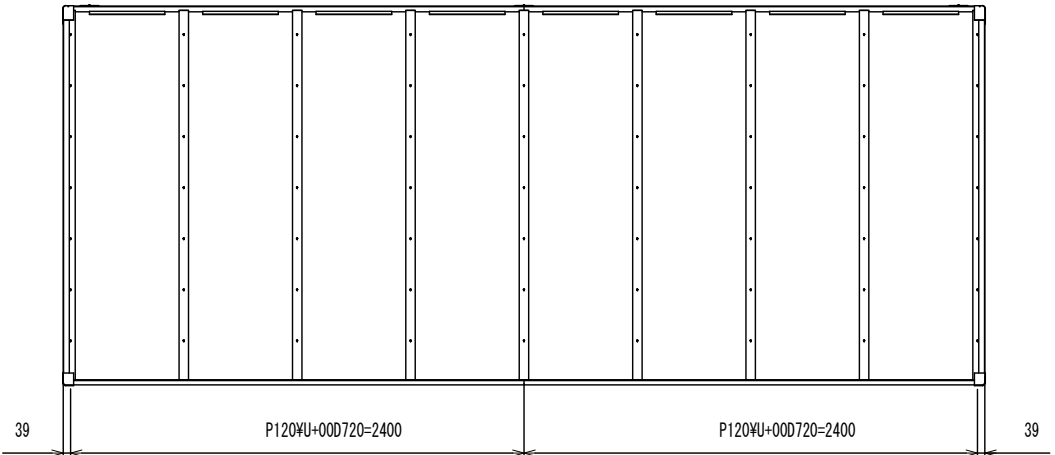
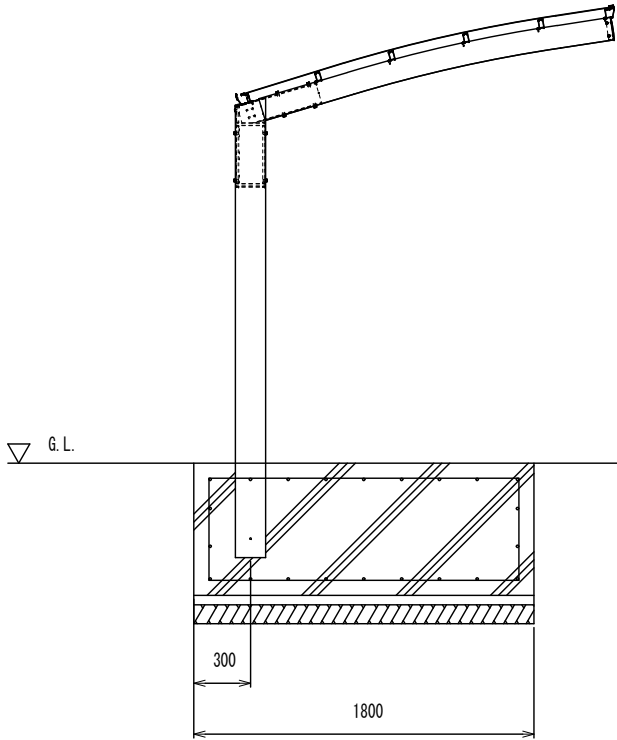


目洗い部分 断面詳細図 S-1/20 (A3-1/40)



タイル貼り正面図 参考 S-1/20 (A3-1/40)

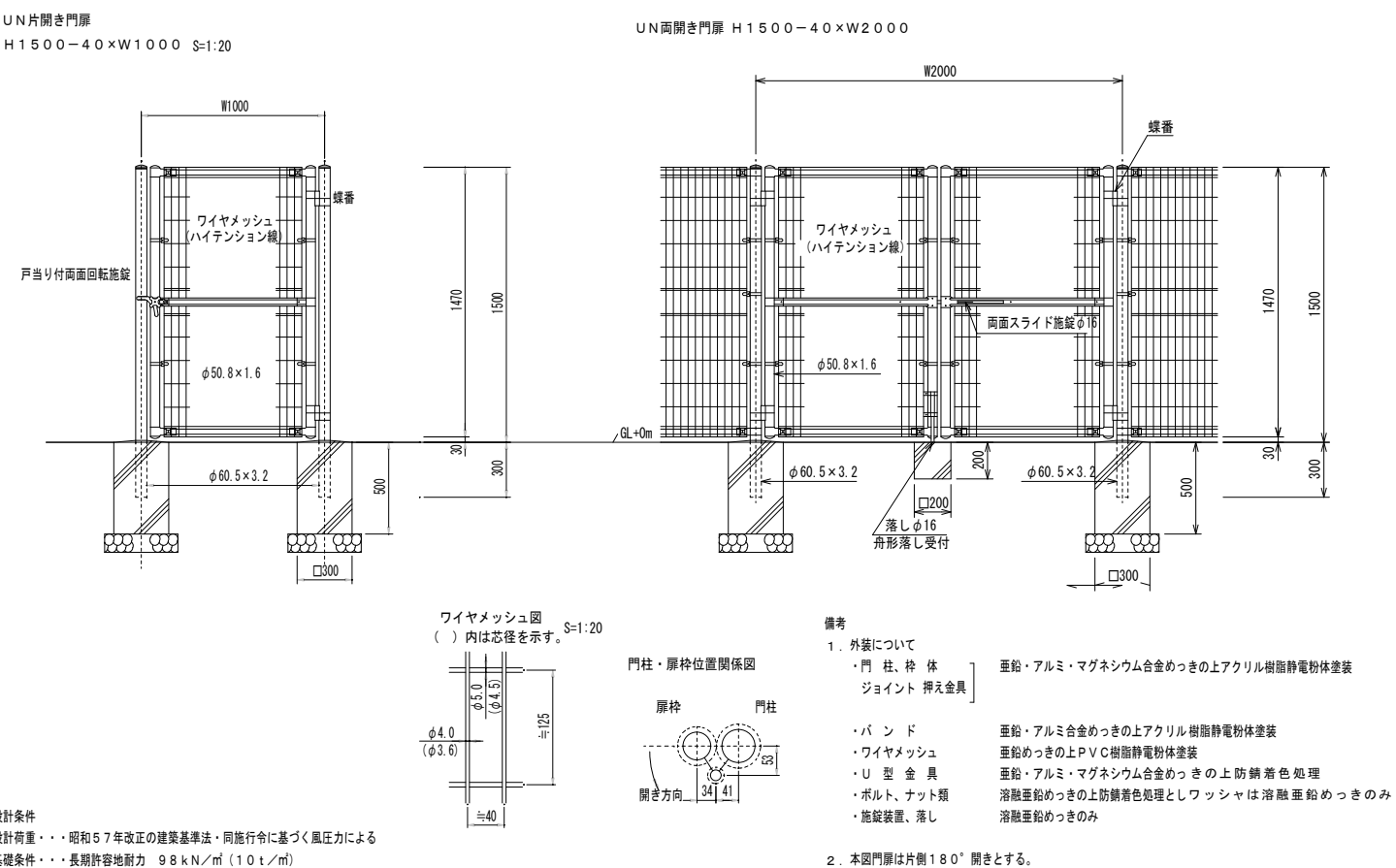
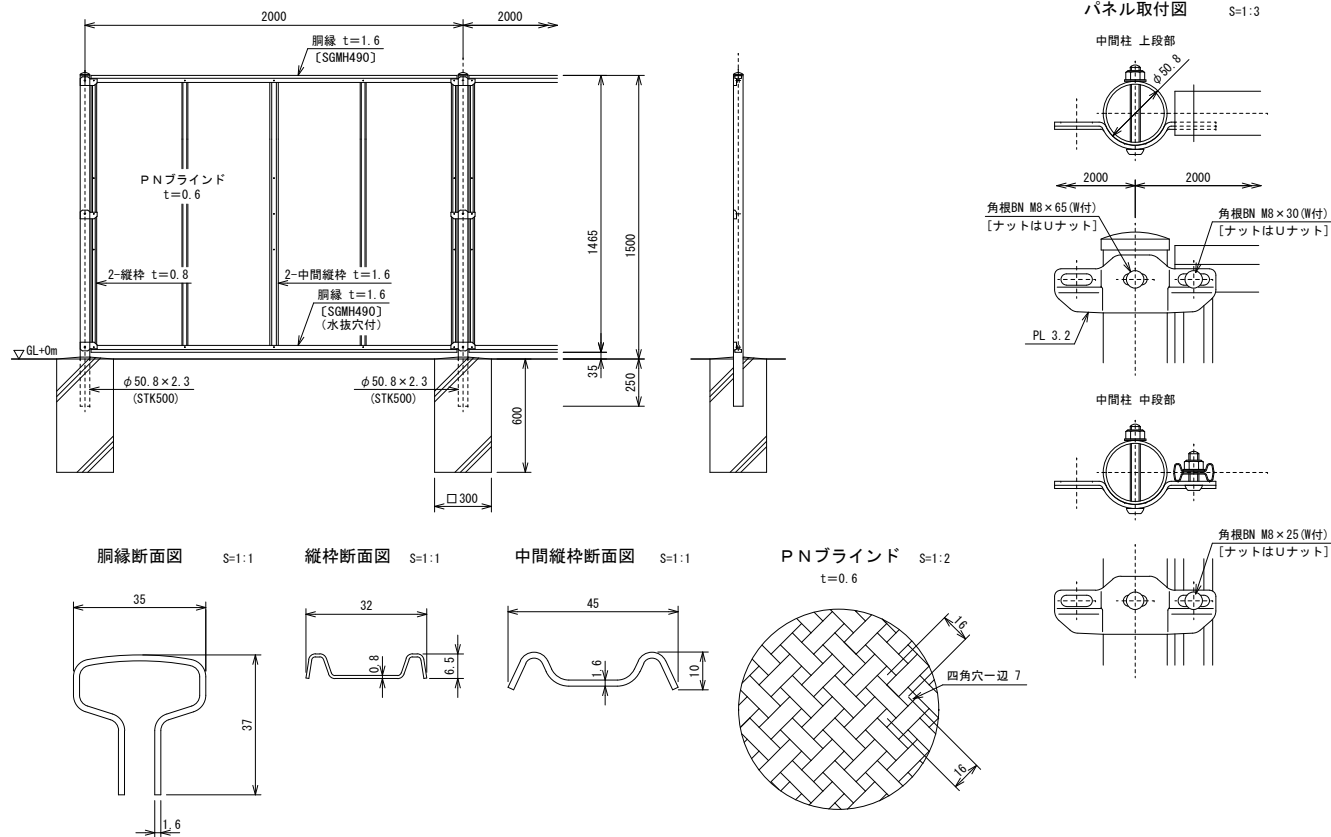
A-A断面図(連棟部)



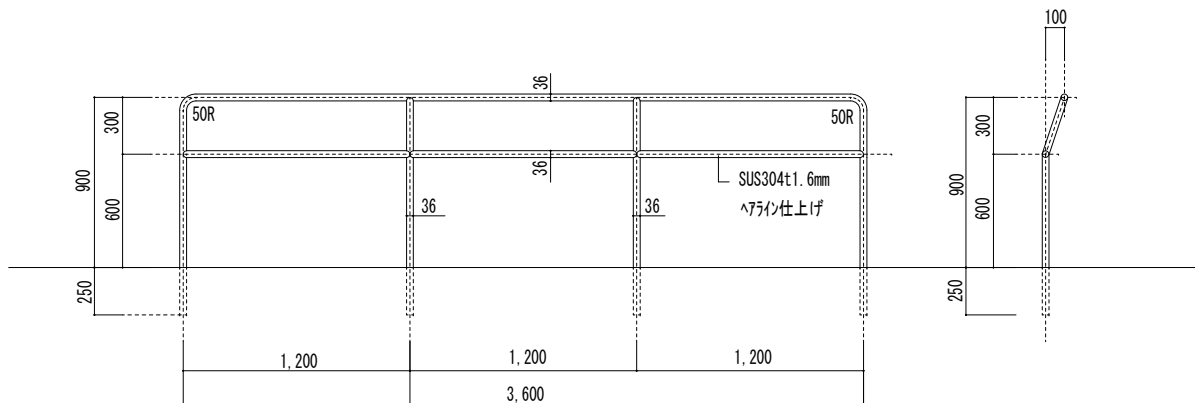
訂正	月・日

設計	校閲	年月日	2025. 03	工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号 : DW NO.
製図	担当	縮尺	A-1 1/20 A-3 1/40	図面名称	日除け 詳細図	A - 20

目かくしフェンス XW-1500-M S=1:20 (昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



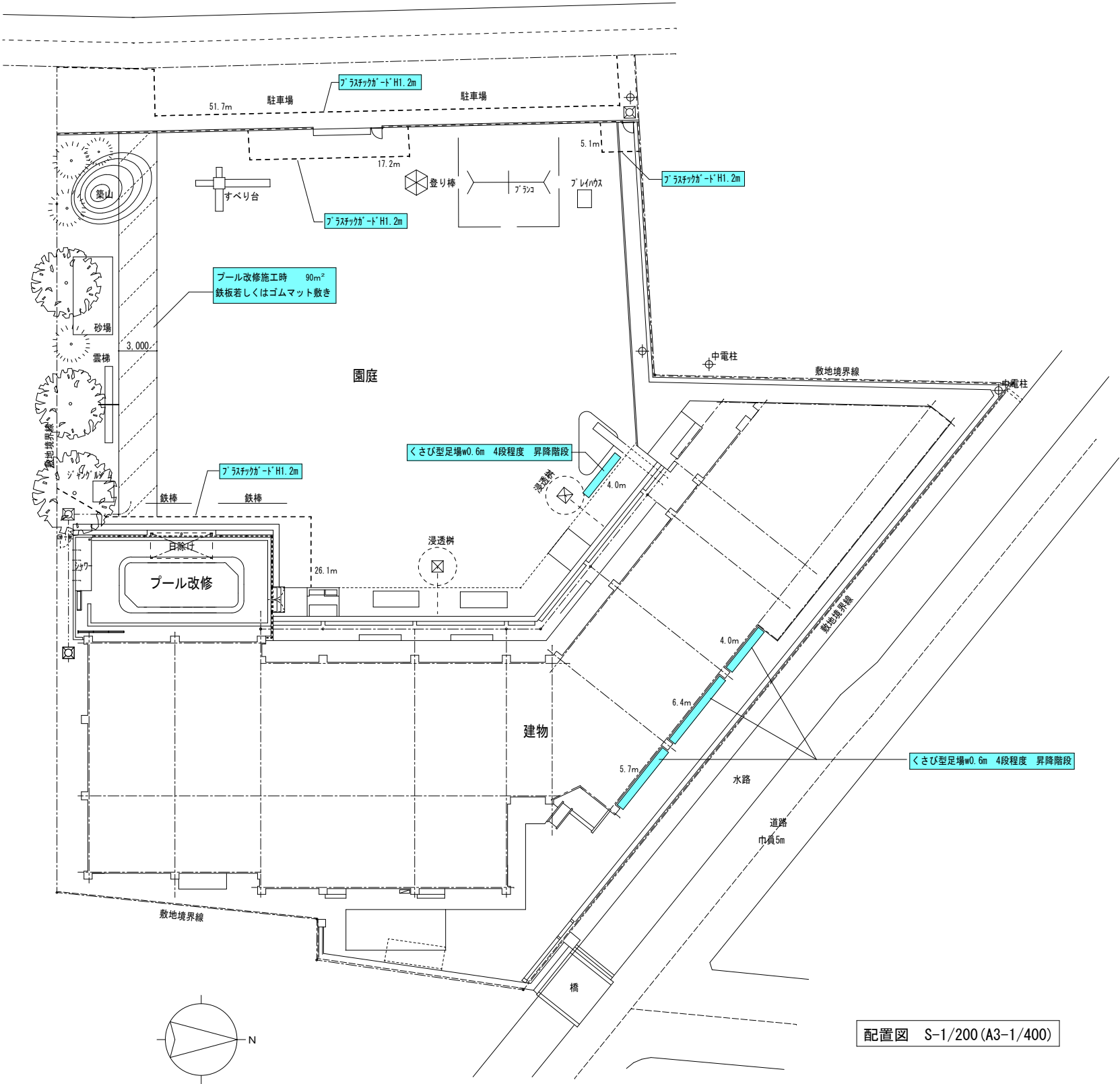
タオル掛けパイプ 詳細図 S-1/20 (A3-1/40)



訂正	月・日

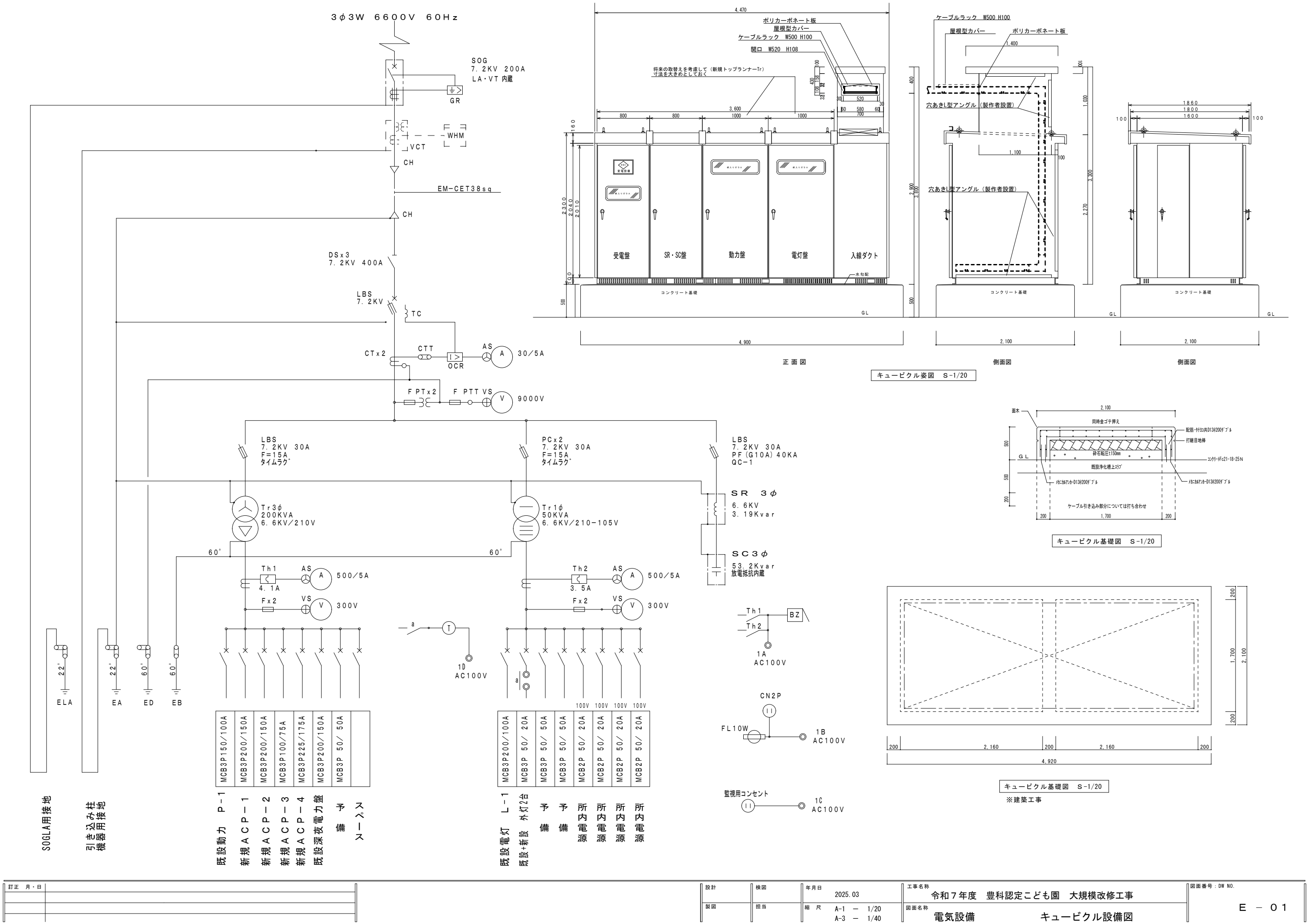
設計	検図	年月日	2025. 03	工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号 : DW NO.
製図	担当	縮尺	A-1 — 1/20 A-3 — 1/40	図面名称	プール 雑詳細図	A - 21

仮設計画について
仮囲い及び昇降の足場について図面は参考とする
仮設現場事務所 仮設トイレの場所については施工者の判断とする。

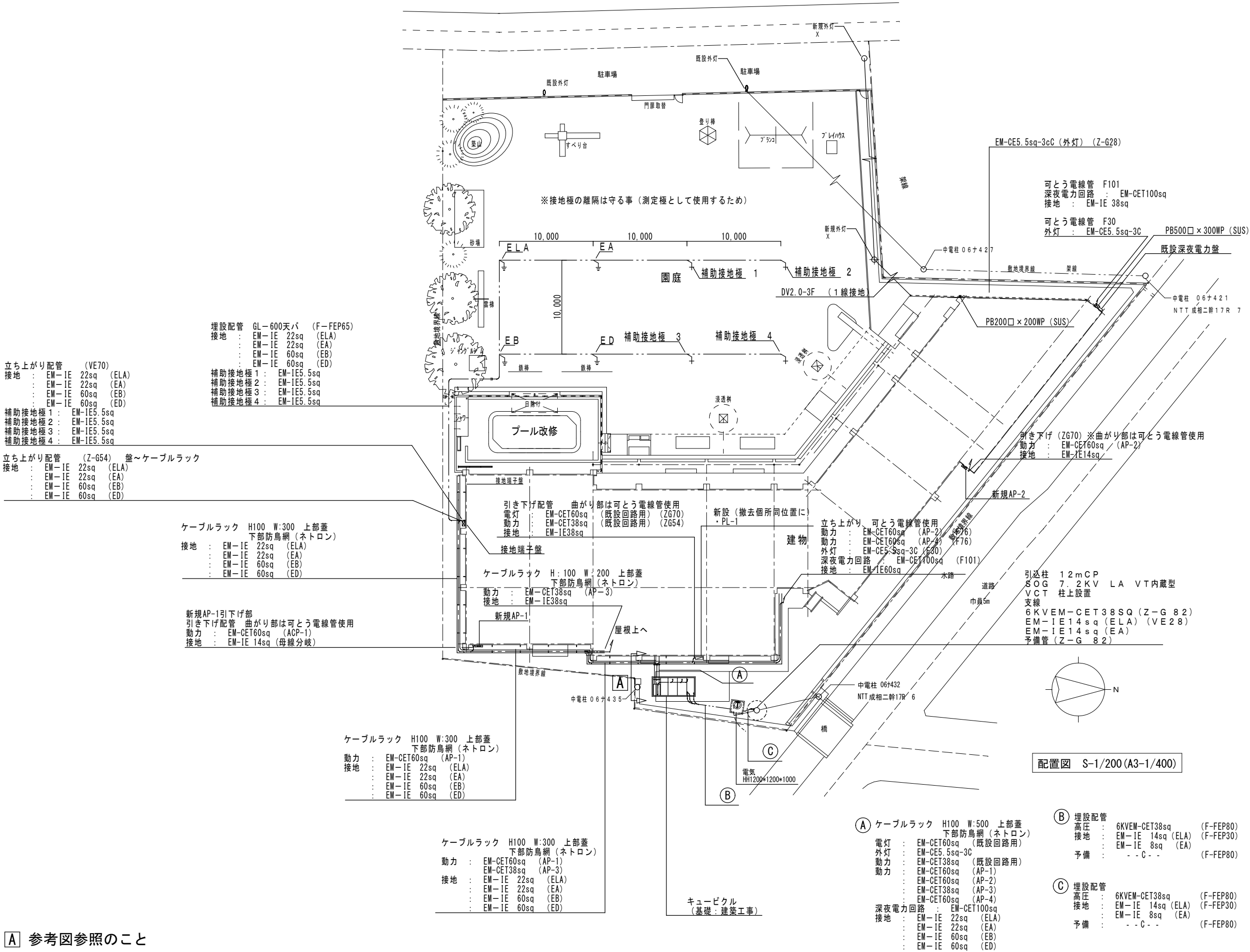


配置図 S-1/200 (A3-1/400)

訂正 月・日		設計		年月日		工事名称		図面番号：DW NO.
		検図		2025. 03		令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事		
		製図		縮 尺		図面名称		
				A-1 — 1/200		仮設計画参考図		A — 23
				A-3 — 1/400				



盤名称 盤形式	配電電圧 幹線番号	主遮断器容量 (A F / A T)	回路番号	配線用遮断器容量 (A F / A T)	負 荷 名 称	負荷容量 (KW)			備 考	盤名称 盤形式	配電電圧 幹線番号	主遮断器容量 (A F / A T)	回路番号	配線用遮断器容量 (A F / A T)	負 荷 名 称	負荷容量 (KW)			備 考			
						200V	100V (1相)	100V (2相)								200V	100V (1相)	100V (2相)				
電氣盤PL-1 (電灯・動力) 自立型 改修前	施工前 低圧引込 中電柱 06ナ435	VVR38sq-3C								電氣盤 AP-M (動力) 壁掛型 防水 設置 1階	3Φ3W 200V	MCB3P 400/350										
	施工前 低圧引込 中電柱 06ナ435	CVT22sq									電氣盤 AP-1 (動力) 壁掛型 防水 設置 1階	3Φ3W 200V	MCB3P 200/150									
電氣盤PL-1 (電灯・動力) 自立型	1Φ3W 200/100V									電氣盤 AP-2 (動力) 壁掛型 防水 設置 1階	3Φ3W 200V	MCB3P 200/150										
	3Φ3W 200V										電氣盤 AP-3 (動力) 壁掛型 防水 設置 2階	3Φ3W 200V	MCB3P 100/75									
3Φ3W 200V										電氣盤 AP-4 (動力) 壁掛型 防水 設置 2階	3Φ3W 200V	MCB3P 225/175										



- 埋設配管 GL-600天バ (F-FEP65)
接地 : EM-1E 22sq (ELA)
 EM-1E 22sq (EA)
 EM-1E 60sq (EB)
 EM-1E 60sq (ED)
- 立ち上がり配管 (VE70)
接地 : EM-1E 22sq (ELA)
 EM-1E 22sq (EA)
 EM-1E 60sq (EB)
 EM-1E 60sq (ED)
- 補助接地極 1 : EM-1E5.5sq
補助接地極 2 : EM-1E5.5sq
補助接地極 3 : EM-1E5.5sq
補助接地極 4 : EM-1E5.5sq

- 立ち上がり配管 (Z-G54) 盤〜ケーブルラック
接地 : EM-1E 22sq (ELA)
 EM-1E 22sq (EA)
 EM-1E 60sq (EB)
 EM-1E 60sq (ED)

- ケーブルラック H100 W:300 上部蓋
下部防鳥網 (ネトロン)
接地 : EM-1E 22sq (ELA)
 EM-1E 22sq (EA)
 EM-1E 60sq (EB)
 EM-1E 60sq (ED)

- 新規AP-1引き下げ部
引き下げ配管 曲がり部は可とう電線管使用
動力 : EM-CET60sq (ACP-1)
接地 : EM-1E 14sq (母線分岐)

- ケーブルラック H100 W:300 上部蓋
下部防鳥網 (ネトロン)
動力 : EM-CET60sq (AP-1)
接地 : EM-1E 22sq (ELA)
 EM-1E 22sq (EA)
 EM-1E 60sq (EB)
 EM-1E 60sq (ED)

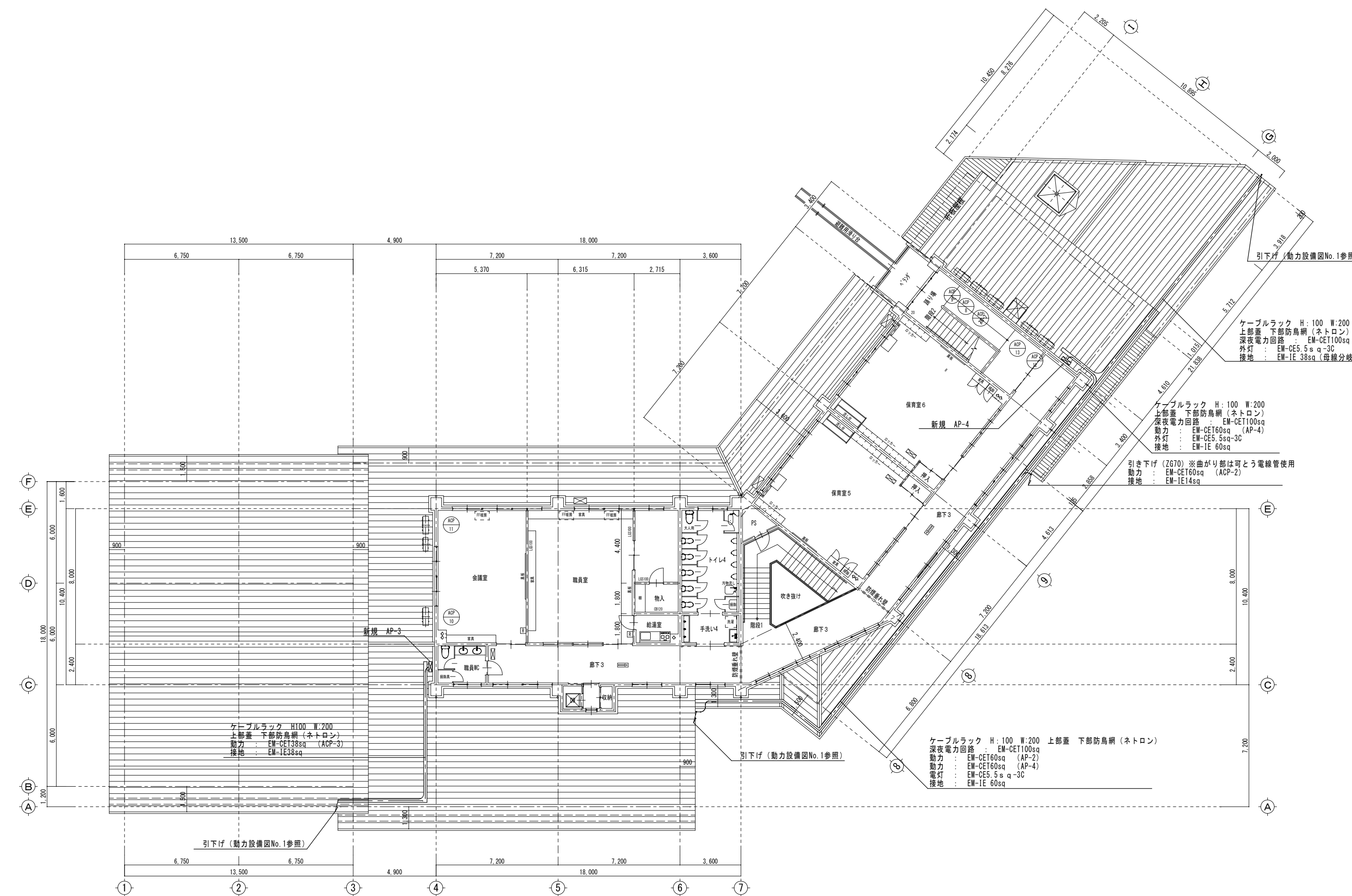
- ケーブルラック H100 W:300 上部蓋
下部防鳥網 (ネトロン)
動力 : EM-CET60sq (AP-1)
 EM-CET38sq (AP-3)
接地 : EM-1E 22sq (ELA)
 EM-1E 22sq (EA)
 EM-1E 60sq (EB)
 EM-1E 60sq (ED)

- ① ケーブルラック H100 W:500 上部蓋
下部防鳥網 (ネトロン)
電灯 : EM-CET60sq (既設回路用)
外灯 : EM-CE5.5sq-3C
動力 : EM-CET38sq (既設回路用)
 EM-CET60sq (AP-1)
 EM-CET38sq (AP-2)
 EM-CET38sq (AP-3)
 EM-CET60sq (AP-4)
深夜電力回路 : EM-CET100sq
接地 : EM-1E 22sq (ELA)
 EM-1E 22sq (EA)
 EM-1E 60sq (EB)
 EM-1E 60sq (ED)

- ② 埋設配管
高圧 : 6KVEM-CET38sq (F-FEP80)
接地 : EM-1E 14sq (ELA) (F-FEP30)
 EM-1E 8sq (EA)
予備 : - - C - - (F-FEP80)

- ③ 埋設配管
高圧 : 6KVEM-CET38sq (F-FEP80)
接地 : EM-1E 14sq (ELA) (F-FEP30)
 EM-1E 8sq (EA)
予備 : - - C - - (F-FEP80)

参考図参照のこと



- Ⓐ

ケーブルラック 配線
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-5) 1
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-5) 2
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-5) 3
エアコン : EM-CE 8sq-3C E5.5 (ACP-6)
- Ⓑ

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-5) 1
- Ⓒ

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-5) 2
- Ⓓ

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-5) 3
- Ⓔ

ケーブルラック 配線
エアコン : EM-CE14sq-3C E5.5 (ACP-6)
- Ⓕ

引下げ (Z-G36)
エアコン : EM-CE14sq-3C E5.5 (ACP-6)

- Ⓖ

配管 配線
エアコン : EM-CE 8sq-3C E3.5 (ACP-1) (Z-G36)
エアコン : EM-CE 8sq-3C E3.5 (ACP-2) (Z-G36)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-3) (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E5.5 (ACP-4) (Z-G28)
- Ⓗ

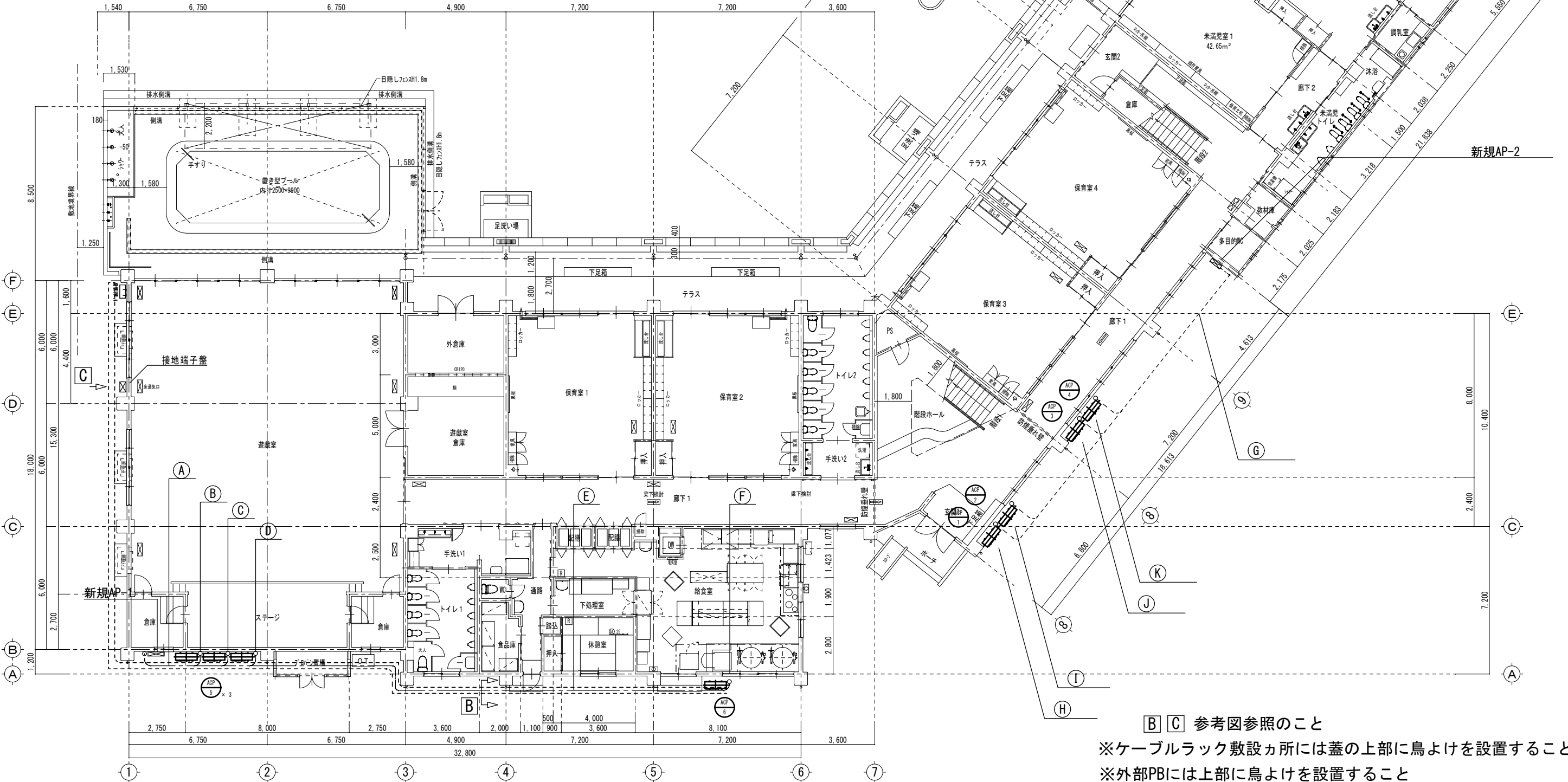
引下げ (Z-G36)
エアコン : EM-CE 8sq-3C E3.5 (ACP-1)
- Ⓘ

引下げ (Z-G36)
エアコン : EM-CE 8sq-3C E3.5 (ACP-2)
- Ⓙ

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-3)
- Ⓚ

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-4)

電気



Ⓑ Ⓒ 参考図参照のこと
※ケーブルラック敷設カ所には蓋の上部に鳥よけを設置すること
※外部PBには上部に鳥よけを設置すること

- L

ケーブルラック 配線
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-10)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-11)
- M

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-10)
- N

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-11)

- O

配管
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-12) (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-13) (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-7) (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E5.5 (ACP-8) (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E5.5 (ACP-9) (Z-G28)
- P

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-12)
- Q

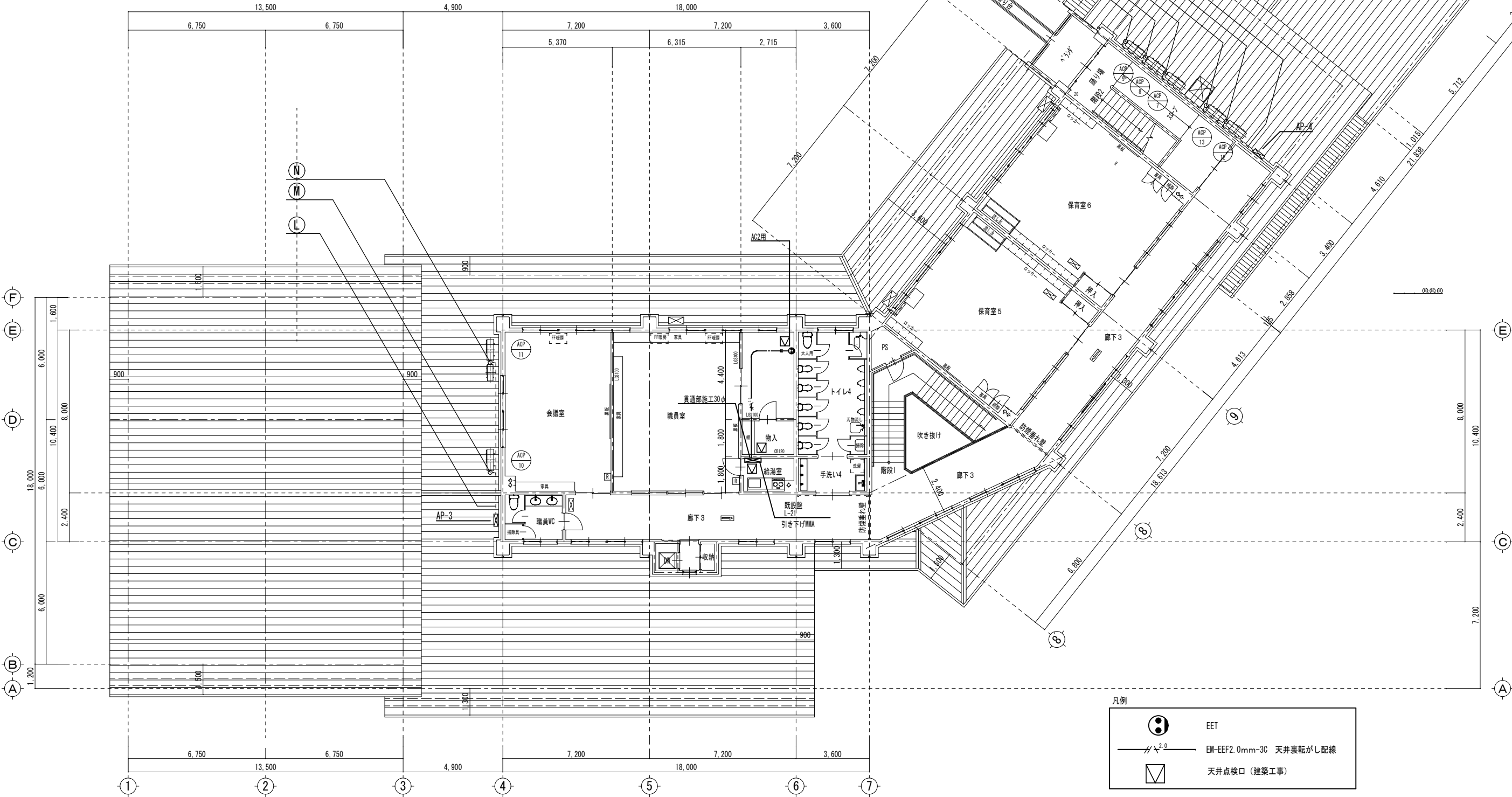
引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-13)
- R

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-7)
- S

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-8)
- T

引下げ (Z-G28)
エアコン : EM-CE5.5sq-3C E3.5 (ACP-9)

- T
- S
- R
- Q
- P
- O



訂正	月・日

設計	検図	年月日	2025.03
製図	担当	縮尺	A-1 1/100 A-3 1/200

工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事
図面名称	電気設備 動力設備 2階平面図

図面番号 : DW NO.

A1	富士型 FLR40×1	A41	LED 直付型40形 W150	A1T	笠なし FLR40×1 防雨防湿型	A41T	LED 直付型40形 防湿型・防雨型	A2	富士型 FL20×1	A21	LED 直付型20形 W150
既設器具（松下電工） FLR40×1 品番 FA41034 100V 改修 一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XFX430AENLE9				既設器具（松下電工） FLR40×1 品番 FW41012P 100V 改修 一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板（クロムフリー・高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XLW432NENZLE9				既設器具（松下電工） FL20×1 品番 FA21034 100V 改修 一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XLX210AENCLE9			
B1	富士型 FLR40×2	B42	LED 直付型40形 W230	B2	富士型 FL20×2	B22	LED ベースライト（FL40W×2灯相当）	E	埋込型 FLR40×2	E42	LED 埋込型40形 下面開放型 W300 連結
既設器具（松下電工） FLR40×2 品番 FA42034 100V 改修 リニューアル専用、一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XFX469DENLE9				既設器具（松下電工） FL20×2 品番 FA22034 100V 改修 一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XLX210AENCLE9				既設器具（松下電工）埋込用反射板 FK42797 3枚 FLR40×2 埋込用反射板 FK42798 1枚 品番 FA42795 埋込用反射板 FK42799 1枚 100V 改修 姿図は単体 姿図は単体 一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 組合せ品番 NNLK42331 中用 パナソニック 組合せ品番 NNLK42332 右用 パナソニック 組合せ品番 NNLK42333 左用			
F	埋込型 FL20×2	F22	LED 埋込型20形 下面開放型 W300	G	埋込型 FLR40×1 黒板灯	G42	LED 埋込型40形 黒板灯				
既設器具（松下電工） FL20×2 埋込フリーコンフォート 品番 XF220C141 100V 改修 リニューアル専用、一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 埋込XLX219VENLE9				既設器具（松下電工） FLR40×1 埋込黒板灯 品番 FA41720 100V 改修 集光プリズムタイプ・一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（プリズム） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 埋込XLX451BSNTLE9							
K2	FML27×1	K27	LED階段通路誘導灯コンパクトブラケット	M	FL20×1 埋込コンフォート	M22	LED 埋込型20形 下面開放型 W300	S2	FL20×1 ウォールライト防湿・防雨型	S21	LEDウォールライト 20形
既設器具（松下電工） FML27×1 階段灯 品番 FU21801 100V 改修 常時LED点灯、FHT32形×1灯器具相当 非常時本体周辺LED点灯 非常灯評定番号：LALF-027 本体：銅板（白色塗装）、パネル：アクリル（乳白） 電圧：100V、蓄電池：ニッケル水素電池 常用光源LED光束維持時間：40000時間 自己点検機能付、リモコン：FSK90910K（別売） パナソニック NNCF50130JLE1				既設器具（松下電工） FL20×2 埋込フリーコンフォート 品番 XF220C141 100V 改修 リニューアル専用、一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 埋込XLX219VENLE9				既設器具（松下電工） FL20×1 ウォールライト 防湿・防雨型 品番 NW21848 100V 改修 LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束990lm、消費電力10W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23 パナソニック NNFW21800KLE9			
CD	シャンデリア	CD	ランプ交換のみ（本体清掃）	V	DL	V	DL	W	FLR40×1 ウォールライト	W	LEDウォールライト 40形
既設器具（松下電工） GC110V60W70 ×4 品番 NL17054T 100V 改修 LED電球 E26バルック高配光 4個				遊戯室 ダウンライト 100形 改修 LED内蔵<ワコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 光源光束角15度、拡散タイプ 光束維持時間40000時間（光束維持率85%）、3000K、Ra85 器具光束：935lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ブラックつや消し仕上） 枠：銅板（ブラックつや消し仕上）、埋込穴φ75 パナソニック ダウンライトXND1009BLKLE9				玄関 ポーチ 改修 LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束2210lm、消費電力19.9W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23 パナソニック NNFW41800CLE9			
				X		X	防犯灯 蛍光灯FL20形相当	Y		Y	LEDスポットライト100形 直付タイプ ダイクル電球130形相当
外灯（園庭側）				外灯（給食室外）				LED内蔵、電源ユニット内蔵、防まつ型、明るさセンサ内蔵、明光色 光束730lm、消費電力6.3W、電圧100V 昼白色、5000K、Ra80、光束維持時間60000時間（光束維持率80%） 本体：ASA樹脂（クールホワイト） 前面パネル：アクリル 保護等級：IP44、電圧：5kV 電力会社申請入力容量6.5VA パナソニック NNY20338LE1			

O1 FL40W×1 特殊大型誘導灯 片面 既設器具（松下電工） FL40×1 品番 FA41958P+FK48820 100V 改修 LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BH形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AL111-3211 パナソニック FA40312CLE1+FK20300	O41 LED B級・BH形 避難口誘導灯片面型 既設器具（松下電工） FL20×1 品番 FA21958P+FK26820 100V 改修 LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209 パナソニック FA20312CLE1+FK20300	O2 FL20W×1 中型誘導灯 片面 既設器具（松下電工） FL20×1 品番 FA21958P+FK26820 100V 改修 LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209 パナソニック FA20312CLE1+FK20300	O21 LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型 既設器具（松下電工） FL20×1 品番 FA21958P+FK26820 100V 改修 LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 リニューアル用	防犯灯用 φ89ポール 園庭側外部 メッキ鋼管・ポリエステル樹脂粉体焼付塗装 （クールホワイト） 耐風速60m/sec仕様（標準灯具の場合） パナソニック DYDX3311 外灯 X 取付金具 アダプタ DYDX3020 3500 接続器具 ジョイントユニットQ68 （古河電工製） 基礎 400□×1000 砕石@100 2-100×60ス （電線用） φ89.1 3500 990 1300 600
P1 FL20W×1 中型誘導灯 片面 既設器具（松下電工） FL20×1 品番 FA21958P+FK26820+FP22335K 品番 FA21958P+FK26820 品番 100V 改修 LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209 パナソニック FA20312CLE1+FK20300	P21 LED 既設器具（松下電工） FL20×1 品番 FA21958P+FK26820+FP22335K 品番 FA21958P+FK26820 品番 100V 改修 LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209 パナソニック FA20312CLE1+FK20300	R IL20W×1 非常灯 埋込型 既設器具（松下電工） IL20×1 品番 FU21801 100V 改修 φ150低天井用（～3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：LAL-E-004 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売） パナソニック NNF91615C	B41 LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 リニューアル用 ひとセンサON/OFF30分、FHT32形×1灯器具相当 常時LED点灯、非常時本体絶縁LED点灯 非常灯評定番号：LAL-E-027 本体：銅板（白色塗装）、パネル：アクリル（乳白） 電圧：100V、蓄電池：ニッケル水素電池 常用光源LED光束維持時間：4000時間 自己点検機能付、リモコン：FSK90910K（別売） パナソニック NNCF50230JLE1	
I FL20×1 富士型 BT付 既設器具（松下電工） FL20×1 品番 FU21801 100V 改修 非常灯タイプ、800lm（FL20形×1灯器具相当） 常時：非常用ライトバー点灯、非常時：非常灯本体絶縁LED（一般出力型）点灯 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 非常灯評定番号：LAL-E-027 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命（非常用照明器具専用ライトバー）4000時間、点検スイッチ付 自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売） パナソニック 直付XLG201AGNCLE9	I20 非常灯 20形 Dスタイル W150 リモコン自己点検機能付 既設器具（松下電工） FML27×1 階段灯 品番 FU21801 100V 改修 LED階段通路誘導灯コンパクトブラケット	K1 FML27×1 階段通路誘導灯 BT付 既設器具（松下電工） FML27×1 階段灯 品番 FU21801 100V 改修 LED階段通路誘導灯コンパクトブラケット	K27B LED階段通路誘導灯コンパクトブラケット ひとセンサON/OFF30分、FHT32形×1灯器具相当 常時LED点灯、非常時本体絶縁LED点灯 非常灯評定番号：LAL-E-027 本体：銅板（白色塗装）、パネル：アクリル（乳白） 電圧：100V、蓄電池：ニッケル水素電池 常用光源LED光束維持時間：4000時間 自己点検機能付、リモコン：FSK90910K（別売） パナソニック NNCF50230JLE1	
N21 浴室灯 20形蛍光灯器具相当 既設器具（松下電工） HW745WKT 品番 100V 改修 電球色（2700K）、Ra80 器具光束1020lm、消費電力14W、電圧100V 防湿型・防雨型、ネジ込み方式、天井直付型・壁直付型 プラスチック（ホワイト）、カバー：プラスチック（乳白） 光源寿命4000時間（光束維持率70%） パナソニック LGW50631U	N21 ポーチライト 60形電球2灯器具相当 既設器具（松下電工） HW745WKT 品番 100V 改修 電球色（2700K）、Ra80 器具光束1020lm、消費電力14W、電圧100V 防湿型・防雨型、ネジ込み方式、天井直付型・壁直付型 プラスチック（ホワイト）、カバー：プラスチック（乳白） 光源寿命4000時間（光束維持率70%） パナソニック LGW50631U			
U HID 250W 既設器具（松下電工） HF250×1 品番 組合せ器具 200V 改修 φ400 傾斜地天井用枠 15度 NK09915Z ※天井納めは建築工事と打合せの事 LED内蔵＜ワゴンア（ひと粒）タイプ＞、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 調光可能範囲（約5%～100%）、5000K、Ra70、拡散タイプ 光束維持時間：6000時間（光束維持率80%）、光源遮光角15度 器具光束：13800lm、消費電力：103.9W、電圧：100～242V 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上） 反射板（上部）、反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 埋込穴：φ400 パナソニック 高天井ダウンライトXND9930SSKLR9	U250 高天井用ダウンライト 1500形 φ400 傾斜地天井用枠 15度 NK09915Z ※天井納めは建築工事と打合せの事 LED内蔵＜ワゴンア（ひと粒）タイプ＞、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 調光可能範囲（約5%～100%）、5000K、Ra70、拡散タイプ 光束維持時間：6000時間（光束維持率80%）、光源遮光角15度 器具光束：13800lm、消費電力：103.9W、電圧：100～242V 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上） 反射板（上部）、反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 埋込穴：φ400 パナソニック 高天井ダウンライトXND9930SSKLR9	扇風機 パナソニック 天井扇 品番 F-LA301 100V パナソニック レギュレーター（操作SW） 品番 F-ZL1RW 125 2-φ9.5 4-φ4.5 7 φ300 φ377 首振り角度 15°、30°、50° 15°：355、30°：364、50°：378		

訂正 月・日		設計	校閲	年月日	2025.03	工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号：DW NO.	
		製図	担当	縮 尺	A-1 — NS A-3 — NS	図面名称	電気設備 照明器具図 2		E — 08

遊戯室	
U	12台
V	6台
O1	2台
O2	1台
R	4台

外倉庫	
A41	2台

保育室1	
A41	6台
G42	1台
R	1台

保育室2	
A41	6台
G42	1台
R	1台

保育室3	
A41	6台
G42	1台
R	1台

保育室4	
A41	6台
G42	1台
R	1台

テラス	
A41T	6台
S21	1台

倉庫	
F22	1台

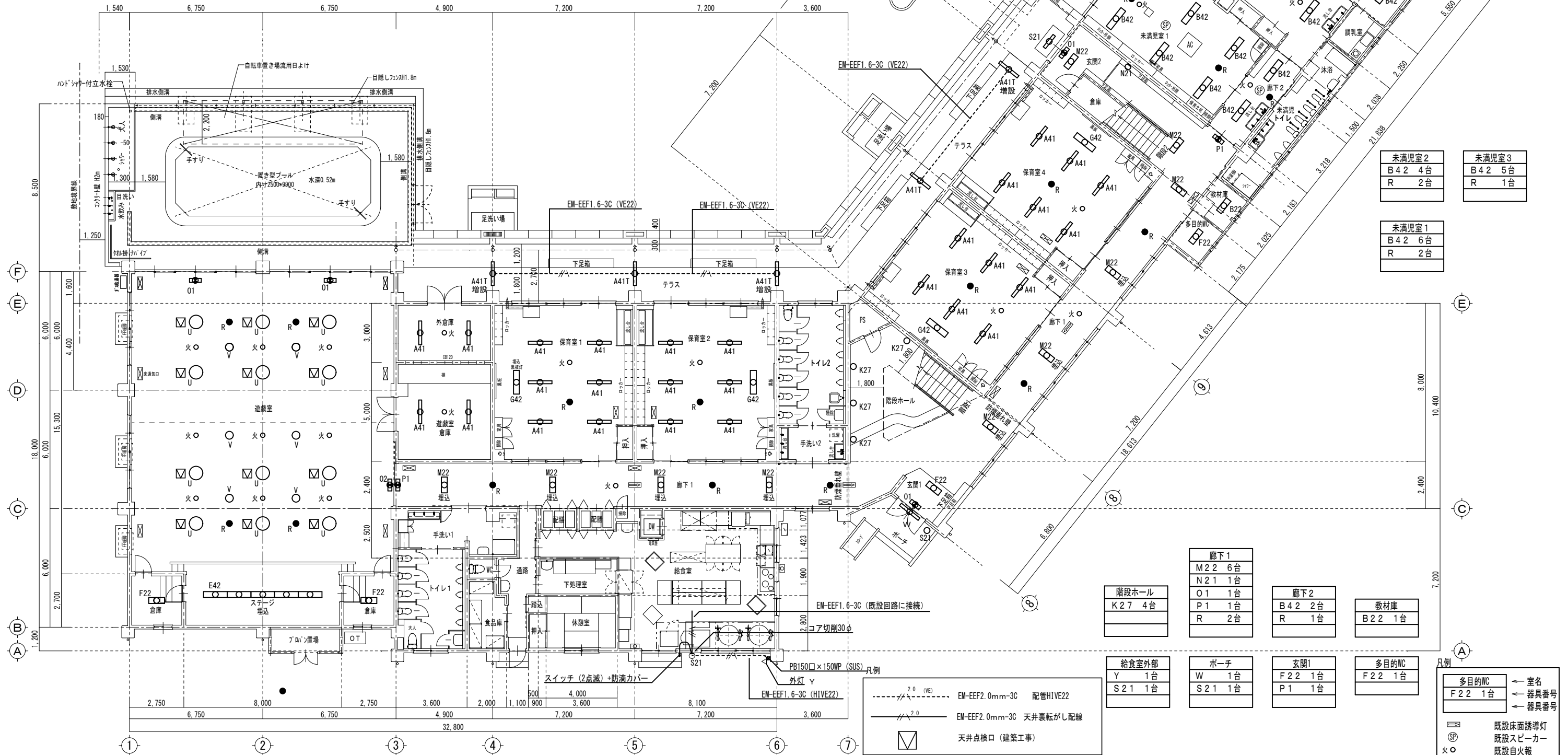
ステージ	
E42	5台

倉庫	
F22	1台

遊戯室倉庫	
A41	2台

廊下1	
M22	4台
P1	1台
R	3台

※新規器具によって開口が塞がらないカ所は、アクリル板・コーキングにて補修の事



未満児室2	
B42	4台
R	2台

未満児室3	
B42	5台
R	1台

未満児室1	
B42	6台
R	2台

廊下1	
M22	6台
N21	1台
O1	1台
P1	1台
R	2台

廊下2	
B42	2台
R	1台

教材庫	
B22	1台

給食室外部	
Y	1台
S21	1台

ポーチ	
W	1台
S21	1台

玄関1	
F22	1台
P1	1台

多目的WC	
F22	1台

多目的WC	
F22	1台

← 室名

← 器具番号

← 器具番号

既設床面誘導灯

既設スピーカー

既設自火報

訂正	月・日

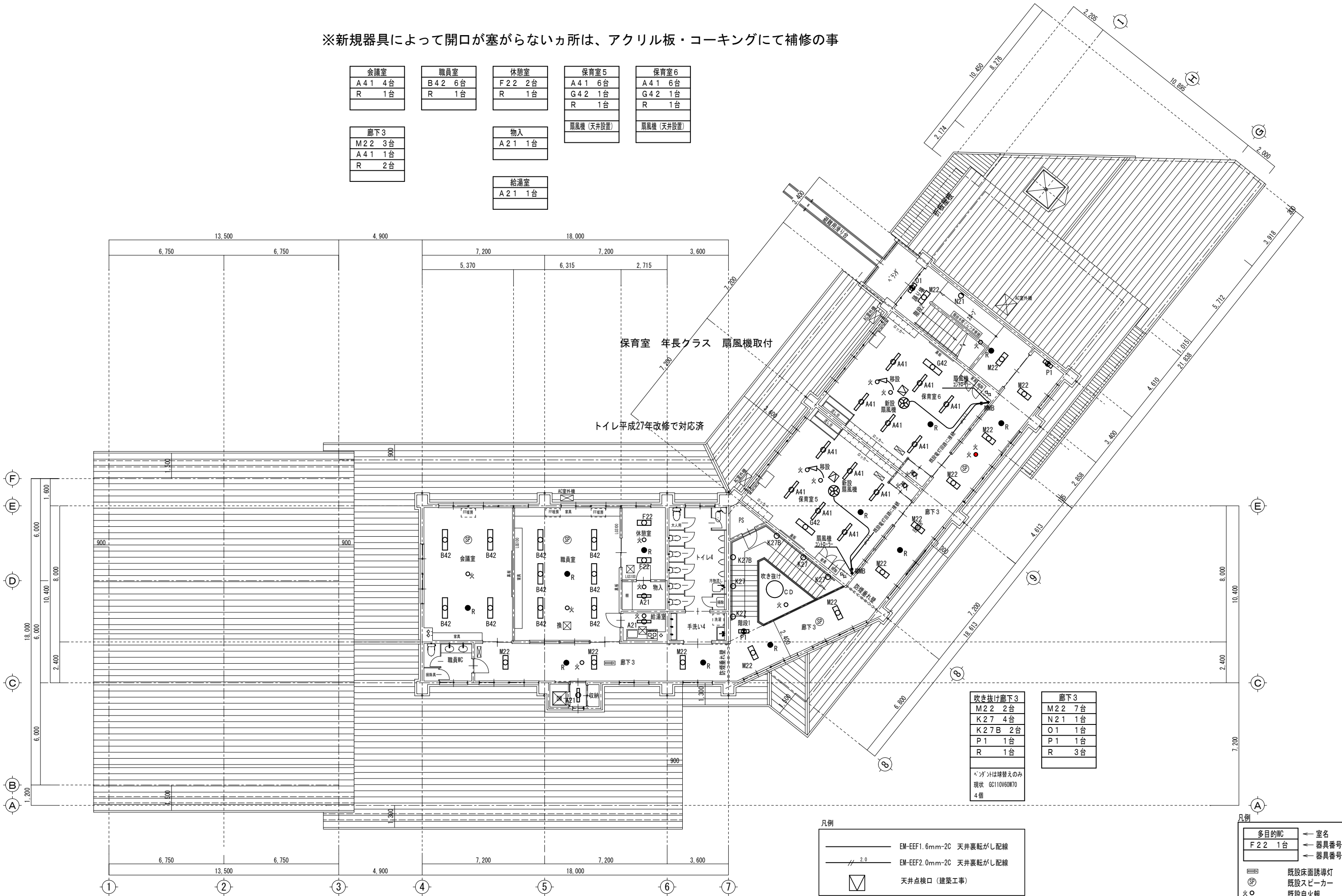
設計	検図	年月日	工事名称	図面番号
		2025.03	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	DW NO.
製図	担当	縮尺	図面名称	
		A-1 1/100	電気設備	E - 09
		A-3 1/200	照明設備 1階平面図	

※新規器具によって開口が塞がらないヵ所は、アクリル板・コーキングにて補修の事

会議室	職員室	休憩室	保育室5	保育室6
A 4 1 4台	B 4 2 6台	F 2 2 2台	A 4 1 6台	A 4 1 6台
R 1台	R 1台	R 1台	G 4 2 1台	G 4 2 1台
			R 1台	R 1台
			扇風機 (天井設置)	扇風機 (天井設置)

廊下3	物入
M 2 2 3台	A 2 1 1台
A 4 1 1台	
R 2台	

給湯室
A 2 1 1台



凡例

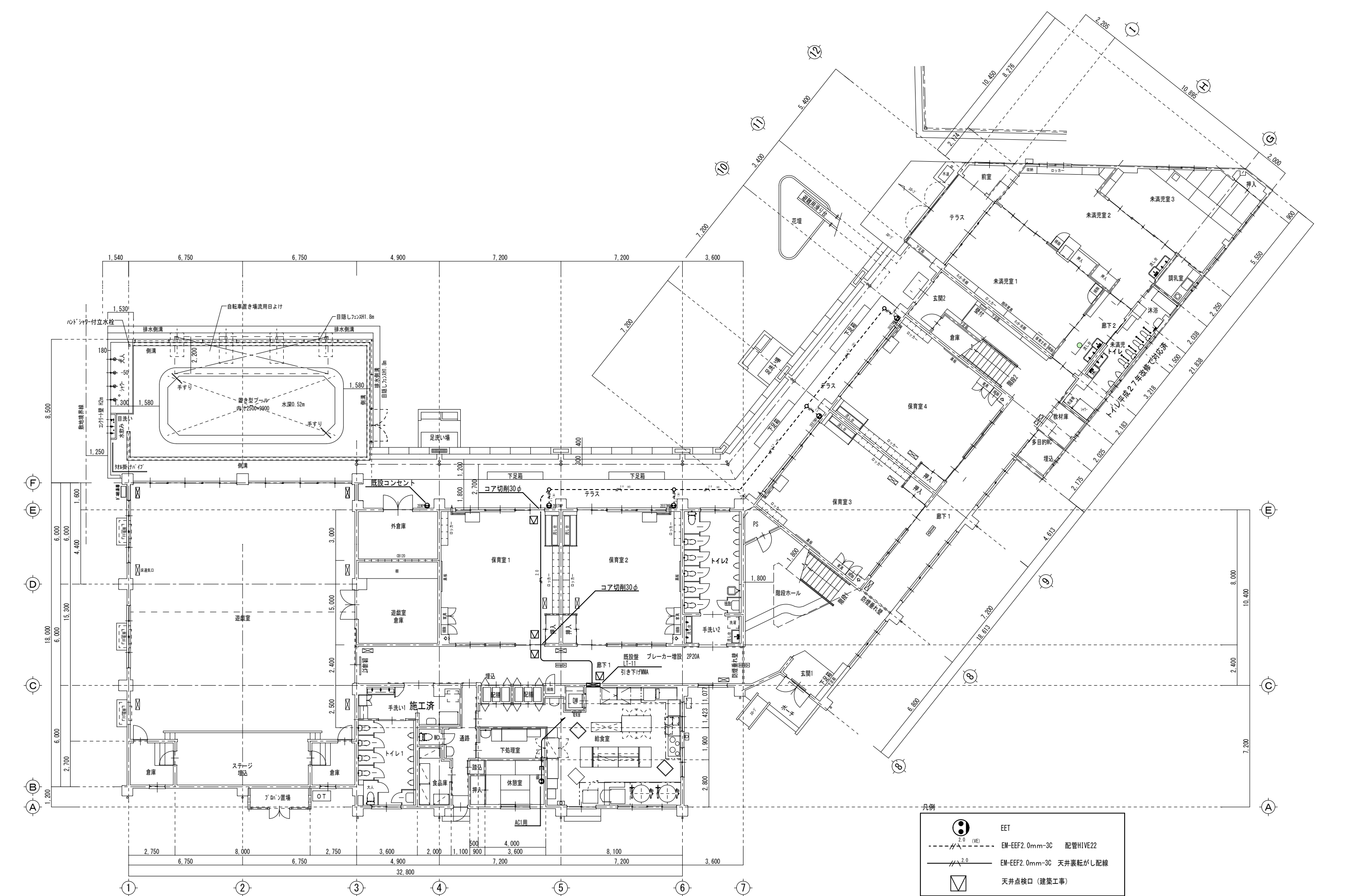
	EM-EEF1.6mm-2C 天井裏転がし配線
	EM-EEF2.0mm-2C 天井裏転がし配線
	天井点検口 (建築工事)

凡例

	多目的WC	← 室名
	F 2 2 1台	← 器具番号
		← 器具番号
	既設床面誘導灯	
	既設スピーカー	
	既設火報	

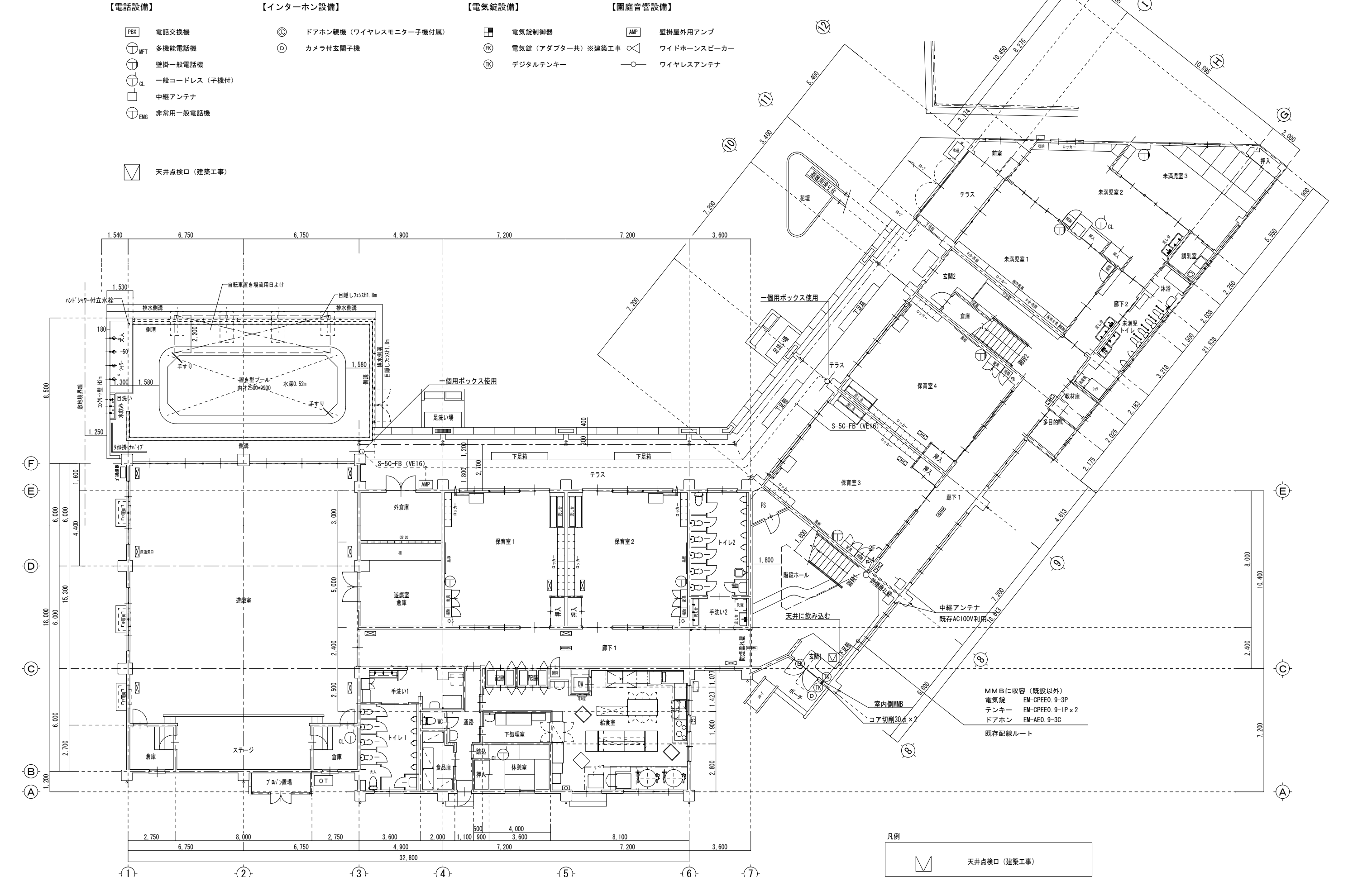
訂正	月・日

設計	校図	年月日	525. 03	工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号	DW NO.
製図	担当	縮尺	A-1 - 1/100 A-3 - 1/200	図面名称	電気設備 照明設備 2階平面図		E - 10



訂正	月・日

設計	校図	年月日	2025. 03	工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号	DW NO.
製図	担当	縮尺	A-1 1/100 A-3 1/200	図面名称	電気設備 コンセント設備 1階平面図		E - 11



【電気錠設備】

電気錠制御器

EK

電気錠（アダプター共）※建築工事

TK

デジタルテンキー

【園庭音響設備】

AMP

壁掛屋外用アンプ

ワイドホーンスピーカー

ワイヤレスアンテナ

▽天井点検口（建築工事）

【電話設備】

- PBX 電話交換機
- MFT 多機能電話機
- T 壁掛一般電話機
- CL 一般コードレス（子機付）
- 中継アンテナ
- EMG 非常用一般電話機

【インターホン設備】

- ⓐ ドアホン親機（ワイヤレスモニター子機付属）
- ⓓ カメラ付玄関子機

【電気錠設備】

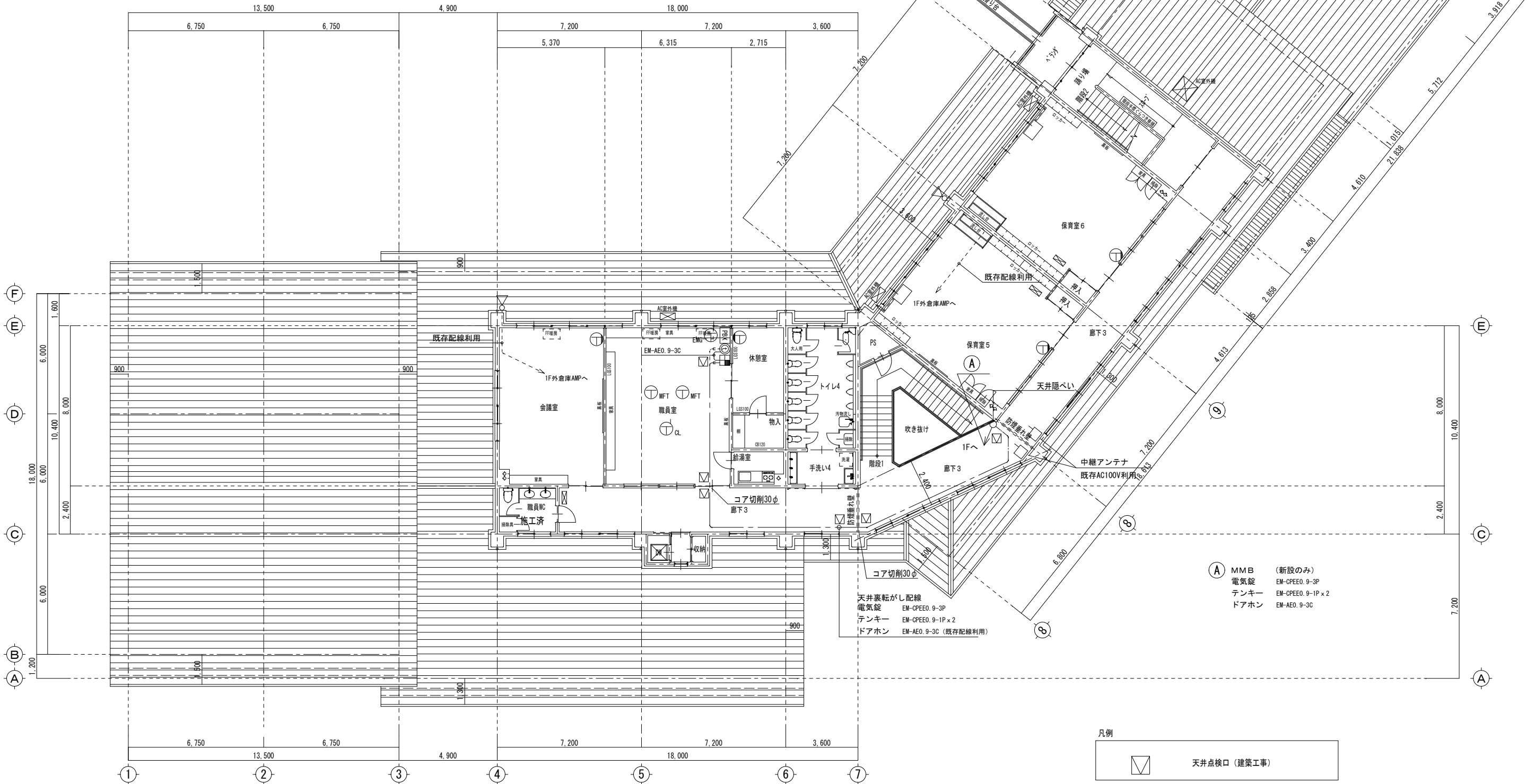
- 電気錠制御器
- ⓔ 電気錠（アダプター共）※建築工事
- ⓑ デジタルテンキー

【園庭音響設備】

- AMP 壁掛屋外用アンプ
- ワイドホーンスピーカー
- ワイヤレスアンテナ

※配線は全て既存配線利用

- 天井点検口（建築工事）



訂正	月・日

設計	年月日	工事名称	図面番号
	2025. 03	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	DW NO.
製図	縮尺	図面名称	
	A-1 1/100 A-3 1/200	電気設備 弱電設備 2階平面図	E - 14

電力申請会社

商用電灯
商用電力

株式会社 エネット
〒105-011
東京都港区芝公園二丁目 6 盤 3 号

電力申請会社

定額電灯（駐車場外灯） （残置）

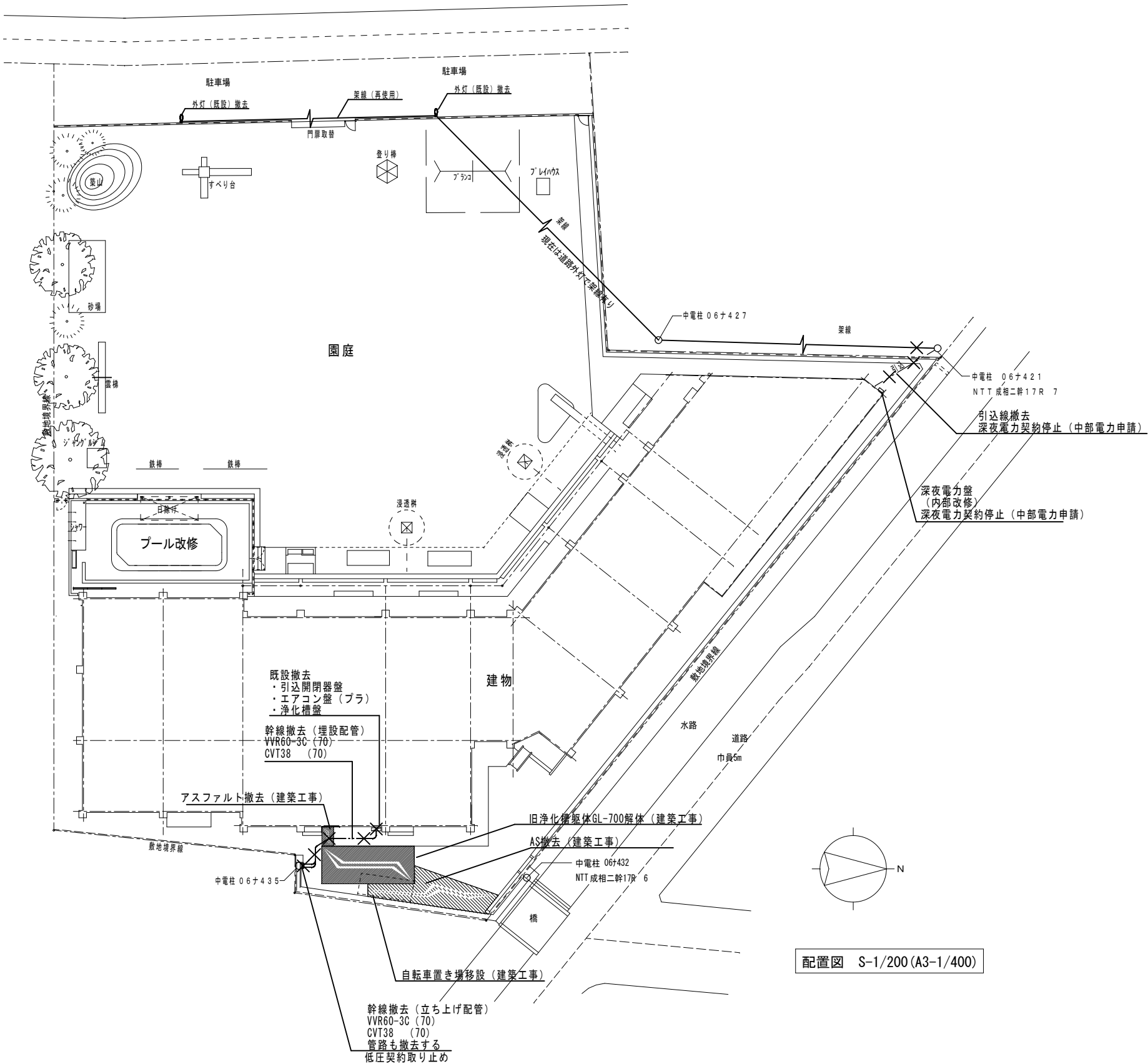
中部電力ミライズ株式会社
〒461-8680
名古屋市東区東新町 1 番地

電力申請会社

低圧深夜電力B（床暖電力）

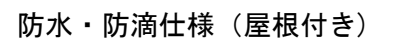
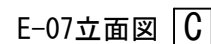
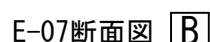
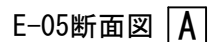
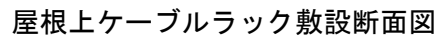
中部電力ミライズ株式会社
〒461-8680
名古屋市東区東新町 1 番地

連絡方法は打合せ時等にて施主側に確認の事
（個人情報保護の観点から）

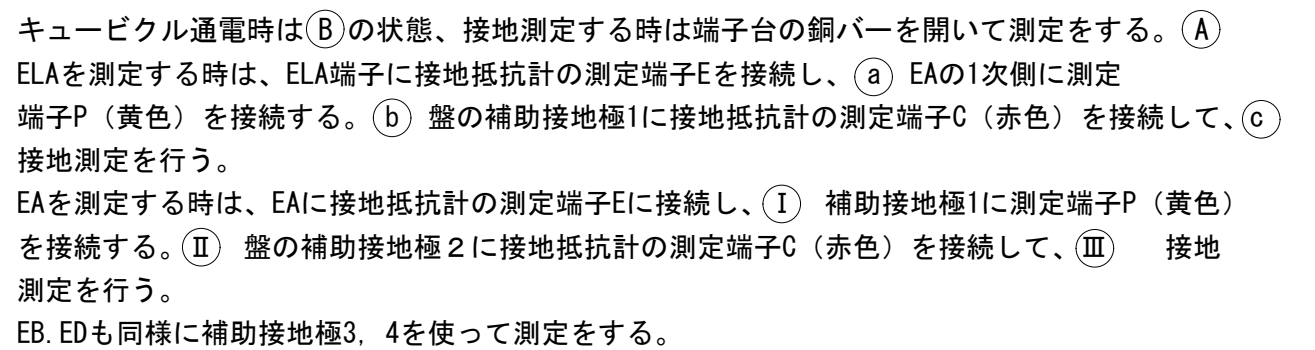


訂正	月・日

設計	検図	年月日	2025. 03	工事名称	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	図面番号：DW NO.
製図	担当	縮尺	A-1 — 1/200 A-3 — 1/400	図面名称	電気設備 撤去工事	E — 15



接地端子盤図
(A1 : 1/5 A3 : 1/10)

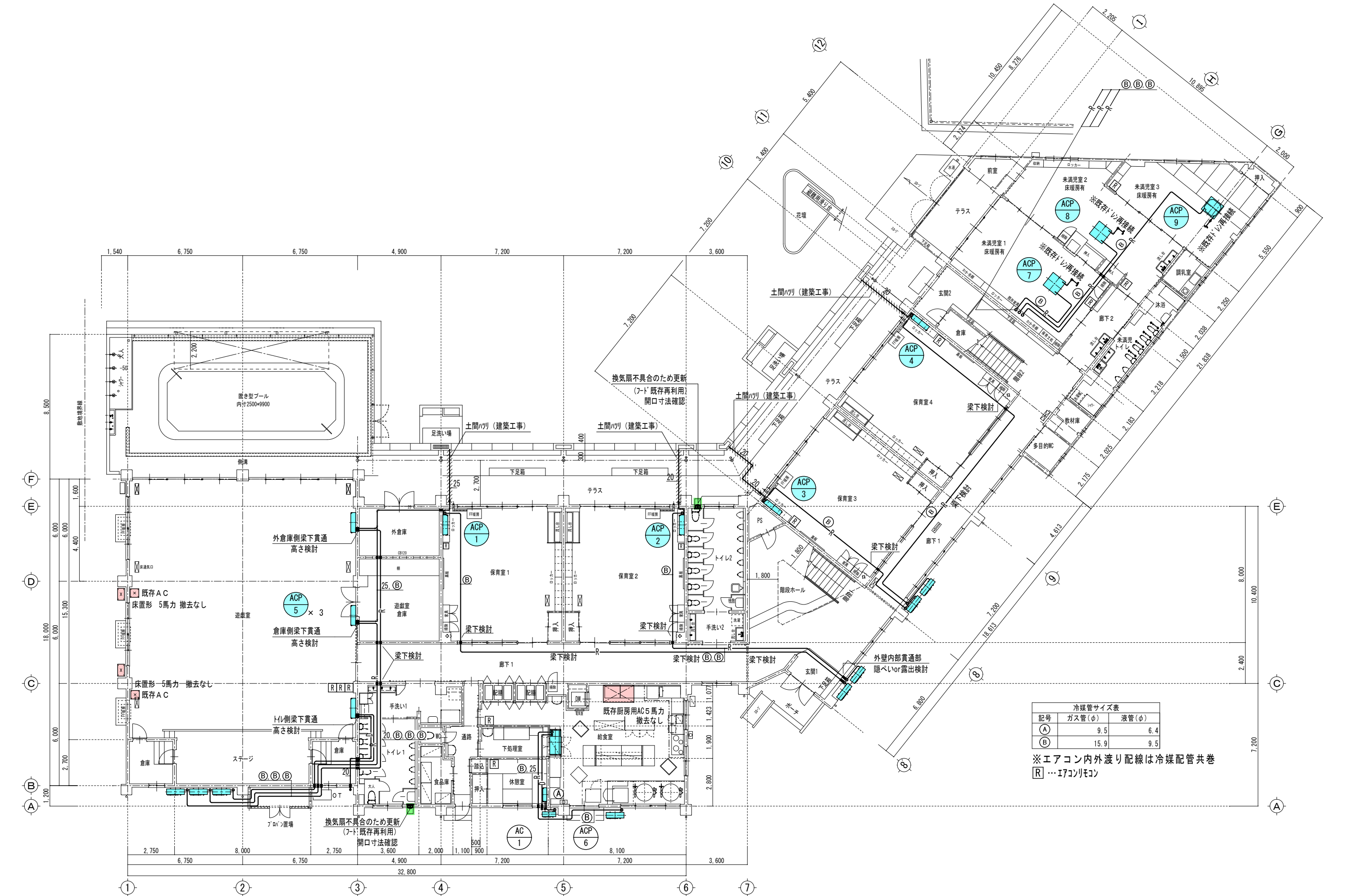
E - 16

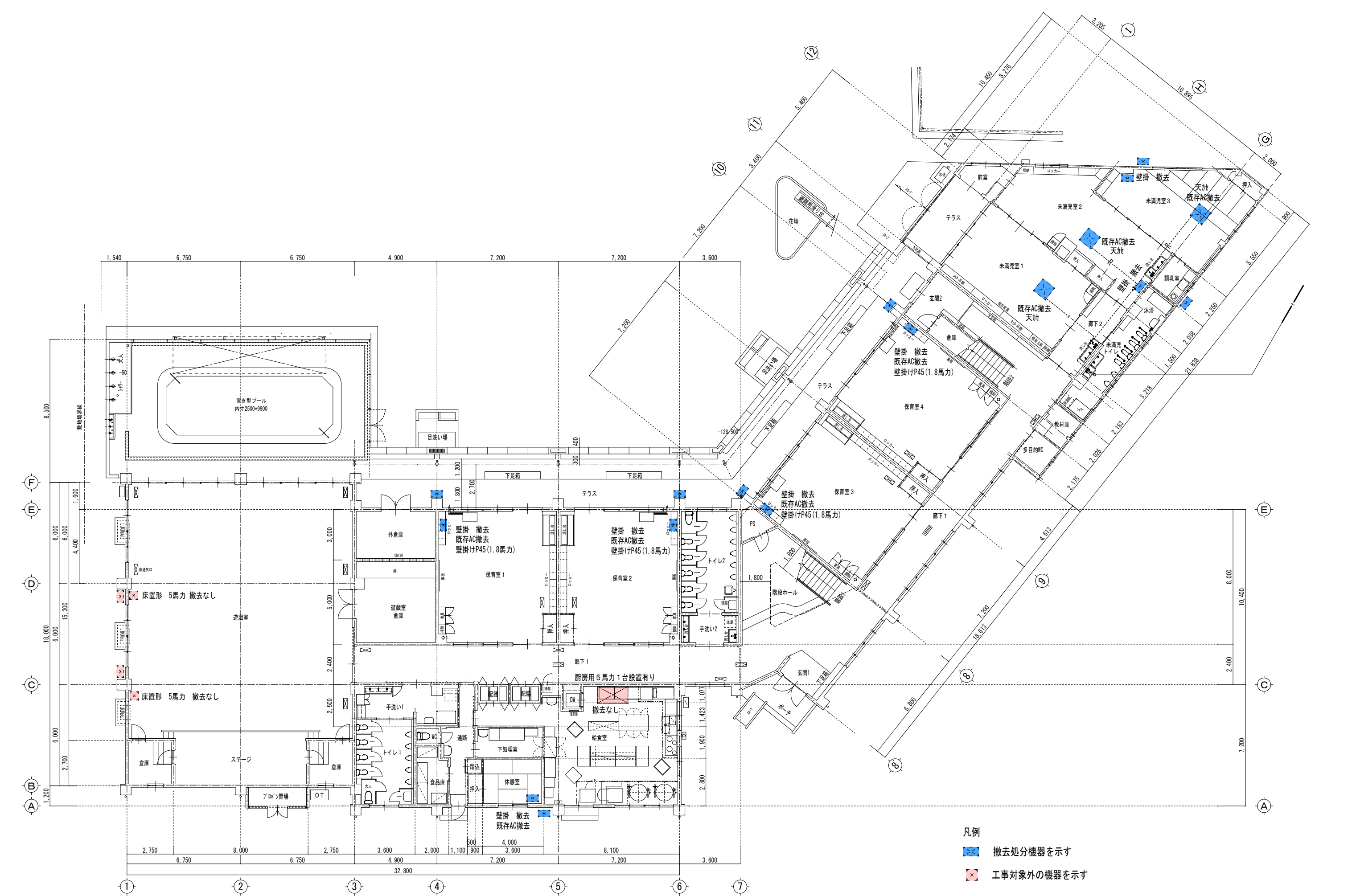
空調機器表

機器記号	機器名称	仕様・付属品	電気仕様 (60Hz)			階	設置場所	台数	参考型番 (三菱)	備 考
			相	電圧	消費電力					
			Φ	V	KW					
AC-1	ルームエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.6kW 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100	(冷)0.58 (暖)0.71	1	休憩室	1	【MSZ-JXV2824】 MSZ-JXV2824-W-IN MUZ-JXV2824	グリーン購入法適合機種
AC-2	ルームエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.6kW 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100	(冷)0.58 (暖)0.71	2	休憩室	1	【MSZ-JXV2824】 MSZ-JXV2824-W-IN MUZ-JXV2824	グリーン購入法適合機種
ACP-1	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台、防護ネット	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	1	保育室1	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-2	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台、防護ネット	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	1	保育室2	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-3	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台、防護ネット	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	1	保育室3	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-4	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台、防護ネット	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	1	保育室4	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-5	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	1	遊戯室	3	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-6	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 厨房用天吊形 R32 冷房能力 12.5kW 暖房能力 14.0kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台	3	200	(冷)3.84 (暖)3.78	1	給食室	1	【PCZ-DHRMP140H4】 PUZ-DHRMP140KA3 PC-RP140HA20	グリーン購入法適合機種
ACP-7	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 天井吊り形4方向 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台 自動昇降パネル	3	200	(冷)3.32 (暖)3.27	1	未満児室1	1	【PLZ-HRMP112H】 PUZ-HRMP112KA8 PL-HRMP112KA8	グリーン購入法適合機種
ACP-8	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 天井吊り形4方向 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台 自動昇降パネル	3	200	(冷)3.32 (暖)3.27	1	未満児室2	1	【PLZ-HRMP112H】 PUZ-HRMP112KA8 PL-HRMP112KA8	グリーン購入法適合機種
ACP-9	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 天井吊り形4方向 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台 自動昇降パネル	3	200	(冷)3.32 (暖)3.27	1	未満児室3	1	【PLZ-HRMP112H】 PUZ-HRMP112KA8 PL-HRMP112KA8	グリーン購入法適合機種
ACP-10	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	2	会議室	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-11	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	2	職員室	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-12	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	2	保育室5	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種
ACP-13	パッケージエアコン 寒冷地仕様	型式 壁掛形 R32 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、ブラケット架台、防振架台	3	200	(冷)2.64 (暖)3.05	2	保育室6	1	【PKZ-HRMP112K4】 PUZ-HRMP112KA8 PK-RP112KA20	グリーン購入法適合機種

撤去空調機器表

機器記号	機器名称	仕様・付属品	電気仕様 (60Hz)			階	設置場所	台数	備考
			相	電圧	消費電力				
			Φ	V	KW				
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		1	保育室1	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		1	保育室2	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		1	保育室3	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		1	保育室4	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		2	保育室5	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		2	保育室6	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		1	未満児室2	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		1	未満児室3	1	
	ルームエアコン	型式 壁掛形 冷房能力 1.8馬力相当 付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、ブラケット架台	1	100		2	会議室	1	
	パッケージエアコン室外機	型式 床置形 冷房能力 12馬力相当 付属品 平架台H300、吹出側防雪フード	3	200			屋根上	1	
	パッケージエアコン室内機	型式 床置形 冷房能力 3馬力相当 付属品 平架台H300、吹出側防雪フード	3	200		1	未満児室1 未満児室2 未満児室3	3	





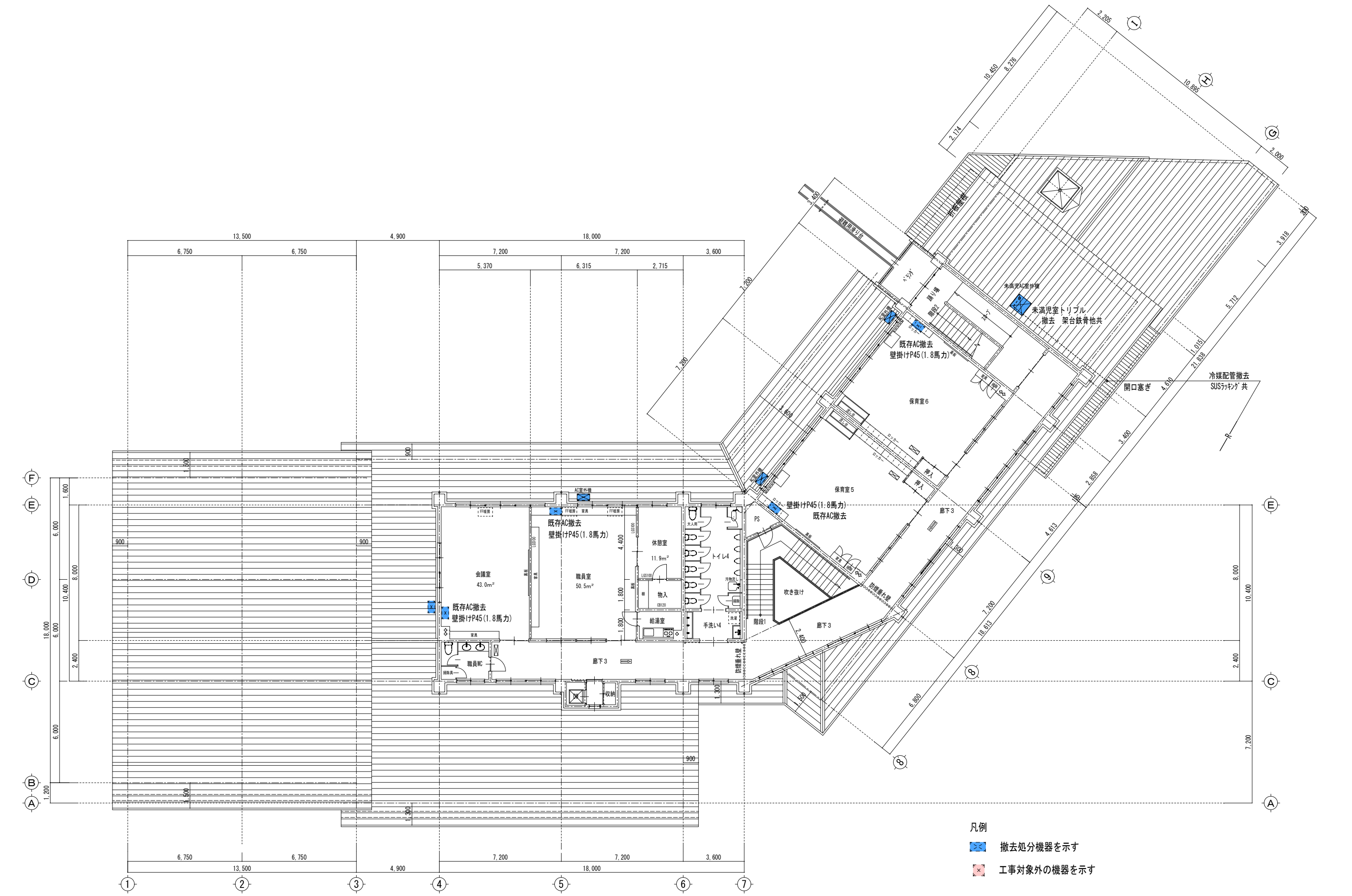
凡例

 撤去処分機器を示す

 工事対象外の機器を示す

訂正	月・日

設計	検図	年月日	工事名称	図面番号：DW-NO.
		2025.02	令和7年度 豊科認定こども園 大規模改修工事	
製図	担当	縮尺	図面名称	
		A-1 1/100	機械設備 空調撤去 1階平面図	
		A-3 1/200		



凡例

-  撤去処分機器を示す
-  工事対象外の機器を示す

器具表

名称	機器番号 (TOTO参考)	機器番号 (LIXIL参考)	仕様・付属品	設置場所			合計	備考
				プール				
固定シャワー	TB18RR	BF-4R	オーバードヘッドシャワー	4			4	
洗眼水栓	710-054-13 【カクテル】	LF-23BN	横自在型水栓	1			1	TOTO廃盤予定あり
横水栓	T200ESUN13C	LF-7RE-13U	吐水口回転、寒冷地仕様	2			2	
腰高止水栓	TB9AX25	BF-V8-25		1			1	
				1			1	
ミキシングバルブ	XLN-25×25F 【ダイレオ】		流量調整用適温補給水ユニット 25A (日水協認証品)	1			1	
湯水混合不凍水栓柱	D-WB 【竹村製作所】		シャワー付き、湯水混合	1			1	

機器表

機器記号	機器名称	仕様・付属品	電気仕様 (60Hz)			階	台数	参考型番	備考
			相	電圧	消費電力				
			Φ	V	KW				
WH-1	石油給湯器	給湯専用 直圧型 屋外壁掛ステンレス外装 灯油炊き 燃烧消費量：4.7L/h 給湯出力 46.5kW 付属品 リモコン (配線共)、配管カバー、リモコン用露出ボックス	1	100	0.8	1	1	0QB-C4701WZS	

凡 例

適用	シンボル	種 別	区 分 規 格
○	————— - —————	給 水 管	屋外埋設 H I V P
○	————— - —————	給 水 管	屋内埋設 V L P - V D
○	————— - —————	給 水 管	屋外露出 S U S
○	————— —————	給 湯 管	屋内外埋設 W H V A
○	————— —————	給 湯 管	屋外露出 S U S
	—————	汚 水 管	屋外埋設 V P
	—————	汚 水 管	ピット内 V P
○	—————	雑 排 水 管	屋内埋設 V P
	—————	雑 排 水 管	ピット内 V P
○	————— RD —————	雨 水 管	屋内外埋設 V P
	—————	通 気 管	ピット内、屋内露出 V P
	————— ○ —————	排 水 樹	ビニール樹 安曇野市認定品
○	————— R —————	冷 媒 管	被覆銅管 (保温厚 液管10mm、ガス管20mm)
○	————— D —————	ドレン管	屋内一般 結露防止付塩ビ管 A C D
	————— 0 —————	オイル管 (地中埋設)	屋外埋設 P L S
○	————— 0 —————	オイル管 (地中埋設以外)	屋外露出 S G P

